

嘉東字村木木村平阿天津津西住會大兒沖福宗岡上北西小東津波千根厚北 鐵方榮大名名大士布城字村仰用津島縣 字村名字'字字野木村龜大間村高縣 皆大原實西西'名大津字'大崎郡 津字'久久阿同字字'龜龜字	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市
---	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------

第三號表

鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市	鹿兒島縣 鹿兒島市 鹿兒島郡 鹿兒島町	宮崎縣 宮崎市 宮崎郡 宮崎町	大分縣 大分市 大分郡 大分町	熊本縣 熊本市 熊本市 熊本市
---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------

恩給法及關係法規

第四號表

朝鮮	暹羅	南洋	支那	滿洲	緬甸	暹羅	佛領印度	英領	中央亞米利加	南亞米利加	西	亞
暹羅、痘瘡、發疹チフス、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱	マラリア、腸チフス、バラチフス、赤痢、デング熱
六千五百圓以上	五千五百圓以上	三千五百圓以上	二千二百圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上	三百六十圓以上

第五號表

大將	中將	少將	大佐	中佐	少佐	大尉	中尉	少尉	准士官	士官	兵
一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等
五千五百圓以上	四千五百圓以上	三千五百圓以上	二千二百圓以上	一千五百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上	一千二百圓以上

恩給法及關係法規

陸軍武官傷 死扶助及 族扶助 其家 則	大將 中將 少將 大佐 中佐 少佐 大尉 中尉 少尉 准士官 曹長 軍曹 伍長 兵 卒	海軍恩給令 大將 中將 少將 大佐 中佐 少佐 大尉 中尉 少尉 准士官 曹長 軍曹 伍長 兵 卒	海軍恩給令 大將 中將 少將 大佐 中佐 少佐 大尉 中尉 少尉 准士官 曹長 軍曹 伍長 兵 卒	海軍恩給令 大將 中將 少將 大佐 中佐 少佐 大尉 中尉 少尉 准士官 曹長 軍曹 伍長 兵 卒
---------------------------------	---	--	--	--

備考

- 一 大正九年三月三十一日以前ニ海軍兵曹長同相當官カシテ者ニシテ最高ノ俸給ヲ受ケタルモノハ高等官六等トシ其ノ他ノモノハ高等官七等トス
- 一 大正十年三月三十一日以前ニ退職シタル陸軍一等樂長ニシテ最高ノ俸給ヲ受ケタルモノハ高等官六等トス
- 一 名譽進級ニ因リ階等ヲ進メラレタル軍人ノ階等ハ名譽進級ニ因リ階等トス
- 一 本表ニ該當セザルモノハ陸海軍武官階及兵等ノ例ニ依ル

第六號表

從前ノ法令	傷病原因 症狀等差	特別項 第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	特別項 第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項
-------	--------------	---	---

官吏恩給法 第十四條 第二項	官吏恩給法施行規則 第十二條	官吏恩給令 附則 第五條	軍人恩給法 第三號表 甲號 第三號表 乙號 第十條 第二項	明治四年兵部省陸軍士官兵卒給 養諸定則	陸軍武官傷病扶助及 死亡ノ者 祭葬並ニ其 家族扶助 則	明治九年太政官達陸軍恩 給令 第十一條	明治十六年太政官達陸軍 恩給令 第十九條	海軍恩給令 第十八條	海軍恩給令 第二十條	市町村立小學校教員恩給 料及遺族扶助料支給規則 第十五條
第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項	第一項
第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項	第二項
第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項	第三項
第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項	第四項
第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項	第五項
第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項	第六項

恩給法及關係法規

公立學校 職員退職 給助料支 給規則 令第八十二號 第十七條	大正十年 令第八號第十 五條	明治二十五年 文部省令第 一號第十七條	明治四十五年 朝鮮總督府 令第八十二號 第十七條	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項	第一項 第二項 第三項 第四項 第五項 第六項
---	----------------------	---------------------------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

備考 明治三十五年勅令第四十一號ニ定メタル事件ノ爲受ケタル傷損ハ之ヲ職間ニ準スヘキ公務ニ因ル傷損ト看做ス

高等官及同待遇	列任官及同待遇	退職又ハ死亡當時ノ俸給年額	假定俸給年額	退職又ハ死亡當時ノ俸給年額	假定俸給年額
九六〇〇	一、一〇〇	九六〇〇	一、一〇〇	九六〇〇	一、一〇〇
六〇〇〇	七二〇	六〇〇〇	七二〇	六〇〇〇	七二〇
五〇〇〇	六〇〇	五〇〇〇	六〇〇	五〇〇〇	六〇〇
四〇〇〇	五〇〇	四〇〇〇	五〇〇	四〇〇〇	五〇〇
三〇〇〇	四〇〇	三〇〇〇	四〇〇	三〇〇〇	四〇〇
二〇〇〇	三〇〇	二〇〇〇	三〇〇	二〇〇〇	三〇〇
一〇〇〇	二〇〇	一〇〇〇	二〇〇	一〇〇〇	二〇〇
三〇〇	七二	三〇〇	七二	三〇〇	七二
二〇〇	四八	二〇〇	四八	二〇〇	四八
一〇〇	三二	一〇〇	三二	一〇〇	三二
三〇	九	三〇	九	三〇	九

第七號表

八〇〇〇	一、〇〇〇
七〇〇〇	八五〇
六〇〇〇	七五〇
五〇〇〇	六〇〇
四〇〇〇	五五〇
三〇〇〇	五〇〇
二〇〇〇	四〇〇
一〇〇〇	三〇〇
三〇〇	七二
二〇〇	四八
一〇〇	三二
三〇	九

備考

一 本表ノ俸給年額ニハ加算ヲ包含セズ恩給年額算出ノ基礎ト爲リタル加算ハ其ノ實額ニ依ル

二 本表ニ該當セザル俸給ニ付テハ之ニ其ノ俸給年額ノ二割五分ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ假定俸給年額トス但シ其ノ額カ實俸給年額ニ最モ近キ本表中ノ上級俸給年額ニ對スル假定俸給年額ヲ超過スルトキハ之ヲ當該上級俸給年額ニ對スル假定俸給年額ニ止ム

大正十三年四月二十六日 内閣告示第二號

恩給法施行令第十七條第一項第一號ニ規定スル勤務左ノ通定メ恩給法施行ノ日以後ノ勤務ニ付適用ス

一 左ノ場所ニ於テ有テハ瓦斯若ハ蒸氣又ハ爆発類ノ研究又ハ製造ニ直接從事スル勤務

恩給法及關係法規

職務	恩給法及關係法規
陸軍省警保局	瓦斯ノ研究及大砲衛生試験所
陸軍造兵廠	硝化化合物ノ製造及加工作業室
陸軍技術本部	硝化化合物ノ研究及加工作業室
陸軍科學研究所	硝化化合物ノ研究及加工作業室

二 公務員が未だ普通恩給ノ裁定ヲ經サレトキハ前條第一項各款ニ掲ケル書類
前條第二項ノ規定ハ前項第二號ニ掲ケル書類ヲ添付スヘキ場合ニ之ヲ準
用ス

第九條 前二條ノ場合ニ於テ公務員ノ死亡ガ公務ニ因ル傷疾ニ起因ス
ルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ第二條第二項第一號及
第二號ニ掲ケル書類並死亡者ノ死亡診断書又ハ屍體検査書ヲ添付スヘ
シ

前項ノ死亡診断書又ハ屍體検査書ヲ添付スルコトヲ得サル場合ニ於テハ
死亡ノ事實ヲ證明スル公ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十條 恩給法第七十三條第一項各款ノ規定ニ依リ第二次以下ニ於テ扶助
料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求
書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 前扶助料権者カ扶助料ヲ受ケルノ権利ヲ失ヒタルコトヲ證明スル書類
- 二 前扶助料権者ノ扶助料證書
- 三 請求者ノ戸籍謄本(公務員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭
ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テ前扶助料権者カ未だ扶助料ノ裁定ヲ經サレトキハ前項
第一號ニ掲ケル書類及前扶助料権者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ添付スル
コトヲ要スル書類ヲ添付スヘシ

第十一條 恩給法第七十四條第二項ニ規定スル扶助料ヲ請求スル場合ニ於
テハ第七條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ不具齊テ證明書

診療書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコトヲ證明スル市町村
長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十二條 恩給法第七十八條ノ規定ニ依リ扶助料ノ停止ヲ申請スル者ハ扶
助料停止申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ裁定官廳ニ之ヲ差出スヘシ

- 一 扶助料権者ノ所在不明ナルコトヲ證明スル公ノ證明書
- 二 請求者ノ戸籍謄本(公務員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭
ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ恩給法第七十九條ノ規定ニ依ル扶助料轉給ノ
請求ヲ爲スヘシ

第十三條 恩給法第七十九條ノ規定ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其
ノ事由ヲ記載シタル扶助料轉給請求書ニ請求者ノ戸籍謄本(公務員死亡
ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)ヲ添付シ裁定官廳ニ
之ヲ差出スヘシ但前條ノ規定ニ依リ請求者ノ戸籍謄本ヲ添付シタル場
合ニ於テハ其ノ添付ヲ要セス

第十四條 恩給法第八十一條又ハ第八十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ受
ケムトスル者ハ一時扶助料請求書ヲ裁定官廳ニ差出スヘシ但第十五條
第二號又ハ第十六條ノ規定ニ依リ一時扶助料請求書ニ公務員ノ在職中ノ
履歴書ヲ添付スヘキ場合ニ於テハ公務員ノ本屬職ヲ經テ之ヲ差出スヘシ

第十五條 恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於
テハ一時扶助料請求書ニ不具齊テ證明書並診療書及生活資料ヲ得ルノ途
ナク且扶養スル者ナキコトヲ證明スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明
書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 公務員カ既ニ普通恩給ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ恩給證書及請求者

ノ戸籍謄本(公務員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

二 公務員カ未だ普通恩給ノ裁定ヲ經サレトキハ公務員ノ在職中ノ履歴
書及請求者ノ戸籍謄本(公務員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニ
シ得ルモノ)

第十六條 恩給法第八十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於
テハ一時扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 公務員ノ在職中ノ履歴書
- 二 請求者ノ戸籍謄本(公務員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ
得ルモノ)

第十七條 恩給法施行令第二條第一項ノ規定ニ依リ恩給ヲ請求スル者ハ恩
給ノ請求書ヲ裁定官廳ニ差出スヘシ但シ死亡シタル恩給権者カ恩給ヲ請
求ストモ其ノ本屬職ヲ經由スヘキ場合ニ於テハ其ノ本屬職ヲ經テ之ヲ
差出スヘシ

第十八條 前條ノ請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 死亡シタル恩給権者カ恩給ヲ請求ストモ添付スルコトヲ要スヘキ
書類
- 二 請求者ノ戸籍謄本(死亡シタル恩給権者ノ死亡當時ノ請求者ノ身分
關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

第十九條 恩給法第八十一條ノ規定スル一時扶助料ヲ給セラルヘキ者數人
アルトキ又ハ恩給法施行令第二條第一項若ハ第二項ノ相續人數人アルトキ
ハ其ノ中一人ヲ總代者トシテ恩給ノ請求又ハ恩給支給ノ請求ヲ爲スヘシ
第二十條 恩給ノ請求ニ付恩給證書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ死亡失其ノ他ノ
事由ニ因リ之ヲ添付スルコトヲ得サルトキハ證據書類ヲ添ヘ其ノ事由ヲ

届出ヲヘシ

第二十一條 理由職カ廢止セラレタル場合ニ於テハ書類ハ其ノ屬ノ事務ヲ
引繼キタル處ヲ經由スヘシ

第二十二章 恩給ノ裁定

第二十二條 理由職ニ於テ恩給請求書類ヲ受付ケタルトキハ之ヲ調査シ不
備ノ點ナキコトヲ認めタルトキハ恩給金額計算書ヲ作り履歴書、證明書
其ノ他ノ添付書類ニ付其ノ理由ニ於テ證明シ得ヘキモノハ證明シ得ニ裁定
官廳ニ之ヲ送付スヘシ

理由職ニ於テ恩給請求書類ニ不備ノ點アルコトヲ認めタルトキハ相當ノ
期間ヲ定メ其ノ不備ヲ追完セシムルコトヲ得

請求者前項ノ期間内ニ不備ノ追完ヲ爲ササルトキ又ハ理由職恩給請求理
由ナシト認めタルトキハ理由職ハ恩給金額計算書ヲ作成シ官廳シ見テ
具シ恩給請求書類ヲ裁定官廳ニ送付スヘシ

第二十三條 裁定官廳ニ於テ恩給請求書類ヲ受付ケタルトキハ之ヲ調査シ
恩給請求書類ニ不備ノ點ナク且恩給ヲ受ケルノ権利アリト認めタルトキ
ハ年金タル恩給ニ付テハ恩給證書ヲ、一時金タル恩給ニ付テハ裁定通知
書ヲ請求者ニ交付スヘシ但シ第十七條ノ規定スル恩給ノ請求ニ對シテハ
裁定通知書ヲ交付ス

裁定官廳ニ於テ恩給請求書類ニ不備ノ點アルコトヲ認めタルトキハ相當
ノ期間ヲ定メ其ノ不備ヲ追完セシムルコトヲ得

請求者前項ノ期間内ニ不備ノ追完ヲ爲ササルトキ又ハ裁定官廳恩給ヲ受
ケルノ権利ナシト認めタルトキハ裁定官廳ハ理由ヲ附シテ其ノ請求ヲ却
下スヘシ

第二十三條ノ二 裁定官廳ハ恩給請求書類ニ依リ證明セントスル事實ノ一部ニ十分ナル心證ヲ得サル場合ニ於テ予ナキ部分ノ事實ノミチ以テスルモ尙恩給ヲ給與シ得ルコトヲ認メタルトキハ之ヲ他ノ部分ト切離シ先ツ其ノ事實ノミニ基キ恩給ノ裁定ヲ爲スコトヲ得但シ之ニ因リテ別種ノ恩給ヲ給與スルニ至ルヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ予アル事實ニ付立證ヲ得タルトキハ前裁定ヲ訂正スヘシ

第二十四條 権利者又ハ關係者ニ於テ恩給證書又ハ裁定通知書ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ證據書類ヲ添附シ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ通知スヘシ

第二十五條 裁定官廳ニ於テ恩給證書又ハ裁定通知書ニ誤謬アルコトヲ認メタルトキハ訂正ノ爲必要ナル手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ關係者ニ通知スルコトヲ得

第二十六條 裁定官廳ハ審査上必要アリト認ムルトキハ請求者又ハ申請者ニ出頭ヲ命ジ又ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第三章 恩給ノ支給

第二十七條 恩給ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ其ノ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ支給應ニ呈示スヘシ

第二十八條 年金タル恩給ハ毎年一月、四月、七月、十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ恩給ハ支給期月ニ非サル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

年金タル恩給ヲ受ケルノ權利消滅シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ恩給ノ支給時期ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 支給應ハ年金タル恩給ヲ受ケルノ權利ノ消滅又ハ停止セラ

ルヘキ原因タル事實アルコトヲ知リタルトキハ其ノ支給ヲ止メ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ通知スヘシ

第四章 異動通知

第三十條 普通恩給ヲ受ケル者官職ニ就キ恩給法第五十八條第一項第一號ノ規定ニ依リ其ノ恩給ヲ停止セラルヘキ場合ニ於テハ其ノ就職當時ノ本屬廳ハ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ通知スヘシ

第三十一條 年金タル恩給ヲ受ケル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ(恩給法第九條第二項ニ規定スル犯罪以外ノ犯罪ニ付刑ノ執行猶豫ノ旨渡テ受ケタルトキヲ除ク)又ハ刑ノ執行猶豫ノ旨渡テ取消サレタルトキハ其ノ宣告又ハ取消ヲ爲シタル裁判所ハ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ通知スヘシ

第三十二條 年金タル恩給ヲ受ケル者國籍ヲ失ヒ、死亡シ又ハ恩給法第八十條ノ規定ニ依リ其ノ恩給ヲ受ケルノ權利ヲ失フ場合ニ於テハ本人、遺族又ハ縁故者ヨリ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ通知スヘシ

第三十三條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ本籍又ハ現住所ヲ變更シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ届出ツヘシ

第三十四條 第三十條乃至前條ノ場合ニ於テ裁定官廳ト支給應トカ異ルトキハ裁定官廳ニ對シテ通知又ハ届出ハ支給應ヲ經由スヘシ

第三十四條ノ二 恩給法施行令第一條ノ二第一項ノ規定ニ依リ提出スル戸籍簿本又ハ戸籍抄本及再明書ハ之ヲ提出スヘキ月又ハ其ノ前月現在ニ於ケル受恩給者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノトスルコトヲ要ス

第五章 恩給證書ノ返還及再交付

第三十五條 年金タル恩給ヲ受ケル者死亡シ又ハ恩給ヲ受ケルノ權利ヲ失

ヒタル場合ニ於テ恩給ヲ受ケヘキ順位者ナキトキハ恩給證書ヲ占有スル者ハ速ニ裁定官廳ニ之ヲ返還スヘシ

前項ノ場合ニ於テ亡失其ノ他ノ事由ニ因リ恩給證書ヲ返還シ得サルトキハ速ニ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ届出ツヘシ

第三十六條 恩給證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ裁定官廳ニ其ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得

第三十七條 恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ハ其ノ效力ヲ失フ

亡失ノ理由トシテ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタル後從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ速ニ裁定官廳ニ之ヲ返還スヘシ

第三十八條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ恩給證書及戸籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ裁定官廳ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁定官廳ハ恩給證書ニ改氏名ノ事實ヲ記載シタル上之ヲ權利者ニ返還スヘシ此ノ場合ニ於テ裁定官廳ト支給應トカ異ルトキハ支給應ヲ經由スヘシ

第六章 具申及裁決

第三十九條 恩給法第十三條第一項ノ具申ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十條 具申書ニハ左ノ事項ヲ記載シ具申者記名捺印シ證據書類其ノ他必要ナル書類ヲ添附スヘシ

- 一 具申者ノ氏名、年齢及住所
- 二 對手者タル行政廳
- 三 具申ノ趣旨及理由

恩給法及關係法規

第四十一條 具申力内閣恩給局長以外ノ者カ爲シタル行政處分ニ對スル電ノナルトキハ具申書ハ其ノ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ行政廳ハ具申書ヲ受取リタル日ヨリ十四日以内ニ辯明書及必要ナル書類ヲ添ヘ内閣恩給局長ニ之ヲ送付スヘシ

第四十二條 内閣恩給局長ハ必要アリト認ムルトキハ期限ヲ定メ辯明書ニ對スル辯明書、再渡辯明書其ノ他必要ナル書類ヲ差出サシメ又ハ具申者若ハ對手者タル行政廳ノ主任者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條 裁決ハ理由ヲ附シテ裁決書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁決書ハ具申者及對手者タル行政廳ニ之ヲ送付スヘシ

附則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

恩給給與細則

大正十二年十月一日 閣令第七號

昭和三十八年第二號

教育職員新恩給法解説

同庫ノ支辨ニ屬スル恩給中内閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ給與細則左ノ通定ム

恩給給與細則

- 第一條 恩給請求書類ニシテ其ノ提出ニ付經由處ノ定アルモノハ左ノ區分ニ從ヒ先ツ之ヲ經由處ニ差出スヘシ
一 本職階ヲ經テ差出スヘキコトヲ定メタルモノハ高等文官、同待遇、高等官候補、軍人及準軍人ニ在リテハ所管大臣ニ、列任文官、同待遇ニ在リテハ其ノ身分進退ヲ取扱フ處ノ長官ニ之ヲ差出スヘシ
二 陸軍大臣又ハ海軍大臣ヲ經由差出スヘキコトヲ定メタルモノ及本職階長官カ陸軍大臣又ハ海軍大臣ナルトキハ聯隊區司令官又ハ所屬隊長ニ之ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ聯隊區司令官又ハ所屬隊長ハ順序ヲ經テ之ヲ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ進達スヘシ
三 在外指定學校職員ノ差出スヘキモノハ所管領事官ニ之ヲ差出スヘシ
第二條 裁定官職ニ直接ニ差出スヘキコトヲ定メタル書類ハ之ヲ内閣恩給局長ニ差出スヘシ
第三條 恩給請求書類ハ概テ別紙様式(第一號乃至第十五號書式)ニ準シ作成スヘシ
第四條 恩給給與規則第六條ノ規定ニ依リ扶助料請求書ヲ直接ニ裁定官職ニ差出ス場合ニ於テ帝國外ニ居住スル者ハ所管領事官ノ現住證明ヲ受テ書留郵便ヲ以テ之ヲ内閣恩給局長ニ差出スヘシ
第五條 本職階其ノ他ノ經由處ニ於テ恩給請求書類ヲ受付ケタルトキハ恩給金額計算書(第十六號乃至第二十一號書式)ヲ作リ證據書類ヲ添附シ内閣恩給局長ニ送付スヘシ但シ數個ノ經由處アルトキハ最終ノ經由處ニ於テ

計算書作成スヘシ

- 第六條 内閣恩給局長ニ於テ給與ノ裁定ヲ爲シタルトキハ貯金局ニ其ノ旨ノ通知ヲ爲スト共ニ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ作リ請求者ニ之ヲ交付スヘシ
第七條 恩給ノ請求ヲ却下シタル場合ニ於テハ内閣恩給局長ハ請求者ニ對シ直接其ノ旨ヲ通知スルト共ニ其ノ要旨ヲ關係處ニ通知スヘシ
第八條 内閣恩給局長ニ於テ恩給給與規則第二十五條ノ規定ニ依リ誤謬ヲ訂正シ又ハ裁定ノ改訂ヲ爲シタル場合ニ於テハ貯金局ヲ經由權利者ニ通知シ又ハ新證書ヲ交付スヘシ
第九條 恩給給與規則第三十一條ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ宣告又ハ取消ヲ爲シタル裁判所ハ別紙様式(第二十二號又ハ第二十三號ノ書式)ニ準シ貯金局ヲ經由内閣恩給局長ニ通知スヘシ
第十條 恩給給與規則第三十六條ノ規定ニ依リ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ申請セムトスル者ハ概テ別紙様式(第二十四號書式)ニ準シ再交付申請書ヲ作り左ノ書類ヲ添附シ之ヲ内閣恩給局長ニ差出スヘシ
一 恩給證書又ハ裁定通知書ノ死亡シタルモノノ死亡ノ顛末及死亡後ニ於テ執行タル措置ヲ記載シタル書類並ニ其ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ警察官署等ノ公ノ證明書但シ裁定通知書ノ死亡シタル場合ニ於テハ警察官署等ノ公ノ證明書ヲ要セス
二 恩給證書又ハ裁定通知書ヲ毀損シタルモノナルトキハ其ノ顛末書及毀損シタル恩給證書又ハ裁定通知書
第十一條 恩給給與規則ニ依リ支給應ナシトシテ内閣恩給局長ニ差出スヘキ書類ハ支給郵便局ニ差出スヘシ

第十二條 恩給法施行令第一條ニ規定スル恩給受給權調査票ハ別紙様式(第二十五號書式)ニ準シ作成スヘシ

第十二條ノ二 恩給法施行令第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スヘキ勤務ニ服シタルトキハ其ノ所屬長官ハ勤務日誌ヲ作り恩給請求ニ際シ其ノ寫ヲ差出スヘシ

附則

- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
左ノ閣令ハ之ヲ廢止ス
官吏恩給法施行規則
官吏遺族扶助法施行規則
軍人恩給法施行規則
明治二十四年閣令第二號
官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則施行規則
明治三十四年閣令第一號
明治三十五年法律第四十五號施行手續
明治三十九年法律第二十號施行手續
明治四十三年閣令第九號
明治四十四年法律第五十九號施行手續
公立學校職員退職料及遺族扶助料支給規則
明治二十九年法律第十三號施行規則
在外指定學校職員退職料及遺族扶助料支給規則
大正十一年閣令第五號

恩給法及關係法規

別紙

第一號書式

普通恩給請求書
年月日 (官職)ヲ退職致候ニ付普通恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也
退職當時ノ官職名
本籍地
現住所
氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局
氏 名印

第二號書式

普通恩給請求書
增加恩給請求書
年月日 (官職)ヲ退職致候ニ付普通恩給及增加恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也
退職當時ノ官職名
本籍地
現住所
氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局
氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

教育職員新恩給法解説

第二號書式ノ二

傷病年金請求書

年月日 (官職)ヲ退職シ年月日 (役)免セラレ候ニ付傷病年金ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第三號書式

増加恩給請求書

年月日 (官職)ヲ退職致候處在職中ノ傷病(疾病)謝後重症ニ赴キ候ニ付増加恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第三號書式ノ二

傷病年金請求書

年月日 (官職)ヲ退職シ年月日 (役)免セラレ候處在職中ノ傷病(疾病)謝後重症ニ赴キ候ニ付傷病年金給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第四號書式

扶助料請求書

右者年月日死亡候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員又ハ普通恩給給權者
氏 名

本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第五號書式

扶助料請求書

右者年月日失權候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

前扶助料給權者
氏 名

公務員又ハ普通恩給給權者トノ身分關係
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第六號書式

一時恩給請求書

年月日 (官職)ヲ退職致候ニ付一時恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

恩給法及關係法規

第七號書式

一時扶助料請求書

右者年月日死亡候ニ付恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員又ハ普通恩給給權者
氏 名

公務員又ハ普通恩給給權者トノ身分關係
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第八號書式

一時扶助料請求書

右者年月日在職中死亡候ニ付恩給法第八十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員ノ官職名
氏 名

公務員トノ身分關係
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

教育職員新恩給法解説

第九號書式

傷病賜金請求書

年月日(官職)ヲ退職シ年月日役ヲ免セラレ候ニ付傷病賜金ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十號書式

扶助料給付請求書

停止中ノ扶助料権者 氏 名

右者犯 罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員トノ身分關係
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十一號書式

扶助料停止請求書

停止セララルヘキ扶助料権者 氏 名

右者年月日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據書類相添ヘ請求候也

公務員トノ身分關係

年月日

申請者 氏 名印

内閣恩給局長氏名殿

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十二號書式

再審査請求書

年月日退職ニ因リ普通恩給及增加恩給ヲ給セラレ候處未ダ傷病(疾病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十二號書式ノ二

再審査請求書

年月日退職シ年月日役ヲ免セラレタルニ因リ傷病年金ヲ給セラレ候處未ダ傷病(疾病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地
現住所

年月日

氏 名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第十三號書式

履歴書	退職當時ノ官職名	氏 名印
年月日記	事官公署名	年月日生

恩給法及關係法規

第十四號書式

右相違キキコトヲ説明ス (退職當時ノ所屬職ノ長)

年月日

官職 氏 名印

備考

- 一 履歴書ハ二通提出スヘシ
- 一 學歷、位記、勳記、賞與等ノ記載ヲ要セス
- 一 官職ノ任免、轉任、陞等、昇級等ハ願ヲ認ヒ同職ナキ様ニ詳記スヘシ
- 一 退職ノ事由ヲ明記スヘシ
- 一 退職當時ノ所屬職ノ長ハ他職ニ關スル事項ニ付テハ照會ノ上之ヲ詳記スヘシ

現認證明書

公務員ノ官職名

右者年月日午前(後)時地ニ於テ(何)ニ從事中(何)ニ因リ(何)ノ事情ノ下ニ負傷(罹病)シタルコトヲ現認候也

住所又ハ官職名

現認者 氏 名印

年月日

第十六號書式ノ三

前傷病年金證書 記號番號 第 號 金額		傷病年金額計算書		居方往地名地		便支局給名郵	
退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日
兵隊免除年月日	兵隊免除年月日	退職(兵役免除)ノ事由	退職當時ノ階等	傷病ニ罹リ年月日	公務傷病ノ原因	症狀等差	右取調候處相違無之ニ付給與相成度年月日
退職當時ノ階等		退職當時ノ階等		傷病年金金額		請求者ノ退職當時ノ官職名	
加俸		合計		一時恩給金額		支給郵便局名	
退職前ノ俸給月額		退職當時ノ階等		一時恩給金額		官職氏名印	
右取調候處相違無之ニ付給與相成度年月日		退職當時ノ階等		一時恩給金額		官職氏名印	
內閣恩給局長氏名殿		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
在職年內課		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
實 在 職 年 內 課		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
合計		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	

第十七號書式

前傷病年金證書 記號番號 第 號 金額		傷病年金額計算書		居方往地名地		便支局給名郵	
退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日	退職年月日
兵隊免除年月日	兵隊免除年月日	退職(兵役免除)ノ事由	退職當時ノ階等	傷病ニ罹リ年月日	公務傷病ノ原因	症狀等差	右取調候處相違無之ニ付給與相成度年月日
退職當時ノ階等		退職當時ノ階等		傷病年金金額		請求者ノ退職當時ノ官職名	
加俸		合計		一時恩給金額		支給郵便局名	
退職前ノ俸給月額		退職當時ノ階等		一時恩給金額		官職氏名印	
右取調候處相違無之ニ付給與相成度年月日		退職當時ノ階等		一時恩給金額		官職氏名印	
內閣恩給局長氏名殿		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
在職年內課		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
實 在 職 年 內 課		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	
合計		退職年月日		一時恩給金額		官職氏名印	

恩給法及關係法規

退職前 一年ノ期間	退職前一年ノ期間			加俸前一年ノ期間			加俸後一年ノ期間		
	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
本俸年(月)額									
月數ト月額トノ積									
總計	年 月			年 月			年 月		

第十八號書式

公務員 在職年數	退職ノ事由又ハ死因	退職(死亡)年月日	扶助料金額計算書	居住地 地方 姓名	便支 局給 名郵
		年 月 日			
氏名	官職名又ハ階等	在職年	改定恩給ノ 前給ノ スニ關シ	公務員トノ續柄	

恩給法		扶助料		普通恩給	
給額	期	給額	期	給額	期
金	年	金	年	金	年
圓	月	圓	月	圓	月
錢	日	錢	日	錢	日
分		分		分	

右取調候處相違無之ニ付給與相成度

内閣恩給局長 氏名 官職 氏名 印

實 在 職 年 內 課	加 算 年 除 算 年
始 期 年 月 日	終 期 年 月 日
事由 年 月 日	事由 年 月 日

恩給法及關係法規

教育職員新恩給法解説

課内額年給俸ノ開帳退											
合計			本年			前年			前々年		
年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
退職前一年ノ期間	月	日	退職前一年ノ期間	月	日	退職前一年ノ期間	月	日	退職前一年ノ期間	月	日
本俸	年	額	本俸	年	額	本俸	年	額	本俸	年	額
加俸	年	額	加俸	年	額	加俸	年	額	加俸	年	額
合計	年	額	合計	年	額	合計	年	額	合計	年	額

第二十號書式

恩給法第八十二條ノ
一時扶助料金額計算書

死亡年月日 年 月 日

支給郵便局名 局

死亡原因	在職年数	死亡前ノ俸給月額	死亡當時ノ階等	一時扶助料金額	公務員トノ資格
		合計 円		円	氏名

右取調候處相違無之ニ付給與相成度

年 月 日

内閣恩給局長 氏名殿		在職年內課		加算		除算	
年	月	年	月	年	月	年	月
合計	年	合計	年	合計	年	合計	年
至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日
至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日
至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日	至自	年月日
合計	年	合計	年	合計	年	合計	年

官職 氏名印

一恩給法及關係法規

教育職員新恩給法解説

一 恩給金額

右恩給證書(裁定通知書)ヲ亡失(毀損)致候ニ付再交付相成度申請候

年月日

退職當時ノ官職名又ハ
公務員トノ身分關係
本籍地
現住所

氏

名印

内閣恩給局長氏名殿
支給郵便局 ○○郵便局

第二十五號書式

恩給受給權調査票

- 一、恩給證書記號番號
- 一、受給者住所氏名
- 一、受給權調査期月 昭和 年 月

備考 用紙ハ成ル可ク半紙四ツ切大又ハ半折大トスルコト

●更正手續

大正十二年八月二十二日
閣令第五號

恩給法第一條乃至第三條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給中内閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續左ノ通定ム

更正手續

第一條 恩給法第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年九月三十日以前ノ日附アル證書ニ依リ支給スルモノニ付テハ受給權者ノ請求ヲ俟タズ之ヲ更正シ其ノ更正年額ヲ表示シタル新證書ヲ發行ス

前項ノ新證書ヲ交付スル迄ハ更正年額ヲ表示シタル支給額票(第一號様式)ヲ貼附シタル從前ノ證書ニ依リ更正額ヲ支給ス

第二條 恩給法第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年十月一日以後裁定スヘキモノニ付テハ更正年額及從前ノ年額ヲ表示シタル證書ヲ發行ス

第三條 支給額票ハ受給權者ノ請求ヲ俟タズ内閣恩給局長ニ於テ之ヲ調製シ貯金局ヲ經テ之ヲ受給權者ニ交付ス

第四條 第一條ノ新證書ハ貯金局ヲ經テ之ヲ受給權者ニ交付ス

第五條 第一條ノ新證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ交付請求書(第二號様式)ニ現住地ノ警察官署又ハ領事館ノ現住證明ヲ受ケ内閣恩給局長ニ提出スヘシ但シ現住地ニ警察官署又ハ領事館ナキトキハ町村役場若ハ之ニ準スヘキモノノ現住證明ヲ受ケヘシ

受給權者ハ内閣恩給局長又ハ支給郵便局ヨリ前項ノ交付請求書ノ用紙ヲ受ケルコトヲ得

第六條 前條ノ交付請求書提出後現住地ヲ變更シタルトキハ其ノ現住地ノ警察官署、領事館又ハ町村役場若ハ之ニ準スヘキモノノ現住證明書ヲ添ヘ速ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第七條 第一條ノ新證書ヲ發行シタルトキハ交付請求書ヲ差出シタル者ニ對シ貯金局ヲ經テ其ノ旨ヲ通知ス

受給權者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ從前ノ證書ニ新證書ノ受領證印ヲ爲シ之ト引換ニ新證書ノ交付ヲ受ケヘシ

前項ノ場合ニ於テ止ムコトヲ得サル事由ニ因リ從前ノ證書ヲ提出スルコトヲ得サルトキハ内閣恩給局長承認書ヲ以テ從前ノ證書ニ代フルコトヲ得

前項ノ承認書ヲ受ケムトスル者ハ恩給證書ヲ提出スルコトヲ得サル事由ヲ詳記シタル書面ヲ内閣恩給局長ニ差出スヘシ

第八條 支給額票ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ貯金局ヲ經テ内閣恩給局長ニ其ノ再交付ヲ請求スヘシ

第九條 大正九年七月三十一日以前ノ日附アル證書ハ大正十二年十月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

第十條 大正九年八月一日以後大正十二年九月三十日迄ノ間ニ於ケル日附アル證書及之ニ貼附シタル支給額票ハ大正十四年三月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

第十一條 恩給法第三條ノ規定ニ依リ新ニ恩給又ハ扶助料ヲ請求スル者ハ恩給規則第一條及第二條又ハ第七條及第八條ノ規定ニ依ルノ外尙第七師團長及陸軍大臣ヲ經テ其ノ請求書ヲ差出スヘシ

第十二條 從前ノ規定ニ依リ給スル恩給又ハ扶助料ハ恩給法第一條乃至恩給法及關係法規

第三百三條ノ規定ニ依リ更正増額スル場合ニ於テハ第一條乃至第七條ノ規定ニ依リ先ツ同法第一條又ハ第一條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲シ更ニ受給權者ノ請求ヲ俟ツテ同法第三百三條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲ス

前項ノ請求ヲ爲ス者ハ更正請求書(第三號様式)ヲ第七師團長及陸軍大臣ヲ經テ内閣恩給局長ニ差出スヘシ

第十三條 陸軍大臣前條ノ更正請求書ヲ受ケタルトキハ恩給金額計算書ヲ添附シ其ノ他恩給規則ノ例ニ依リ之ヲ内閣恩給局長ニ送達スヘシ

第十四條 恩給ノ更正ニ關シ本令ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ恩給給與規則ヲ準用ス

附則
本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
第一號様式

大正十三年年度以降
更正支給額表

更正證書記號番號	更正年額
現證書記號番號	更正一期額
氏名及書行	

(内閣恩給局長)

教育職員新恩給法解説

注意(一)本票ハ證書表面金額ノ上部ニ貼附スヘシ
 (二)更正額ニ對スル新證書ハ道ヲ交付スヘキニ付其ノ際現證書ハ之ヲ還納スヘシ

第二號様式(裏面)

證書記 號番號	受給者 氏名	支給郵 便局名	現住地 府縣
恩給法ニ依ル更正證書及請求候也 現住地 受給者 氏名印 右現住者タルコトヲ證明ス 大正 年 月 日 警察 署長 分署長 町村長			
		局	

(表面)

Carte Postale

東京市丸の内

内閣恩給局

郵便局

〒

〒

(第三號様式)

更正請求書

退職當時ノ官職

名

- 一 退職年月日
 - 一 證書ノ記號番號
 - 一 證書ノ日附
 - 一 現恩給又ハ扶助料年額
 - 一 支給郵便局名 (又ハ新ニ支給ヲ受ケムトスル郵便局名)
- 恩給法第百三條ノ規定ニ依リ前記恩給年額更正相成度此段請求候
- 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日
 金 年 第 年
 月 月 月 月
 日 日 日 日
 圓 日 號

本籍地
 現住地
 請求者 氏 名

(注意)

- 一 請求書ハ第七師團司令部ニ差出スヘシ
- 二 請求書提出後本籍地又ハ現住地ヲ變更シタルトキハ速ニ内閣恩給局ニ届出ツヘシ支給郵便局ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

恩給法及關係法規

教育職員新恩給法解説

還元セラレタル額ヲ越スルコトナシ

(ロ) 本條ニシテ級俸ノ定ナキ俸給規程ニ依ルモノニ付テハ其ノ退職又ハ死亡當時ノ俸給ヲ高等官及同待遇者ニ在リテハ高等官等俸給令、列任官及同待遇者ニ在リテハ列任官俸給令ニ依リ受ケタルモノト假定シイノ規定ニ依リ算出シタル金額トス

(ハ) 本條ニ準ズベキ俸給ニ付テハ俸給規程ニ於テ其ノ最高限ノミチ規定スルモノニ在リテハ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル最高金額ガ改正前ノ俸給規程ニ定ムル最高金額ニ對シテ有スル割合ヲ以テ退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給ヲ除シタル金額トシ最高限及最低限ヲ規定スルモノニ在リテハ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル最高金額及最低金額ガ夫々改正前ノ俸給規程ニ定ムル最高金額及最低金額ニ對シテ有スル割合ヲ退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給ノ額ニ依リテ補間計算シタル割合ヲ以テ退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給ヲ除シタル金額トス但シ本條及本條ニ準ズベキ俸給ノ改正前ノ俸給額ニ還元セラレタルモノノ合算額ハ改正前ノ俸給規程所定ノ最高限ヲ越スルコトナシ

前項ノ場合ニ於テ前項各號ノ規定ニ依リ算出シタル俸給金額ノ圓位未滿ハ之ヲ切捨ス

退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給トノ合算額ガ第一項第二號イ又ハロノ規定ニ依リ改正前ノ俸給規程ニ依ル俸給ニ還元セラレベキ最低額ニ達セザルモノナルトキハ第一項第二號ハノ規定ニ依リ算出テ行

ハズ

第二條 昭和六年六月二十二日以降官吏又ハ待遇官吏タルニ以上ノ地位ニ其キニ以上ノ俸給(本條ニ準ズベキモノヲ含マズ)ヲ受ケニ以上ノ官職ヲ同時ニ退職シ又ハ二以上ノ官職ニ在職中死亡シタル者前條第一項第二號イ又ハロニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ本條ニ付テハ退職又ハ死亡當時ノ各官職ノ俸給ニ互ニ他ノ俸給ノ額ヲ合算シ各合算額ニ付假ニ前條第一項第二號イ又ハロニ規定スル算出方法ニ依リ減俸前ノ俸給額ニ還元シ各還元額ヲ退職又ハ死亡當時ノ俸給額ノ比率ニ依リテ按分シ其ノ各俸給ニ屬スベキモノヲ以テ改正前ノ俸給規程ニ依リ受ケカカリシ各官職ノ俸給額トス

第三條 昭和七年法律第十三號第二條ノ規定ニ依リ退職當時ノ俸給ヲ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ依ル相當俸給ニ換算スルニハ左ノ各號ニ依ル

一 大正十二年十月一日以降昭和六年六月又ハ七月ノ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ノ適用前ニ退職シタル者ノ退職當時ノ俸給ニ相當スル俸給

(イ)ハ 本條ニシテ級俸ノ定アル俸給規程ニ依ルモノニ付テハ其ノ退職當時ノ俸給ガ改正前ノ俸給規程ニ定ムル級俸定額ニ該當スルモノナル場合ニハ其ノ級俸定額ニ對應スル減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル級俸定額トシ之ニ該當スルモノナラザル場合ニハ其ノ俸給ニ直近スル下位ノ級俸定額ガ之ニ對應スル減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル級俸定額ニ對シテ有スル割合ヲ以テ其ノ俸給ヲ除シタル金額トス

(ロ) 本條ニシテ級俸ノ定ナキ俸給規程ニ依ルモノニ付テハ其ノ退職當時ノ俸給ヲ高等官及同待遇者ニ在リテハ高等官等俸給令、列任官及同待遇者ニ在リテハ列任官俸給令ニ依リ受ケタルモノト假定シイノ規定ニ依リ算出シタル金額トス

(ハ) 本條ニ準ズベキ俸給ニ付テハ俸給規程ニ於テ其ノ最高限ノミチ規定スルモノニ在リテハ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル最高金額ガ改正前ノ俸給規程ニ定ムル最高金額ニ對シテ有スル割合ヲ退職當時ノ本條ニ準ズベキ俸給ノ額ニ依リテ補間計算シタル割合ヲ以テ退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給ヲ除シタル金額トス但シ本條及本條ニ準ズベキ俸給ノ改正前ノ俸給額ニ還元セラレタルモノノ合算額ハ改正前ノ俸給規程所定ノ最高限ヲ越スルコトナシ

前項ノ場合ニ於テ前項各號ノ規定ニ依リ算出シタル俸給金額ノ圓位未滿ハ之ヲ切捨ス

退職又ハ死亡當時ノ本條ニ準ズベキ俸給トノ合算額ガ第一項第二號イ又ハロノ規定ニ依リ改正前ノ俸給規程ニ依ル俸給ニ還元セラレベキ最低額ニ達セザルモノナルトキハ第一項第二號ハノ規定ニ依リ算出テ行

於テ昭和六年六月一日以降同月二十二日前退職シタル者ニ付テハ其ノ俸給ハ之ニ對應スル改正前ノ俸給規程ニ依ル俸給トス

第五條 減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ於テ改正當時ノ在職者ニ付經過的ニ級俸定額ノ減率ヨリ低キ減率ニ依ル俸給ヲ給スル規定アリタル官職ガ退職當時ノ官職タリシ者ニシテ同規程施行ノ當時在職シタルモノニ關シテハ引續キ在職スル間ニ限リ前二條ノ規定ニ依ル金額ニ依ラズシテ其ノ退職當時ノ俸給額ニ付定メラレタル低キ減率ニ依ル俸給ヲ以テ退職當時ノ俸給ニ相當スル俸給トス

第六條 第三條ノ規定ニ拘ラズ退職當時ノ俸給(二以上ノ地位ニ其キニ以上ノ俸給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ合算額)ノ年額千四百四十圓以下ナルトキハ其ノ減額ヲ行ハズ千四百四十圓ヲ超エ千二百圓以下ナルトキハ之ヲ千四百四十圓トス但シ前條ノ規定ノ適用ナラザル

第七條 本令中退職又ハ死亡當時ノ俸給ノ換算ニ關スル規定ハ退職又ハ死亡前一年内ノ各俸給ノ換算ニ付之ヲ準用ス

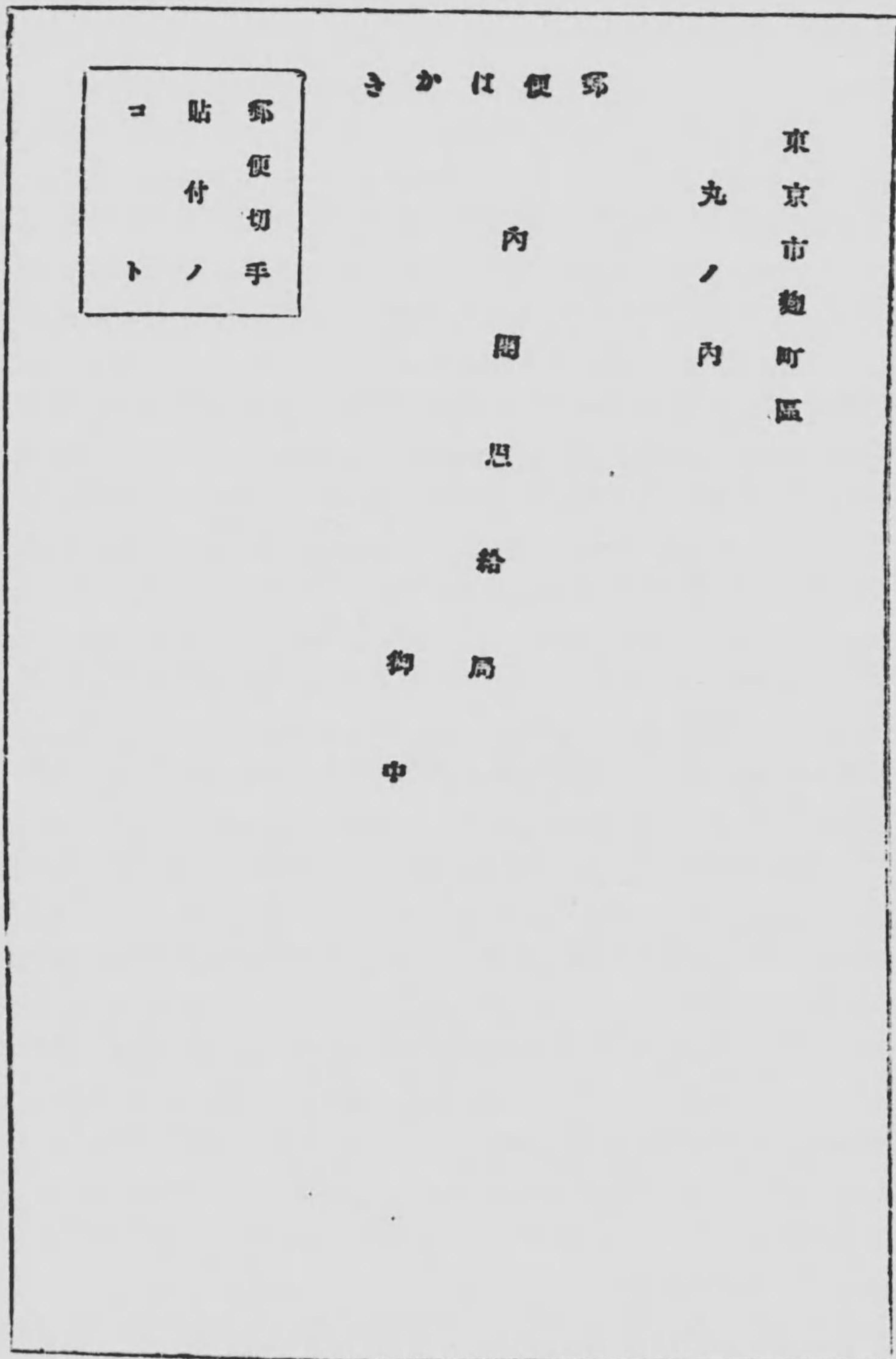
附則

本令ハ昭和七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 昭和六年六月二十二日前官吏又ハ待遇官吏タルニ以上ノ地位ニ其キニ以上ノ俸給(本條ニ準ズベキモノヲ含マズ)ヲ受ケニ以上ノ官職ヲ同時ニ退職シ其ノ合算額ヲ基礎トシテ普通恩給ヲ受ケタル者ノ退職當時ノ本條ノ額ノ換算ニ付テハ昭和六年勅令第四百三十三號ヲ準用ス此ノ場合ニ

恩給法及關係法規

(表面)



昭和七年法律第十三號ニ依ル恩給更正規則

昭和七年七月三十日 逓信省令第二十六號

- 昭和七年法律第十三號ニ依ル恩給更正規則左ノ通定ム
- 第一條 年金タル恩給受給者新證書交付ノ通知ヲ受ケタルトキハ從前ノ證書又ハ裁定官廳ノ承認書表而餘白ニ新證書受領ノ旨記載シ記名調印ノ上指定ノ郵便局ニ差出シ之ヲ引換ニ新證書ノ交付ヲ受ケベシ
- 第二條 受給者現二年金恩給支給規則第十條ニ依リ從前ノ恩給證書ヲ貯金局ニ寄託セルモノナルトキハ之ニ對スル新證書ハ貯金局ニ於テ引換ヘ之ヲ保管ス
- 第三條 貯金局ニ於テ前條ニ依リ新證書ヲ保管シタルトキハ其ノ保管證書ハ支給郵便局ニ於テ舊保管證書ト引換ニ之ヲ受給者ニ交付ス
- 第四條 受給者新證書ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ既に支給期月ヲ経過シタル給與金ニ對スル更正增加額ハ支給期月ニ拘ハラズ一般ノ例ニ依リ之ヲ拂渡テ支給郵便局ニ請求スベシ
- 第五條 一時金タル恩給ノ追給ヲ受ケル者ニハ貯金局ヨリ支給郵便局ヲ經由シテ支給通知書ヲ送付ス
- 第六條 受給者前條ノ支給通知書ニ依リ追給ヲ受ケントスルトキハ追給裁定通知書ヲ支給郵便局ニ呈示シテ權利者タルコトヲ證明シタル上支給通知書ノ受領證ノ部ニ記名調印シ現金ト引換ニ之ヲ差出スベシ
- 第七條 恩給ノ更正ニ關シ本規則ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ年金恩給支給規則ヲ準用ス

附則 本令ハ昭和七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年法律第五十號附則ニ依ル恩給更正及請求手續

恩給法及關係法規

昭和八年九月十一日 閣令第三號

- 昭和八年法律第五十號附則第十四條ノ規定ニ依リ更正スベキ扶助料中内閣恩給局長ノ管掌ニ保ルモノノ更正手續及同法附則第十五條ノ規定ニ依リ改正スベキ普通恩給ノ請求手續左ノ通定ム
- 第一條 昭和八年法律第五十號附則第十四條ノ規定ニ依リ加給スベキ扶助料ニシテ昭和八年九月三十日以前ノ日附アル證書ニ依リ支給セラルルモノニ付テハ其ノ金額ヲ更正シ其ノ證書ニ更正年額及之ヲ給スル期間ヲ表示ス
- 第二條 扶助料證書ニ前條ノ表示ヲ受ケントスル者ハ更正額表示請求書(別記第一號様式)ニ現住地ノ警察官署又ハ領事館ノ現住證明ヲ受ケ扶助料證書ト共ニ之ヲ内閣恩給局長ニ差出スベシ但シ現住地ニ警察官署又ハ領事館ナキトキハ町村役場又ハ之ニ準ズベキモノノ現住證明ヲ受ケベシ
- 第三條 前條ノ請求書提出後住居地ヲ變更シタルトキハ現住地ノ警察官署、領事館又ハ町村役場若ハ之ニ準ズベキモノノ現住證明書ヲ添へ連ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 第四條 内閣恩給局長ニ於テ第一條ノ更正額ノ表示ヲ爲シタルトキハ恩給證書ハ之ヲ受給者ニ送付ス
- 第五條 第二條第一項ノ場合ニ於テ止ムコトヲ得ザル事由ニ因リ從前ノ證書ヲ提出スルコトヲ得ザルトキハ内閣恩給局長ノ承認書ヲ以テ從前ノ證書ニ代フルコトヲ得
- 第六條 前項ノ承認書ヲ受ケントスル者ハ恩給證書ヲ提出スルコトヲ得ザル事由ヲ證明シタル書面ヲ内閣恩給局長ニ提出スベシ
- 第七條 昭和八年法律第五十號附則第十五條ノ規定ニ依リ普通恩給ノ改正ヲ請求スル者ハ恩給規則第一條及第二條ノ規定ニ依リノ外改正請求書(別記第二號様式)ヲ内閣恩給局長ニ提出スベシ

(別記)

第一號様式

(裏面)

更正額表示請求書

記號	記號	備考
氏名	生年月	支給局名
支便局	備考	

昭和八年法律第五十號附則第十四條ニ依ル更正額表示相成度扶助料證書添附及請求候也

現住地
受給者 氏名印
右現住者タルコトヲ證明ス
年 月 日
警察署長
警察官吏派出所長
町 村

(表面)

更正額表示請求書

支給局名

支便局名

備考

昭和八年法律第五十號附則第十四條ニ依ル更正額表示相成度扶助料證書添附及請求候也

現住地
受給者 氏名印
右現住者タルコトヲ證明ス
年 月 日
警察署長
警察官吏派出所長
町 村

第二號様式

改定請求書

一、普通恩給證書記號番號
一、普通恩給證書日附
一、普通恩給年額

昭和八年法律第五十號附則第十五條ノ規定ニ依リ前記普通恩給ヲ文官普通恩給ニ改定相成度此段請求候也

本籍地
現住地
文官退職年月日
年 月 日
内閣恩給局長 氏名 殿
支給郵便局〇〇郵便局

請求者 氏 名印

●從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件

昭和八年十二月七日 内閣告示第五號

公務員ノ在職年ニ付恩給法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ戰爭ニ準ズベキ事變ノ期間、地域及職務ノ範圍並ニ第三十三條第一項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ擾亂ノ地域及期間左ノ通勅裁ヲ經タリ

從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件

昭和六年九月十八日以後滿洲、東內蒙古及熱河並ニ其ノ接壤地帯ニ、昭和六年十一月二十六日ヨリ昭和八年五月三十一日ニ至ル期間支那渤海ニ、昭和七年一月二十八日ヨリ同年六月二十五日ニ至ル期間前記地域ヲ除キタル

恩給法及關係法規

他ノ支那ノ地域及其ノ沿海ニ在リテ戰鬪力構成ニ參加從軍シタル公務員ニ對シテ恩給法第三十二條第一項第一號ヲ準用スル同條第二項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲シ又昭和六年九月十八日以後內國ニ在リテ直接出動部隊ニ關スル勤務ニ從事シ功績アリタル公務員ニ對シテ同條第一項第二號ヲ準用スル同條第二項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲ス

昭和六年十一月二十六日ヨリ昭和七年二月七日ニ至ル期間及昭和七年六月二十六日ヨリ昭和八年五月三十一日ニ至ル期間滿洲、東內蒙古及熱河並ニ其ノ接壤地帯ト渤海トヲ除キタル他ノ支那ノ地域及其ノ沿海ニ在リテ危險ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ勤務シタル公務員ニ對シテ恩給法第三十三條第一項ニ規定スル外國擾亂地勤務ノ加算ヲ爲ス

教育職員新恩給法解説

四三〇

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ恩給ノ支給ヲ停止ス
第十三條 恩給ヲ受ケルノ權利ハ宮内大臣ノ裁定ス
第十四條 前條ノ裁定ニ不服アル者ハ裁定ノ日ヨリ六月内ニ宮内大臣ニ具申シ其ノ再審査ヲ求ムルコトヲ得
第十五條 再審査ノ請求アリタルトキハ宮内大臣ハ宮内省恩給審査會ニ諮問シ之ヲ裁決ス

宮内省恩給審査會ニ關スル規程ハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ裁定ス

第十六條 本令ニ於テ公務員、公務員ニ準スヘキ者、文官、軍人、警察監獄職員及準軍人トハ恩給法ノ規定ニ依リ之ニ相當スルモノヲ謂フ

第二章 宮内職員

第一節 通則

第十七條 本令ニ於テ宮内職員トハ宮内省或皇宮警手及勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ指定スル其ノ他ノ待遇職員ヲ謂フ但シ俸給ヲ受ケザル官職ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス
女官ノ恩給ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 本令ニ於テ就職トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ謂フ
一 宮内官ニ在リテハ任命
二 待遇職員ニ在リテハ任命
俸給ヲ受ケザル官職ニ在ル者俸給ヲ受ケル宮内職員ト爲リタルトキハ之ヲ就職ト看做ス本令ノ適用ヲ受ケザル職員ヨリ宮内職員ト爲リタルトキ亦同シ

第十九條 本令ニ於テ退職トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ謂フ
一 戰地ニ在リテ職務ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付一月ノ平均ノ規定ハ宮内職員其ノ職務ヲ以テ戰爭ニ準スヘキ事變ニ際シ職務ニ服シタル場合ニ付之ヲ準用ス
戰爭ノ期間及地域、職務ノ範圍或戰爭ニ準スヘキ事變ハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ裁定ス
第二十四條 宮内職員戰地又ハ外國ノ交戦若ハ擾亂ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミス其ノ職務ヲ以テ勤務シタルトキハ在勤期間ノ一月ニ付二月ヲ加算ス
前項ノ戰地又ハ外國ノ交戦若ハ擾亂ノ地域及期間ハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ裁定ス
第二十五條 宮内職員戒嚴地域内ニ於テ危險ヲ顧ミス其ノ職務ヲ以テ勤務シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付二月ヲ加算ス
前項ノ場合ニ於テ其ノ勤務ノ場所カ内國ナルトキハ加算年ハ其ノ二分ノ一トス
第二十六條 前三條ノ規定ニ依リ附スヘキ加算年ハ在職年ノ計算ニ付勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ定ムル所ニ依リ實ニ在職年ニ從テシテ之ヲ算入ス
加算年ヲ附スヘキ基礎在職年ハ加算事由ノ生シタル月ヨリ之ヲ起算シ其ノ事由ノ止ミタル月ヲ以テ終ル
二種以上ノ加算年ヲ附セラルヘキ期間ニ對シテハ最モ利益ナルモノニ依リ其ノ一ヲ附ス
第二十六條ノ二 休職其ノ他現實ニ職務ヲ執ルヲ要セザル在職期間ニシテ一月以上ニ亙ルモノハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ定ムル所ニ依リ在職年ノ計算ニ付之ヲ半減ス

宮内省恩給令

宮内省恩給令

四三一

一 宮内官ニ在リテハ免官、退官又ハ失官
二 待遇職員ニ在リテハ免職、退職又ハ失職
宮内職員俸給ヲ受ケザル職員又ハ本令ノ適用ヲ受ケザル職員ト爲リタルトキハ之ヲ退職ト看做ス皇宮警手他ノ宮内職員ト爲リ又ハ他ノ宮内職員皇宮警手ト爲リタルトキ亦同シ
第二十條 在職年ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

退職シタル後再就職シタルトキハ前後ノ在職年月數ハ之ヲ合算ス但シ一時恩給又ハ第五十八條ニ規定スル一時扶助料ノ基礎ト爲ルヘキ在職年ニ付テハ前ニ一時恩給ノ基礎ト爲リタル在職年其ノ他ノ前在職年ノ年月數ハ之ヲ合算セズ
退職シタル月ニ於テ再就職シタルトキハ當該月ニ付テハ恩給ノ計算ニ關シ利益ナル一官職ノ在職年ニ依ル

第二十一條 宮内職員ニ以上ノ官職ヲ併有スル場合ニ於テ其ノ重複スル在職年ニ付テハ年數計算ニ關シ利益ナル一官職ノ在職年ニ依ル
前項ノ規定ハ宮内職員公務員タル官職ヲ併有スル場合ニ於ケル年數計算ニ付之ヲ準用ス

第二十二條 皇宮警手ノ恩給額ニ付其ノ在職年ヲ計算スル場合ニ於テハ十二年ニ達スル迄ハ他ノ宮内職員トシテノ在職年ハ其ノ十分ノ七ニ當ル年月數ヲ以テ之ヲ計算ス
第二十三條 宮内職員其ノ職務ヲ以テ從軍シタルトキハ左記各號ノ規定ニ依リ加算ス

一 戰地ニ在リテ職務ニ服シタルトキハ從軍期間ノ一月ニ付三月

第二十七條 左ニ掲ケル年月數ハ在職年ヨリ之ヲ除算ス
一 普通恩給又ハ增加恩給ヲ受ケルノ權利消滅シタル場合ニ於テ其ノ恩給額ノ基礎ト爲リタル在職年
二 第三十五條ノ規定ニ依リ宮内職員カ恩給ヲ受ケルノ資格ヲ失ヒタル在職年
三 在職中二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ其ノ月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル月迄ノ在職年月數但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル月迄ノ在職年月數
四 宮内職員退職後在職中ノ職務ニ關スル犯罪(過失犯ヲ除ク)ニ付陸軍刑法若ハ海軍刑法ニ依リ死刑、懲役若ハ一年以上ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ其ノ他ノ法令ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ犯罪ノ時ヲ含ム引續キタル在職年月數
五 宮内職員ノ不法ニ其ノ職務ヲ離レタル月ヨリ職務ニ復シタル月迄ノ在職年月數
六 公務員又ハ公務員ニ準スヘキ者トシテノ在職年月數ニシテ恩給法ニ依リ除算セラルヘキモノ

第二十八條 恩給法ニ依リ公務員ノ恩給額ノ基礎ト爲ルヘキ公務員及公務員ニ準スヘキ者トシテノ在職年月數ハ之ヲ宮内職員トシテノ在職年ニ通算ス
第二十條乃至第二十二條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ在職年ニ通算セラルヘキ年月數ノ計算ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ軍人、警察監獄職員

教育職員新恩給法解説

ル者再就職シ再就職後公務ノ爲僱傭ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シ増加恩給又ハ傷病年金ヲ受ケヘキ場合ニ付之ヲ準用ス

第四十條 前三條ノ規定ニ依リ恩給ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ年額従前ノ恩給年額ヨリ少キトキハ従前ノ恩給年額ヲ以テ改定恩給ノ年額トス

第四十一條 前四條ノ規定ハ恩給法ニ依リ恩給ヲ受ケル者宮内職員ト爲リ退職シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第四十二條 普通恩給ヲ受ケル者公務員又ハ公務員ニ準スヘキ者トシテ恩給法ニ依リ普通恩給ヲ給セラレタルトキハ本令ニ依リ普通恩給ハ之ヲ給セス但シ恩給法ニ依リ宮内職員トシテノ在職年ヲ通算セラレサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

増加恩給又ハ傷病年金ヲ受ケル者公務員又ハ公務員ニ準スヘキ者トシテ恩給法ニ依リ増加恩給又ハ傷病年金ヲ給セラレタルトキハ本令ニ依リ増加恩給又ハ傷病年金ハ之ヲ給セス

第四十三條 普通恩給ハ之ヲ受ケル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ間之ヲ停止ス

一 宮内職員又ハ公務員トシテ就職スルトキハ就職ノ月ノ翌月ヨリ退職ノ月迄但シ實在職期間一月未満ナルトキ又ハ下士以下ノ軍人トシテ就職スルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル月迄但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ恩給ハ之ヲ停止セス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス

三 之ヲ受ケル者三十五歳ニ滿ツル月迄ハ普通恩給ノ六分ノ一、三十五歳以上四十歳ニ滿ツル月迄ハ普通恩給ノ八分ノ一ヲ停止ス但シ増加恩給又ハ傷病年金ト併給セラレル場合ニハ之ヲ停止セス

四 恩給年額千圓以上ニシテ其ノ恩給外ノ所得ノ年額五千圓ヲ超ユルトキハ恩給年額ト恩給外ノ所得ノ年額トノ合計額ノ六千圓ヲ超ユルトキハ二割ニ相當スル金額ヲ停止ス但シ恩給ノ支給額年額千圓ヲ下ラシムルコトナク其ノ停止年額ハ恩給年額ノ二割ヲ超ユルコトナシ

前項第四號ノ所得ノ範圍及計算方法並恩給ノ停止方法ニ關シテハ勅職ヲ經テ宮内大臣ノ之ヲ定ム

第一項第二號ノ規定ハ増加恩給及傷病年金ニ付之ヲ準用ス

第二節 恩給金額

第四十四條 宮内職員在職年十七年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス

前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十七年以上十八年未満ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額トシ十七年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

在職年四十年ヲ超ユル者ニ給スヘキ恩給年額ハ之ヲ在職年四十年トシテ計算ス

第一項ノ在職年ハ宮内大臣又ハ内大臣トシテ退官スルモノニ付テハ宮内大臣又ハ内大臣トシテノ在職年七年以上ナルヲ以テ是ル

第三十一條、第三十八條第一項第二號若ハ第三號、第三十九條ノ二又ハ前項ノ規定ニ依リ在職年十七年未満ノ者ニ給スヘキ普通恩給ノ年額ハ在

職年十七年ノ者ニ給スヘキ普通恩給ノ額トス

第四十五條 皇宮警手在職年十二年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通恩給ヲ給ス

前項ノ普通恩給ノ年額ハ在職年十二年以上十三年未満ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額トシ十二年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

前項ノ場合ニ於テ其ノ在職年中ニ皇宮警手トシテノ勤績在職年十二年以上ノモノヲ含ムトキハ其ノ勤績在職年中十二年ヲ控除シタル後ノ勤績在職年一年ニ付退職當時ノ俸給年額ノ三分ノ一ノ割合ヲ以テ之ニ加給ス

第三十一條、第三十八條第一項第二號若ハ第三號又ハ第三十九條ノ二ノ規定ニ依リ在職年十二年未満ノ者ニ給スヘキ普通恩給ノ年額ハ在職年十二年ノ者ニ給スヘキ普通恩給ノ額トス

第四十四條第三項ノ規定ハ皇宮警手ノ普通恩給ニ付之ヲ準用ス

第四十五條ノ二 一時恩給ヲ受ケタル後其ノ一時恩給ノ基礎ト爲リタル在職年數一年ヲ二月ニ換算シタル月數内ニ召集其ノ他ノ強制ニ依ラスシテ再就職シタル者ニ普通恩給ヲ給スル場合ニ於テハ當該換算月數ト退職ノ翌月ヨリ再就職ノ月迄ノ月數トノ差月數ヲ一時恩給額算出ノ基礎ト爲リタル俸給月額ノ二分ノ一ニ乘シタル金額ノ十五分ノ一ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ其ノ普通恩給ノ年額トス但シ差月數一月ニ付一時恩給額算出ノ基礎ト爲リタル俸給月額ノ二分ノ一ノ割合ヲ以テ計算シタル金額ヲ勅職ヲ經テ宮内大臣ノ之ヲ定ムル時期ニ於テ納付シタルトキハ此ノ額ニ在ラス

前項ノ規定ハ恩給法ニ依リ一時恩給ヲ受ケタル者宮内職員ト爲リ退職シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第四十六條 宮内職員ノ増加恩給ノ年額ハ退職當時ノ階等、傷病ノ原因及不具癡疾ノ程度ニ依リ定メタル別表第一號表ノ金額トス

宮内職員ノ傷病年金ノ年額ハ退職當時ノ階等、傷病ノ原因及傷病ノ程度ニ依リ定メタル別表第二號表ノ金額トス

第四十七條 宮内職員在職年三年以上十七年未満ニシテ退職シ又ハ皇宮警手在職年三年以上十二年未満ニシテ退職シタルトキハ之ニ一時恩給ヲ給ス

前項ノ一時恩給ノ金額ハ退職當時ノ俸給月額ニ相當スル金額ニ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

第三章 遺族

第四十八條 本令ニ於テ遺族トハ宮内職員ノ祖父、祖母、父、母、夫、妻、子、孫及兄弟姉妹ニシテ宮内職員ノ死亡ノ當時ノ同一戸籍内ニ在ルモノヲ謂フ

宮内職員ノ死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ宮内職員ノ死亡ノ當時其ノ戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第四十九條 宮内職員在職中死亡シ其ノ死亡ヲ退職ト看做ストキハ之ニ普通恩給ヲ給スヘキトキハ其ノ遺族ニハ妻、未成年ノ子、未成年ノ孫、夫、父、母、成年ノ子、祖父、祖母ノ順位ニ依リ扶助料ヲ給ス

前項ノ規定ニ依リ同順位ノ子數人アルトキハ死亡者ヲ被相続人トシタル家督相続ノ順位ニ準シ之ヲ定ム

宮内省恩給令

母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニシ
 先順位者タルヘキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生スルニ至リタルトキハ前
 三項ノ規定ハ當該後順位者失權シタル後ニ限リ之ヲ適用ス
 第五十條 未成年ノ子ハ未ダ婚姻セサルトキニ限リ之ニ扶助料ヲ給ス
 夫又ハ成年ノ子ハ未ダ婚姻セサルトキニ限リ之ニ扶助料ヲ給ス
 未成年ノ孫ハ未ダ婚姻セス且宮内職員死亡ノ當時子ナクシテ其ノ家督相
 續人タルトキ又ハ宮内職員ノ家督相續人ニシテ之ヲ主ト看做ストキハ
 其ノ死亡ノ時ニ於テ其ノ家督相續人タルヘキ者ニ限リ之ニ扶助料ヲ給
 ス
 養子ハ宮内職員ノ家督相續人タルトキ又ハ宮内職員ノ家督相續人ニシテ
 之ヲ主ト看做ストキハ其ノ死亡ノ時ニ於テ其ノ家督相續人タルヘキ者
 ニ限リ之ニ扶助料ヲ給ス
 前二項ノ家督相續人ニハ之ニ準スヘキ者ヲ包含ス
 第五十一條 扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル
 一 宮内職員職階又ハ職階ニ準スヘキ公務ニ因ル傷痍疾病ノ爲死亡シタ
 ルトキハ其ノ普通恩給年額ノ十分ノ十二ニ相當スル金額
 二 宮内職員普通公務ニ因ル傷痍疾病ノ爲死亡シタルトキハ其ノ普通恩
 給年額ノ全額
 三 其ノ他ノ場合ニ於テハ宮内職員ニ給セラレル普通恩給年額ノ十分ノ
 五ニ相當スル金額
 前項第一號又ハ第二號ニ規定スル場合及增加恩給ヲ併給セラレル者死亡

シタル場合ニハ其ノ死亡ノ月ノ翌月ヨリ五年間ハ前項ノ規定ニ依ル扶助
 料ノ年額第一號ニ規定スル場合ハ其ノ十二分ノ一、第二號ニ規定スル
 場合ハ其ノ二十五分ノ一、第三號ニ規定スル場合ハ其ノ十分ノ三ニ相當
 スル金額ヲ加給ス
 第五十二條 宮内職員ノ死亡後遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ扶助料
 ヲ受クルノ資格ヲ失フ
 一 子若ハ孫婚姻シ又ハ其ノ家ヲ去リタルトキ但シ父ノ屬シタル家ヨリ
 分家シ又ハ宮内職員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ
 入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 二 宮内職員女子ナル場合ニ於テ夫婚姻シ又ハ家ヲ去リタルトキ
 三 父、母、祖父又ハ祖母其ノ家ヲ去リタルトキ
 第五十三條 扶助料ヲ受クル者二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタ
 ルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコ
 トナキニ至リタル月迄扶助料ヲ停止ス但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタ
 ルトキハ扶助料ハ之ヲ停止セス其ノ言渡ヲ取消セラレタルトキハ取消ノ月
 ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄之
 ヲ停止ス
 前項ノ規定ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行中又ハ其ノ執行前ニ在ル
 者ニ扶助料ヲ給スヘキ事由發生シタル場合ニ付之ヲ準用ス
 第五十四條 扶助料ヲ給セラレヘキ者一年以上所在不明ナルトキハ次順位
 者ノ申請ニ依リ宮内大臣ハ所在不明中扶助料ノ停止ヲ命スルコトヲ得
 第五十五條 前二條ノ扶助料停止ノ事由アル場合ニ次順位者アルトキハ停
 止期間中扶助料ハ之ヲ當該次順位者ニ轉給ス

第五十六條 遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ
 失フ

- 一 其ノ家ヲ去リタルトキ但シ妻夫ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ遺族タ
 ル子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキ及子父ノ屬シ
 タル家ヨリ分家シ又ハ宮内職員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴
 ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 妻、子、孫又ハ夫婚姻シタルトキ
 - 三 不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキ夫又
 ハ成年ノ子ニ付其ノ事情止ミタルトキ
- 前出ヲ爲ササルモ事實上婚姻關係同様ノ事情ニ入りタリト認メラルル
 遺族ニ付テハ宮内大臣ハ宮内省恩給審査會ニ諮問ノ上其ノ者ノ扶助料ヲ
 受クルノ權利ヲ失ハシムルコトヲ得
- 第五十七條 宮内職員第四十九條ノ規定ニ該當シ兄弟姉妹以外ニ扶助料ヲ
 受クル者ナキトキハ其ノ兄弟姉妹未成年又ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ
 得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキ場合ニ限リ之ニ一時扶助料ヲ給ス
 前項ノ一時扶助料ノ金額ハ兄弟姉妹ノ人員ニ拘ラス扶助料年額ノ一年分
 乃至五年分ニ相當スル金額トス
- 第五十八條 宮内職員在職年三年以上十七年未満ニシテ在職中死亡シ又ハ
 皇宮警手在職年三年以上十二年未満ニシテ在職中死亡シタルトキハ其ノ
 遺族ニ一時扶助料ヲ給ス
- 前項ノ一時扶助料ノ金額ハ宮内職員ノ死亡ノ當時ノ俸給月額ニ相當スル
 金額ニ其ノ宮内職員ノ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス
- 第四十九條中遺族ノ順位ニ關スル規定及第五十條ノ規定ハ第一項ノ扶助

料ヲ給スル場合ニ付之ヲ準用ス

- 第五十九條 本章ノ規定ハ前條ノ規定ヲ除クノ外普通恩給ヲ受クル者ノ遺
 族ニ之ヲ準用ス
- 附則
- 第六十條 本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第六十一條 左ノ宮内省達及皇室令ハ之ヲ廢止ス
 - 一 宮内省官吏恩給例、宮内省准官更恩給例、宮内省官更准官更遺族扶
 助例
 - 一 明治二十五年宮内省達甲第二號
 - 一 明治二十六年宮内省達甲第一號
 - 一 明治二十九年宮内省達甲第一號
 - 一 明治三十年宮内省達甲第十一號
 - 一 明治四十三年皇室令第四十一號
 - 一 大正四年皇室令第四號
 - 一 大正六年皇室令第十二號
 - 一 皇宮警手恩給令
 - 一 大正九年皇室令第七號
 - 一 大正九年皇室令第十二號
- 第六十二條 本令施行前給與事由ノ生シタル恩給、退職料、遺族扶助料其
 ノ他之ニ準スヘキモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル
 從前ノ規定ニ依ル恩給、退職料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノハ
 之ヲ本令ニ依リ受ク又ハ受クヘキ恩給ト看做ス
 前項ノ場合ニ於テ從前ノ規定ニ依ル恩給、退職料、遺族扶助料其ノ他之

ニ準スヘキモノカ本令ニ依リ給與スル恩給ノ何レノ種類ニ屬スヘキカハ
 宮内職員及其ノ遺族ノ種類並給與ノ事由ニ依リ之ヲ定ム
第六十三條 第五條乃至第七條ノ規定ハ従前ノ規定ニ依リ生シタル恩給、
 退隱料、遺族扶助料、一時賜金、退職手當金、一時扶助金其ノ他之ニ準
 スヘキモノヲ受クヘキ權利ニシテ本令施行ノ日迄ニ従前ノ規定ニ依リ請
 求期間ヲ経過セザルモノニ付之ヲ適用ス
第六十四條 第十條及第十一條ノ規定ハ本令施行前給與ノ事由ヲ生シタル
 恩給、退隱料、遺族扶助料、一時賜金、退職手當金、一時扶助金其ノ他
 之ニ準スヘキモノニ付本令施行後其ノ給與ヲ爲ス場合ニ付之ヲ適用ス
第六十五條 本令施行前ノ在職ニ付在職年ヲ計算スル場合ハ従前ノ規定ニ
 依リ但シ本令施行ノ際現ニ在職スル者ニ付テハ其ノ在職ニ繼續スル在職
 ニ限リ本令施行前ノ在職ト雖加算年ニ關スル規定ヲ除ク外本令ニ依リ
 其ノ在職年ヲ計算ス
 前項但書ノ場合ニ於テ従前ノ規定ニ依リ特ニ通算シ得ヘキコトヲ定メラ
 レタル年月數アルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス之ヲ在職年ニ通算ス
 列任待遇ノ皇宮警手ノ在職ニ繼續スル列任待遇ニ非サル皇宮警手ノ在職
 年ハ之ヲ第十七條ノ規定ニシタル皇宮警手ノ在職年ト看做ス
第六十六條 内地人タル宮内職員其ノ職務ヲ以テ朝鮮ニ四年間引續キ在勤
 シタル者ニ付テハ當分ノ内勤期間ノ一月ニ付中月ヲ加算ス
第六十七條 第三十一條第二項乃至第四項及第三十八條第一項第三號第二
 項ノ規定ハ本令施行前退職シタル宮内職員ニ付之ヲ適用ス
 前項ノ規定ニ依リ給與スル恩給ノ金額ハ本令施行前ノ分ニ付テハ従前ノ

規定ニ依ル
第六十八條 第三十二條ノ規定ハ本令施行前傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ本
 令施行後退職シ本令施行後不具廢疾ト爲リタル者ニハ之ヲ適用セス仍從
 前ノ例ニ依ル
第六十九條 本令施行前死亡シタル者ノ遺族ノ扶助料ニシテ本令施行後轉
 給セラレヘキモノニ付テハ従前ノ規定ニ依リ恩給額ヲ標準トスルノ外本
 令ニ依リ之ヲ給ス
 前項ノ規定ハ本令施行ノ際現ニ従前ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受クルコトヲ
 得ル者ノ權利ヲ妨クルコトナシ
 本令施行前ニ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有シ且其ノ權利ヲ有セザルニ至リ
 タル者ハ之ヲ受クルノ權利ヲ本令ニ依リ取得スルコトナシ
 第一項ノ場合ニ於テ本令ニ依リ扶助料ヲ受クルニ付先順位ニ在ルヘキ者
 ト雖本令ニ依リ後順位ニ在ル者先ニ扶助料ヲ受ケタル場合ニハ本令ニ依
 リ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有スルコトナシ
第七十條 本令施行ノ際現ニ従前ノ規定ニ依リ年金タル恩給、退隱料及遺
 族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノヲ受クル者ニシテ本令所定ノ恩給及ハ
 扶助料ノ金額ヲ受ケザルモノニハ當該金額ニ其ノ金額ト本令所定ノ各相
 當恩給又ハ扶助料ノ金額トノ差額ヲ給付ス
 前項ノ規定ニ該當スル者ノ中政府ヨリ恩給ヲ受ケル宮内官及軍人現役十
 一年以上ニシテ政府ヨリ恩給ヲ受ケスシテ宮内官ト爲リタル者ノ恩給及
 其ノ遺族ノ扶助料ニ付テハ左ノ各號ニ依リノ外従前ノ規定ニ依リ算出シ
 タル恩給及扶助料ノ金額ヲ以テ本令所定ノ恩給及扶助料ノ金額ト看做ス
 一 恩給年額ノ算出率ニ付テハ本令第四十四條ノ規定ニ依リ遺族扶助料

年額ノ算出率ニ付テハ第五十一條ノ規定ニ依ル
 二 政府ヨリ受ケル恩給年額ニ付テハ恩給法第一百條又ハ第一百三條ノ規
 定ニ依リ増額若ハ改定セラレ又ハセザル金額ニ依ル
第七十一條 明治四十三年三月三十一日迄ニ退職、休職ト爲リ若ハ死亡シ
 タル宮内職員又ハ其ノ遺族ニシテ明治四十三年四月改正前ノ俸給規程ニ
 依リ俸給ヲ基礎トシ恩給又ハ扶助料ヲ受ケ本法施行ノ際迄其ノ權利ヲ有
 スル者ニハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ定ムル所ニ依リ恩給又ハ扶助料ヲ本令
 施行ノ日ヨリ増額給與ス
第七十二條 大正七年十二月十日前ノ皇宮警手ノ在職年月數ニシテ普通恩
 給ニ相當スル年金ヲ受ケル權利ノ基礎タル在職年ニ通算セラレザルモノ
 ハ之ヲ皇宮警手ノ在職年ニ通算シ本令施行ノ日ヨリ其ノ受ケル恩給
 料ヲ改定シ又ハ新ニ普通恩給ヲ給ス但シ普通恩給ニ相當スル年金ヲ受ケ
 ヘカラサル事由ニ因リ退職シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 前項ノ規定ハ前項ノ規定スル者ノ遺族ノ年金タル扶助料ニ付之ヲ適用ス
第七十三條 恩給法ニ依リ公務員ノ恩給權ノ基礎トナルヘキ北海道屯田兵
 ノ在職年數ハ之ヲ宮内官ノ在職年ニ通算シ本令施行ノ日ヨリ其ノ受
 ケル年金タル恩給ヲ改定シ又ハ新ニ之ニ普通恩給ヲ給ス
 前項ノ規定ニ該當スル者ニシテ恩給法第三條ノ規定ニ依リ年金タル恩
 給ヲ改定セラレ又ハ新ニ普通恩給ヲ給セラレタルトキハ第七十條第二項
 ノ規定ヲ適用ス
 前二項ノ規定ハ前二項ノ規定スル者ノ遺族ノ年金タル扶助料ニ付之ヲ準
 用ス

第七十四條 前二條ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定スル請求期間ハ本令施行
 ノ日ヨリ之ヲ起算ス
第七十五條 第七十條第七十一條第七十三條及第七十四條ノ規定ハ宮内省
 准官更又ハ其ノ遺族トシテ恩給又ハ扶助料ヲ受ケル者ニ之ヲ適用ス但シ
 宮内官ノ恩給ト同一ノ算出率ニ依リ算出シタル恩給又ハ之ヲ基礎トシタ
 ル扶助料ヲ受ケル場合ヲ除クノ外在職十六年未滿ノ者ニ給スル恩給年額
 ノ算出率ハ之ヲ退職若ハ死亡當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ四十トシ十五
 年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對スル增加率ハ之ヲ其ノ俸給年額ノ百
 五十分ノ一トシテ恩給額ヲ計算ス
第七十六條 第六十二條乃至前條ノ規定スルモノヲ除クノ外本令ノ施行ニ
 關シ必要ナル事項ハ勅裁ヲ經テ宮内大臣ノ定ム
 附則 (昭和八年恩給令第一號)
第一條 本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
第二條 本令施行前給與事由ノ生シタル恩給ニ付テハ本令附則中別段ノ規
 定アルモノヲ除クノ外仍從前ノ規定ニ依ル
第三條 第九條 第四十三條第一項第二號、第五十三條及第五十六條ノ改
 正規定ハ本令施行前給與事由ノ生シタル恩給ニ付テモ之ヲ適用ス
第四十三條 第一項第三號ノ改正規定ハ本令施行前普通恩給ヲ受クルノ權
 利ヲ生シタル者及本令施行ノ際現ニ在職シ本令施行後退職シテ普通恩給
 ヲ受ケルノ權利ヲ生スル者ニハ之ヲ適用セス
 前項ノ規定スル者本令施行後再就職シ其ノ普通恩給ヲ改定セラレタル場合
 ニハ其ノ改定ニ因リ増額分ニ付第四十三條第一項第三號ノ規定ヲ適用
 ス

教育職員新恩給法解説

第四十三條第一項第四號ノ改正規定ハ本令施行前普通恩給ヲ受ケルノ權

前項ニ規定スル者本令施行後再就職シ其ノ普通恩給ヲ改定セラルル場合

ニハ第四十三條第一項第四號ノ規定ヲ適用ス

第四條 本令施行前ノ在職年ノ計算ニ付テハ本令附則中別段ノ規定アルモ

ノテ除ク外仍從前ノ規定ニ依ル

第五條 第二十六條ノ二ノ改正規定ハ本令施行前ノ在職ニ付テハ適用セ

第六條 本令施行ノ際現ニ進行中ニ屬スル休職其ノ他現實ニ職務ヲ執ル

要セザル在職期間ニ付テハ其ノ期間ノ終了ニ至ル迄本令施行後ト雖第二

十六條ノ二ノ改正規定ヲ適用セ

第七條 傷病年金ニ關スル改正規定ハ本令施行後公務ノ爲傷病ヲ受ケ又ハ

疾病ニ罹リタル者ニ付テハ適用ス但シ本令施行前五年内ニ公務ノ爲傷病

ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者失格原因ナクシテ退職シ本令施行後五年内

ニ傷病年金ヲ請求シタル場合ニハ傷病ノ程度ヲ査定シ將來ニ向テ之ヲ

給ス

第八條 本令施行ノ際現ニ宮内職員トシテ在職シ本令施行後退職スル者ノ

在職年ノ計算及普通恩給年額ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一 本令施行ノ際從前ノ規定ニ依ル普通恩給ニ付テハ最短恩給年限ニ達

シタル者ハ改正規定ニ依ル最短恩給年限ニ達シタル者ト看做シ其ノ

最短恩給年限ニ從前ノ規定ニ依ル最短恩給年限ヲ超ユル在職年月數

ヲ加ヘ本令施行前ノ在職年及本令施行後ノ在職年ヲ合算シ改正規定

ヲ適用シテ算出シタル金額ノ普通恩給ヲ給ス

二 本令施行ノ際從前ノ規定ニ依ル普通恩給ニ付テハ最短恩給年限ニ達

セザル者ノ本令施行前ノ在職年ハ一般宮内職員ニ在リテハ十五分ノ

十七、皇宮警手ニ在リテハ十分ノ十二ヲ乘シテ換算シ本令施行前ノ

在職年ト本令施行後ノ在職年トヲ合算シ改正規定ニ依ル普通恩給ニ

付テハ最短恩給年限以上ニ達シタル者ニハ改正規定ヲ適用シテ算出

シタル金額ノ普通恩給ヲ給ス

三 前二號ノ規定ニ依リ普通恩給ヲ給スヘキ場合ニ於テ在職年四十年以

上ノ者ニ付テハ第四十四條第三項ノ規定ニ拘ラス在職年四十二年ニ

至ル迄ハ在職年一年ヲ増ス毎ニ退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一

ニ相當スル金額ヲ加ヘタル額トシ在職年四十二年ヲ超ユル者ニ給ス

ヘキ恩給年額ハ之ヲ在職年四十二年トシテ計算ス

前項ノ規定ハ本令施行ノ際現ニ宮内職員トシテ在職シ本令施行後死亡シ

タル者ノ遺族ニ給スヘキ扶助料ニ付テハ準用ス

第九條 本令施行ノ際現ニ休職中ノ者ニシテ本令施行後其ノ期間ノ終了ニ

因リ從前ノ規定ニ依ル普通恩給ニ付テハ最短恩給年限以上ニ達スルモ

ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル普通恩給ヲ給ス

第十條 本令施行ノ際現ニ宮内職員トシテ在職シ本令施行後退職スル者ニ

給スヘキ一時恩給及其ノ遺族ニ給スヘキ一時扶助料ノ金額ニ付テハ左ノ

各號ニ依ル

一 附則第八條ノ規定ニ依リ本令施行前ノ在職年ト本令施行後ノ在職年

トヲ合算スルモ改正規定ニ依ル普通恩給ニ付テハ最短恩給年限ニ達

セザル者ニハ其ノ實ニ在職年(加算年ヲ含ム)ヲ基礎トシ改正規定ヲ適

用シテ算出シタル一時恩給又ハ一時扶助料ヲ給ス

二 在職年一年以上三年未滿ニシテ退職シタル者ニ給スヘキ一時恩給又

宮内省恩給令

ハ其ノ遺族ニ給スヘキ一時扶助料ニ付テハ第四十七條第一項及第五

十八條第一項ノ改正規定ニ拘ラス仍從前ノ規定ニ依リ之ヲ給ス

第十一條 前條ノ規定ハ本令施行ノ際現ニ休職中ノ者ニ付テハ本令施行後其ノ

期間ノ終了ニ因リ一時恩給又ハ一時扶助料ヲ給スヘキ場合ニ付テハ準用

ス

第十二條 本令施行ノ際現ニ宮内職員トシテ在職スル者ニシテ本令ノ規定

ニ依リ新ニ恩給ヲ受ケタル者格ヲ得タルモノニ付テハ其ノ在職ニ繼續ス

ル在職ニ依リ本令施行前ノ在職ト雖本令ニ依リ其ノ在職年ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年ヲ計算セラルル者現ニ從前ノ規定ニ依リ普通恩

給ヲ受ケタルキハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ停止ス

第一項ノ規定ニ依リ在職年ヲ計算セラル本令施行後退職シ普通恩給ヲ給

セラルル者大正十二年皇令第十六號宮内省恩給令施行後同令ニ依リ一

時恩給ヲ受ケタルモノナルトキハ宮内大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ一時恩

給ノ金額ヲ普通恩給額中ヨリ支給シ控除ス

第十三條 女官又ハ内掌典ノ在職年ノ計算及恩給金額ニ付テハ左ノ各號ニ

依ル

一 本令施行前ノ女官又ハ内掌典ノ在職年ニシテ從前ノ規程ニ依レハ其

ノ恩給ノ基礎ト爲ルヘキモノハ本令施行後ノ宮内職員ノ在職年ニ通

算ス

二 前號ノ場合ニ於ケル本令施行前ノ在職年ノ計算及恩給金額ニ付テハ

附則第八條及第十條ノ規定ヲ適用ス

三 本令施行ノ際現ニ在職スル内掌典ニシテ從前ノ規程ニ依ル普通恩給

ニ付テハ最短恩給年限以上ニ達シタルモノニ付テハ從前ノ規程ニ依

ル普通恩給ノ年額ト本令ニ依ル普通恩給ノ年額トヲ比較シ其ノ金額

多キモノヲ以テ其ノ者ノ普通恩給ノ年額トス

第十四條 第四十五條ノ二ノ改正規定ハ本令施行前給與事由ノ生シタル一

時恩給ニ付テハ之ヲ適用セ

第十五條 第五十一條第二項ノ改正規定ハ宮内職員カ本令施行前死亡シタ

ル場合ニ付テモ之ヲ適用ス但シ此ノ場合ニ於ケル加給ハ本令施行後ニ屬

スル殘存期間ニ付テハ之ヲ除外ス

第十六條 皇宮警手大正十二年皇令第十六號宮内省恩給令施行前皇宮警

手扶助料又ハ皇宮警手恩給令ノ規定ニ依リ退職料ヲ受ケ引續キ他ノ宮内

職員ト爲リ宮内省恩給令施行後迄在職シタル後本令施行前退職シ第六十

二條第一項ノ規定ノ適用ニ依リ其ノ退職料ヲ宮内職員ノ普通恩給ニ改定

セラレサリシ者ニ付テハ同項ノ規定ニ拘ラス特ニ第六十五條第一項ノ規

定ヲ適用シ本令施行ノ日ヨリ從前ノ規定ニ依リ其ノ退職料ヲ改定ス但シ

宮内省恩給令施行後宮内職員退職ニ因リ一時恩給ヲ受ケタル者ニ付テハ

宮内大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ一時恩給ノ金額ヲ改定ニ因リ増額セラ

ル普通恩給額中ヨリ支給シ控除ス

前項ノ規定ハ宮内省恩給令施行後本令施行前ニ宮内職員トシテ普通恩給

ヲ受ケタル者ニ付テハ之ヲ適用セ

第一項ニ規定スル者引續キ在職シ本令施行後退職スルトキハ第六十二條

第一項ノ規定ニ拘ラス第六十五條第一項ノ規定ヲ適用シ皇宮警手トシテ

ノ退職料ヲ宮内職員トシテノ普通恩給ニ改定ス但シ從前ノ在職ニ對シ宮内

職員トシテノ普通恩給ヲ受ケヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 第六十六條ノ改正規定ハ本令施行ノ際現ニ宮内職員トシテ引續

キ在職シ従前ノ規定ニ依ル期間ヲ超過シタル者ニ付テハ之ヲ適用セス

(別表)

第一號表

階等	原因		親任	奏任	列任
	傷病	症狀等差			
特別項	甲	甲	二〇〇〇	一八〇〇	一〇〇〇
第一項	甲	甲	一八〇〇	一六〇〇	九〇〇
第二項	甲	甲	一六〇〇	一四〇〇	八〇〇
第三項	甲	甲	一四〇〇	一二〇〇	七〇〇
第四項	甲	甲	一二〇〇	一〇〇〇	六〇〇
第五項	甲	甲	一〇〇〇	八〇〇	五〇〇
第六項	甲	甲	八〇〇	六〇〇	四〇〇
特別項	乙	乙	一、九二〇	一、四四〇	八六〇
第一項	乙	乙	一、六〇〇	一、二〇〇	九六〇
第二項	乙	乙	一、二八〇	九六〇	七二〇
第三項	乙	乙	一、〇〇〇	八〇〇	七二〇
第四項	乙	乙	八〇〇	六〇〇	六〇〇
第五項	乙	乙	六〇〇	四〇〇	三三〇
第六項	乙	乙	四〇〇	三〇〇	三〇〇

第二號表

階等	原因		列任	奏任	列任
	傷病	症狀等差			
特別項	甲	甲	三三〇	二八〇	二六〇
第一項	甲	甲	二四〇	二〇〇	二〇〇
第二項	甲	甲	一九〇	一七〇	一六〇
第三項	甲	甲	一五六	一四〇	一三〇
第四項	甲	甲	一五〇	一三〇	一二〇
第一項	乙	乙	二五二	二〇〇	一八〇
第二項	乙	乙	一九三	一七〇	一六〇
第三項	乙	乙	一五〇	一四〇	一三〇
第四項	乙	乙	一三三	一二〇	一一〇

宮内省恩給令施行規則

大正十二年九月二十九日 宮内省令第十二號

昭和八年四月號

宮内省恩給令施行規則

宮内省恩給令施行規則

第一條 宮内省恩給令第十七條ノ待遇職員トハ左ニ掲ケル者ヲ謂フ

一 雅樂師長及奏任待遇タル府司長

二 技手補、膳手、府司長、府司、禮場監守、鷹匠、鷲匠頭、陵墓守部、殿部、參奉、雅樂師及雅樂手長

前項ノ職員中前二他ノ列任待遇職員タリシ者ニ付テハ之ニ宮内省恩給令第三十六條第一項ノ規定ヲ適用スルトキハ勤続ト看做サル場合ニ限リ前後ノ在職年ヲ通シ前項ノ職員トシテ勤続シタル者ト看做ス但シ前二雇員タリシ者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條 宮内省恩給令第二十三條第一項第一號ノ規定ニ依リ從軍加算ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ同令第二十六條第二項ノ規定ニ依リ外左ノ各號ノ例ニ依ル

一 戰爭開始後戦地ニ到リタル者ニ付テハ戦地ニ到ルヘキ事由ノ生シタル當時所在スル地ノ屬スル地域ヲ離レタル月ヨリ加算ス

二 戰爭中戦地ヨリ歸還シタル者ニ付テハ其ノ歸還スヘキ地ノ屬スル地域ニ到リタル月ヨリ加算ス

前項ノ地域トハ内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋羣島及之ニ準スヘキ外國ノ地域ヲ謂フ

宮内省恩給令第二十三條第一項第二號ノ規定ニ依リ從軍加算ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ同令第二十六條第二項ノ規定ニ依リ外左ノ各號ノ例ニ依ル

一 動員(之ニ準スルモノヲ含ム)部隊ニ編入セラレタル者ニ付テハ編入

宮内省恩給令

特別項ハ各號第一項ノ金額ニ其ノ十分ノ五以内ヲ加ヘタルモノ

高等官及同待遇者ニ給スヘキ金額ハ列任一等ノ者ニ給スヘキ金額ニ其ノ十分ノ一二州當スル金額ヲ加ヘタルモノトス

ノ月、動員(之ニ準スルモノヲ含ム)下令前ヨリ其ノ部隊ニ在リタル者ニ付テハ其ノ下令ノ月ヨリ加算ス

二 戰爭開始後戦務ニ服スヘキ地ニ到リタル者及戰爭中其ノ地ヨリ歸還シタル者ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ宮内省恩給令第二十三條第二項ノ規定ニ依リ加算ニ付テハ之ヲ準用ス

第二條ノ二 宮内省恩給令第二十六條ノ二ノ規定ニ依リ減算ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

- 一 現實ニ職務ヲ執ルチ要セサル期間一月以上ニ互ルトハ其ノ期間力在職年ノ計算ニ於テ一月以上ニ計算セラレタル場合ヲ謂フ但シ現實ニ職務ヲ執ルチ要スル日ノアリタル月ハ在職年ノ計算ニ於テ之ヲ半減セス
- 二 半減シタル在職年ニ請月數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ
- 第三條 宮内省恩給令第三十二條第一項第一號ノ流行病ノ種類左ノ如シ
- 一 マラリヤ(黒水熱ヲ含ム)
- 二 猩紅熱
- 三 コレラ
- 四 脚氣(戦地ニ限ル)
- 五 瘧疾チフス
- 六 腸チフス
- 七 パラチフス
- 八 ハスト
- 九 回歸熱

教育職員新恩給法解説

- 十 赤痢
- 十一 流行性脳脊髄膜炎
- 十二 流行性感冒
- 十三 肺炎
- 十四 トリパノソーム病
- 十五 ワイルス氏病
- 十六 カラアザール
- 十七 黄熱

第四條 宮内省恩給令第三十三條第二項ノ規定ニ依ル職階ニ準スヘキ公務

- 一 戦地ニ於テ勤務中敵ノ設置若ハ遺棄シタル危険物ニ因ル又ハ敵對行動中ノ不可抗力ニ因ル傷病
- 二 暴徒襲撃又ハ集團ヲ爲ス馬賊海賊蕃人等討伐中ノ敵對行動ニ因ル又ハ敵對行動中ノ不可抗力ニ因ル傷病
- 三 外國ノ交戦若ハ擾亂ノ地域内ニ於テ勤務中又ハ該地域内ヲ職務ヲ以テ旅行中ニ於ケル該交戦又ハ擾亂ニ因ル傷病
- 四 警護ノ任務ヲ有スル宮内職員危険ヲ顧ミス其ノ職務ヲ執行スルニ因リテ加ヘラレタル傷病
- 五 職務ヲ以テコレラ又ハハエストノ防疫、診療又ハ看護ニ直接從事シ之カ爲リタル該疾病

第五條 宮内省恩給令第三十三條第二項ノ規定ニ依リ不具該疾ノ程度ヲ分

チテ左ノ七項トス

- 一 常ニ就床ヲ要シ且複雑ナル介護ヲ要スルモノ
- 二 重大ナル精神障碍ノ爲常ニ監視又ハ複雑ナル介護ヲ要スルモノ
- 三 身體諸部ノ障碍ヲ綜合シテ其ノ程度第一項症ニ第一項症乃至第六項症ヲ加ヘタルモノ
- 第一項症
 - 一 複雑ナル介護ヲ要セサルモ常ニ就床ヲ要スルモノ
 - 二 精神的又ハ身體的作業能力ヲ失ヒ僅ニ自用ヲ辨シ得ルニ過キサルモノ
 - 三 咀嚼及言語ノ機能ヲ併セ損シタルモノ
 - 四 兩眼ノ視力カ視標〇・一チ〇・五メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 五 肘關節以上ニテ兩上肢ヲ失ヒタルモノ
 - 六 膝關節以上ニテ兩下肢ヲ失ヒタルモノ
- 第二項症
 - 一 精神的又ハ身體的作業能力ノ大部ヲ失ヒタルモノ
 - 二 咀嚼又ハ言語ノ機能ヲ損シタルモノ
 - 三 兩眼ノ視力カ視標〇・一チ一メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 四 兩耳全ク聾シタルモノ
 - 五 腕關節以上ニテ兩上肢ヲ失ヒタルモノ
 - 六 足關節以上ニテ兩下肢ヲ失ヒタルモノ
- 第三項症
 - 一 咀嚼又ハ言語ノ機能ニ大ニ妨アルモノ

四四四

- 二 兩耳全ク失ヒタルモノ
- 三 肘關節以上ニテ一上肢ヲ失ヒタルモノ
- 四 腕關節以上ニテ一上肢ヲ失ヒタルモノ
- 五 兩耳ノ聽力カ耳鼓ニ接セザレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
- 第四項症
 - 一 搖尾器ノ機能ニ大ニ妨アルモノ
 - 二 兩眼ノ視力カ視標〇・一チ二メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 三 腕關節以上ニテ一上肢ヲ失ヒタルモノ
 - 四 足關節以上ニテ一下肢ヲ失ヒタルモノ
- 第五項症
 - 一 鼻ヲ失ヒ其ノ機能ニ大ニ妨アルモノ
 - 二 頸部、顔面等ニ大ナル醜形ヲ殘シタルモノ
 - 三 一眼ノ視力カ視標〇・一チ〇・五メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 四 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ
- 第六項症
 - 一 頸部又ハ軀幹ノ運動ニ大ニ妨アルモノ
 - 二 一眼ノ視力カ視標〇・一チ一メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 三 一側中指及示指ヲ全ク失ヒタルモノ
 - 四 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ

宮内省恩給令

四四五

- ス
- 視力ヲ測定スル場合ニ於テハ屈折異常ノモノニ付テハ矯正視力ニ依リ視標ハ萬國共通視標ニ依ル
- 第五條ノ二 宮内省恩給令第三十三條第二項ノ規定ニ依リ傷病年金ヲ給スヘキ傷病ノ程度ヲ分チテ左ノ四款トス
- 第一款症
 - 一 一眼ノ視力カ視標〇・一チ三メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 二 一耳ノ聽力カ耳鼓ニ接セザレハ大聲ヲ解シ得サルモノ
 - 三 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ
 - 四 一側中指及示指ヲ全ク失ヒタルモノ
- 第二款症
 - 一 一眼ノ視力カ視標〇・一チ三メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 二 一耳ノ聽力カ十センチメートル以上ニテハ尋常ノ新聲ヲ解シ得サルモノ
 - 三 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ
 - 四 一側第一趾ヲ全ク失ヒタルモノ
- 第三款症
 - 一 一眼ノ視力カ視標〇・一チ三メートル以上ニテハ辨別シ得サルモノ
 - 二 一耳ノ聽力カ十センチメートル以上ニテハ尋常ノ新聲ヲ解シ得サルモノ
 - 三 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ
 - 四 一側第一趾ヲ全ク失ヒタルモノ
- 第四款症
 - 一 一側中指ヲ全ク失ヒタルモノ

教育職員新恩給法解説

- 二 一側示指ノ機能ヲ喪シタルモノ
 - 三 一側第二趾ヲ全ク失ヒタルモノ
 - 四 一側第一趾ノ機能ヲ喪シタルモノ
- 前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ傷病ノ程度ノ査定ニ付テ之ヲ準用ス
- 第六條 待遇職員ノ公務傷病ニ關スル規定ノ適用ニ付テノ階等ハ左ノ區分ニ依ル
- 一 雅樂師長及奏任待遇タル府司長ハ奏任八等トス
 - 二 列任待遇職員ハ列任四等トス
- 第六條ノ二 宮内省恩給令第四十三條第一項第四號ニ規定スル恩給外ノ所得トハ左ニ掲ケルモノヲ謂フ
- 一 恩給受給者カ内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ南洋羣島ニ住所又ハ一年以上ノ居所ヲ有スル場合ニ於ケル所得但シ右地域外ニ於ケル資産、營業又ハ職業ヨリ生スル所得ヲ含ム
 - 二 恩給受給者カ前條ニ規定スル地域内ニ住所又ハ一年以上ノ居所ヲ有セサル場合ニ於テ右地域内ニ有スル資産又ハ營業ヨリ生スル所得
 - 三 前條ノ恩給受給者カ第一號ニ規定スル地域内ニ本店又ハ主ナル事務所ヲ有スル法人ヨリ受ケル利益若ハ利息ノ配當、剩餘金ノ分配又ハ俸給、賞與若ハ此等ノ性質ヲ有スル給與
- 第六條ノ三 前條第三號ニ掲ケルモノ以外ノ恩給外ノ所得ハ所得税法ニ規定スル個人ノ第三種所得中同法第十八條第一號乃至第五號ニ掲ケル所得ヲ除外セタルモノト同範圍トス
- 第六條ノ四 恩給外ノ所得ノ計算ニ關シテハ所得税法第十四條第一項及第二項並新得税法施行規則第七條及第八條ノ規定ヲ準用ス

第六條ノ五 年額千圓以上ノ恩給ヲ受ケル者ハ毎年三月三十一日迄ニ恩給外ノ所得ノ種類及金額ヲ詳記シ之ヲ宮内大臣ニ届出ツベシ

第六條ノ六 恩給外ノ所得ハ毎年前條ノ届出ニ基キ宮内大臣之ヲ決定ス

第六條ノ七 宮内省恩給令第四十三條第一項第四號ノ規定ニ依ル恩給外ノ所得ハ恩給外ノ所得ノ決定ニ基キ其ノ年ノ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル期間分ノ恩給ニ付テ之ヲ爲ス但シ其ノ前年以前ノ分ノ恩給ニ付停止ヲ爲スヘキ場合ニ於テ恩給ノ請求又ハ裁定ノ遅延ニ因リ一般ノ手續ニ依リテ恩給外ノ所得ヲ決定スルコトヲ得サルトキハ其ノ分ニ付テハ一般ノ場合ニ準シ臨時ニ恩給外ノ所得ヲ決定ス此ノ場合ニ於テハ其ノ停止額ハ後ノ恩給支給額中ヨリモ之ヲ控除スルコトヲ得

恩給ヲ受ケヘキ事由ノ生シタル年分ノ恩給ニ付テハ宮内省恩給令第四十三條第一項第四號ノ規定ニ依ル恩給ノ一部停止ノ手續ヲ行ハス

恩給外ノ所得額ノ追加又ハ更訂アリタルトキハ恩給ノ停止額モ亦之ヲ更正ス

恩給給與ノ止ムヘキ事由ノ生シタル場合ニ於テハ恩給ノ停止ハ其ノ事由ノ生シタル月分迄ノ恩給ニ付テ之ヲ爲ス

第六條ノ八 宮内省恩給令第四十五條ノ二ノ規定ニ依リ納付スヘキ金額ハ再就職後再退職ニ至ル迄ノ期間内ニ納付セシム但シ分納ヲ妨ケス

前項ノ規定ニ依リ一時恩給ノ全部又ハ一部ヲ納付シ失格原因ヲクシテ再就職ヲ退職シタルニ拘ラス普通恩給ヲ受ケルノ權利ヲ生セサル場合ニ於テハ納付金ハ之ヲ納付者ニ還付ス

第七條 宮内省恩給令第六十六條ノ規定ニ依ル内地人タル宮内職員ノ朝鮮

在勤加算ハ朝鮮以外ノ地ヨリ朝鮮ニ赴任シタル者ニ付テハ朝鮮ニ到着シタル月ヨリ朝鮮ニ在リテ就職シタル者ニ付テハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ其ノ在勤ヲ止メラレタル月ヲ以テ終ル

朝鮮ニ在勤中引續キ九十日以上朝鮮ヲ離レタルトキハ全ク朝鮮ヲ離レタル月ニ對シテハ在勤加算ヲ爲サス

第八條 宮内省恩給令第七十條ノ規定ニ依ル増額ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 普通恩給又ハ遺族ノ扶助料ノ年額ヲ更正スル場合ニ於テハ其ノ年額算出ノ基礎ト爲リタル俸給力大正九年七月三十一日以前ノ俸給規程ニ依ルモノナルトキハ別表第一號表ノ區分ニ依リ增加シタル金額ヲ俸給年額ト爲シ其ノ他ノモノナルトキハ在職最終ノ俸給年額ヲ基礎トシテ宮内省恩給令第四十四條、第四十五條及第五十一條ノ規定ニ依リ算出シタル年額ヲ以テ其ノ普通恩給又ハ扶助料ノ年額トス
- 二 増加恩給ノ年額ヲ更正スル場合ニ於テハ退職當時ノ階等並別表第二號表ニ依リ算出シタル年額ヲ以テ其ノ增加恩給ノ年額トス

第六條ノ規定ハ増加恩給年額ノ更正ニ付テ之ヲ準用ス

第九條 宮内省恩給令第七十一條ノ規定ニ依リ普通恩給又ハ遺族ノ扶助料ノ年額ヲ增加スル場合ニ於テハ其ノ年額算出ノ基礎ト爲リタル退職、休職又ハ死亡當時ノ俸給年額ヲ別表第三號表ニ依リ決定俸給年額ニ増加シ之ヲ退職、休職又ハ死亡當時ノ俸給年額ト看做シ之ニ宮内省恩給令第七十條ノ規定ヲ適用ス

第十條 前二條ノ規定ハ宮内省恩給令第七十五條ノ規定ニ依リ普通恩給又ハ遺族ノ扶助料ノ年額ヲ更正スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 昭和八年皇令第一號附則第十二條ノ規定ニ依リ普通恩給額中

ヨリ控除スル額ノ年額ハ普通恩給額ノ十分ノ一トス

昭和八年皇令第一號附則第十六條ノ規定ニ依リ改定普通恩給ヨリ控除スル金額ノ年額ハ改定ニ依リ増額スル金額ノ一分分同額トス

控除ハ控除金額ノ總額カ一時恩給金額ニ達シタルトキヲ以テ之ヲ止ム

附則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表

在職最終年額	增加額	在職最終年額	增加額
六千五百圓	七百圓	五千五百圓	六百圓
五千五百圓	六百圓	四千五百圓	五百圓
四千五百圓	五百圓	三千五百圓	四百圓
三千五百圓	四百圓	二千五百圓	三百圓
二千五百圓	三百圓	一千五百圓	二百圓
一千五百圓	二百圓	一千圓	一百圓
一千圓	一百圓	七百圓	八十圓
七百圓	八十圓	六百圓	七十圓
六百圓	七十圓	五百圓	六十圓
五百圓	六十圓	四百圓	五十圓
四百圓	五十圓	三百圓	四十圓
三百圓	四十圓	二百圓	三十圓
二百圓	三十圓	一百圓	二十圓
一百圓	二十圓	五十圓	十圓
五十圓	十圓	以下ノ	以下ノ

宮内省恩給令

四四七

従前ノ規定	症狀等差特別	第一項	第二項	第三項	第四項	第五項	第六項
宮内省官吏施行規則	第十條	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號	第六號
皇宮警手恩給令施行規則	第九條	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號	第六號

高 等	官 官	判任官及皇宮警手
退職休職又ハ死亡當時ノ俸給年額	假定期給年額	退職休職又ハ死亡當時ノ俸給年額
二六〇〇〇	八〇〇〇	九六〇
二五〇〇〇	六〇〇〇	九〇〇
二四〇〇〇	四〇〇〇	八四〇
二三〇〇〇	三〇〇〇	七八〇
二二〇〇〇	二〇〇〇	七二〇
二一〇〇〇	一〇〇〇	六六〇
二〇〇〇〇	一〇〇〇	六〇〇
一九〇〇〇	一〇〇〇	五四〇
一八〇〇〇	一〇〇〇	四八〇
一七〇〇〇	一〇〇〇	四二〇
一六〇〇〇	一〇〇〇	三六〇
一五〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇
一四〇〇〇	一〇〇〇	二四〇
一三〇〇〇	一〇〇〇	一八〇
一二〇〇〇	一〇〇〇	一二〇
一一〇〇〇	一〇〇〇	六〇
一〇〇〇〇	一〇〇〇	〇

一八〇〇	二二〇〇	三百二十四以下	七十二以下加ハタル額
一六〇〇	二〇〇〇	二百七十六以下	六十以下加ハタル額
一四〇〇	一八〇〇	二百二十八以下	四十八以下加ハタル額
一二〇〇	一六〇〇	百八十四以下	三十六以下加ハタル額
一〇〇〇	一四〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
九〇〇	一三〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
八〇〇	一二〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
七〇〇	一一〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
六〇〇	一〇〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
五〇〇	九〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
四〇〇	八〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
三〇〇	七〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
二〇〇	六〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
一〇〇	五〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額
〇	四〇〇	百三十二以下	二十四以下加ハタル額

備考
 一本表ノ俸給年額ニハ加俸ヲ包含セズ恩給年額算出ノ基礎ト爲リタル加俸ハ其ノ實額ニ依ル
 一本表ニ該當セザル俸給ニ付テハ之ニ其ノ俸給年額ノ二割五分ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノヲ以テ假定期給年額トス但シ其ノ額力實俸給年額ニ最モ近キ本表中ノ上級俸給年額ニ對スル假定期給年額ヲ超過スルトキハ之ヲ當該上級俸給年額ニ對スル假定期給年額ニ止ム

●宮内省恩給給與規則

大正十二年十月一日 宮内省令第十四號

昭和五年第五號、八年第八號 宮内省恩給給與規則左ノ通定ム

- 第一章 恩給ノ請求
- 第一條 普通恩給、增加恩給又ハ傷病年金ヲ受ケムトスル者ハ恩給請求書ヲ宮内大臣ニ差出スヘシ
- 第二條 前條ノ恩給請求書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
- 一 在職中ノ履歴書
 - 二 戸籍抄本(之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ)(退職後請求迄ノ間ニ於テ作成セラレタルモノ)
- 增加恩給請求書又ハ傷病年金請求書ニハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ
- 一 傷病疾病カ公務ニ起因シタルコトヲ認ムルニ足ルヘキ書類(例ヘハ現職者ノ現職證明書、所屬長ノ事實證明書等)
 - 二 症狀ノ經過ヲ記載シタル書類
 - 三 請求當時ニ於ケル診斷書
- 恩給ヲ改定スル場合ニ於テ前ニ恩給證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前二項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ恩給證書ヲ添附スヘシ
- 第三條 宮内省恩給令第三十四條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ再審査ヲ請求スル者ハ再審査請求書ニ前條第二項第二號及第三號ニ掲ケル書類ヲ

宮内省恩給令

添ヘ宮内大臣ニ之ヲ差出スヘシ

再審査ノ請求アリタル場合ニ於テ宮内大臣ハ必要ト認ムルトキハ其ノ指定スル醫師ノ現在症狀證明書ノ提出ヲ請求者ニ命ズルコトヲ得

第四條 一時恩給ヲ受ケムトスル者ハ一時恩給請求書ニ在職中ノ履歴書ヲ添附シ宮内大臣ニ之ヲ差出スヘシ

第五條 扶助料ヲ受ケムトスル者ハ扶助料請求書ヲ宮内大臣ニ差出スヘシ

第六條 宮内省恩給令第四十九條第一項ノ規定ニ依リ第一次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 宮内職員ノ在職中ノ履歴書
- 二 請求者ノ戸籍抄本(之ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ)(宮内職員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ以下同シ)

前項ノ場合ニ於テ宮内職員前ニ恩給證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ恩給證書ヲ添附スヘシ

第七條 宮内省恩給令第五十九條ノ規定ニ依リ第一次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 宮内職員カ已ニ普通恩給ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ恩給證書及請求者ノ戸籍抄本
- 二 宮内職員カ未タ普通恩給ノ裁定ヲ經サルトキハ前條第一項各號ニ掲ケル書類

前條第二項ノ規定ハ前項第二號ニ掲ケル書類ヲ添附スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 前二條ノ場合ニ於テ宮内職員ノ死亡ガ公務ニ因リ傷疾疾病ニ起因スルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ第二條第二項第一號及第二號ニ掲ケル書類並死亡者ノ死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添付スヘク

第九條 死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添付スルコトヲ得サル場合ニ於テハ死亡ノ事實ヲ證明スル公ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十條 宮内省恩給令第四十九條第一項又ハ第五十九條ノ規定ニ依リ第二次以下ニ於テ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者ガ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 前扶助料權者ガ扶助料ヲ受ケルノ權利ヲ失ヒタルコトヲ證明スル書類

二 前扶助料權者ノ扶助料證書

三 請求者ノ戸籍謄本

前項ノ場合ニ於テ前扶助料權者ガ未タ扶助料ノ裁定ヲ經サルトキハ前項第一號ニ掲ケル書類及前扶助料權者ガ扶助料ヲ請求スル場合ニ添付スルコトヲ要スル書類ヲ添付スヘシ

第十一條 宮内省恩給令第五十條第二項ニ規定スル扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ第六條乃至前條ノ規定ニ依リノ外扶助料請求書ニ不具發疾ヲ證明スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコトヲ證明スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十二條 宮内省恩給令第五十四條ノ規定ニ依リ扶助料ノ停止ヲ申請スル者ハ扶助料停止申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ宮内大臣ニ之ヲ差出スヘシ

一 扶助料權者ノ所在不明ナルコトヲ證明スル公ノ證明書

二 請求者ノ戸籍謄本

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ宮内省恩給令第五十五條ノ規定ニ依リ扶助料轉給ノ請求ヲ爲スヘシ

第十三條 宮内省恩給令第五十五條ノ規定ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル扶助料轉給請求書ニ請求者ノ戸籍謄本ヲ添付シ宮内大臣ニ之ヲ差出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リ請求者ノ戸籍謄本ヲ添付シタル場合ニ於テハ其ノ添付ヲ要セス

第十四條 宮内省恩給令第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ受ケムトスル者ハ一時扶助料請求書ヲ宮内大臣ニ差出スヘシ

第十五條 宮内省恩給令第五十七條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶助料請求書ニ不具發疾ヲ證明スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコトヲ證明スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 宮内職員カ已ニ普通恩給ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ恩給證書及請求者ノ戸籍謄本

二 宮内職員カ未タ普通恩給ノ裁定ヲ經サルトキハ宮内職員ノ在職中ノ履歷書及請求者ノ戸籍謄本

第十六條 宮内省恩給令第五十八條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶助料請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 宮内職員ノ在職中ノ履歷書

二 請求者ノ戸籍謄本

第十七條 宮内省恩給令第十一條第一項ノ規定ニ依リ恩給ヲ請求スル者ハ恩給ノ請求書ヲ宮内大臣ニ差出スヘシ

第十八條 前條ノ請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 死亡シタル恩給權者ガ恩給ヲ請求ストモハ添付スルコトヲ要スヘキ書類

二 請求者ノ戸籍謄本

第十九條 一時扶助料ヲ給セラルヘキ者數人アルトキ又ハ宮内省恩給令第十一條第一項若ハ第二項ノ相續人數人アルトキハ其ノ中一人ヲ總代者トシテ恩給ノ請求又ハ恩給支給ノ請求ヲ爲スヘシ

第二十條 恩給ノ請求ニ付恩給證書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ死亡失其ノ他ノ事由ニ因リ之ヲ添付スルコトヲ得サルトキハ證據書類ヲ添ヘ其ノ事由ヲ届出スヘシ

第二十一條 恩給ノ裁定

第二十二條 恩給請求書ノ提出アリタルトキハ宮内大臣官房秘書課長ハ之ヲ審査シ權利ノ有無ヲ決定シ宮内大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第二十三條 前項ノ場合ニ於テ權利アリト裁定アリタルトキハ宮内大臣官房秘書課長ハ年金タル恩給ニ付テハ恩給證書ヲ、一時金タル恩給ニ付テハ裁定通知書ヲ請求者ニ交付スヘシ但シ第十六條ニ規定スル恩給ノ請求ニ對シテハ裁定通知書ヲ交付ス

第二十四條 宮内大臣官房秘書課長ハ恩給請求書類ニ不備ノ點アルコトヲ認メタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ不備ヲ追完セシムルコトヲ得

第二十五條 請求者前項ノ期間内ニ不備ノ追完ヲ爲ササルトキ又ハ第一項ノ場合ニ於テ權利ナシト裁定シタルトキハ宮内大臣ハ理由ヲ附シテ其ノ請求ヲ却下スヘシ

第二十六條 前條第二項ノ場合ニ於テ宮内大臣官房秘書課長ハ之ヲ内藏頭及帝室會計審査局長官ニ通知スヘシ但シ一時金タル恩給ニ付テハ帝室會計

計審査局長官ニ通知スルコトヲ要セス

第二十七條 第二十條第二項ノ規定ニ依リ年金タル恩給證書ノ下付ヲ受ケタル者ハ速ニ受領書ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ差出し恩給請求書ニ押捺セル印章ヲ以テ作成シタル氏名ヲ記載シタル印鑑ヲ内藏頭ニ差出スヘシ

第二十八條 權利者ニ於テ恩給證書又ハ裁定通知書ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ證據書類ヲ添付シ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ通知スヘシ

第二十九條 宮内大臣ハ恩給證書又ハ裁定通知書ニ誤謬アルコトヲ認メタルトキハ訂正ノ爲必要ナル手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ權利者ニ通知スヘシ

第三十條 規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 宮内大臣ハ審査上必要アリト認ムルトキハ請求者又ハ申請者ニ出頭ヲ命シ又ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 恩給ノ支給

第三十三條 年金タル恩給ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ内藏頭ヨリ交付スル用紙ニ依リテ作成シタル恩給支給請求書ヲ支給期月ノ十日迄ニ内藏頭ニ差出スヘシ

第三十四條 年金タル恩給ハ毎年三月、六月、九月、十二月ノ四期ニ於テ各其ノ月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ恩給又ハ權利消滅若ハ停止ノ場合ニ於ケル其ノ月迄ノ恩給ハ支給期月ニ非サル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第三十五條 内藏頭ハ年金タル恩給ヲ受ケルノ權利ノ消滅シ又ハ停止セラレヘキ原因タル事實アルコトヲ知リタルトキハ其ノ支給ヲ止メ速ニ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ通知スヘシ

第四章 異動通知

第二十九條 普通恩給ヲ受ケル者公務員ト爲リ宮内省恩給令第四十三條第一項第一號ノ規定ニ依リ其ノ恩給ヲ停止セラルヘキ場合ニ於テハ本人ヨリ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ通知スヘシ恩給停止ノ事由止ミタルトキ亦同シ

第三十條 年金タル恩給ヲ受ケル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ(刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキヲ除ク)又ハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ本人又ハ縁故者ヨリ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ通知スヘシ

第三十一條 年金タル恩給ヲ受ケル者國籍ヲ失ヒ死亡シ又ハ宮内省恩給令第四十二條若ハ第五十六條ノ規定ニ依リ其ノ恩給ヲ受ケルノ權利ヲ失フ場合ニ於テハ本人、遺族又ハ縁故者ヨリ連ニ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ通知スヘシ

第三十二條 宮内大臣官房秘書課長前三條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ内閣頭及帝室會計審査局長官ニ通知スヘシ普通恩給ヲ受ケル者宮内職員ト爲リタルトキ亦同シ

第三十三條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ本籍又ハ現住所ヲ變更シタルトキ若ハ改印シタルトキハ連ニ之ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ届出ツヘシ前項ノ届出アリタルトキハ宮内大臣官房秘書課長ハ之ヲ内閣頭ニ通知スヘシ

第五章 受給権調査
第三十三條ノ二 年金タル恩給ヲ受ケル者ハ左ニ掲ケル書類ヲ毎年一回差出スヘシ

一 受給者ノ身分關係ノ變動ニ付事實ヲ證スルニ足ルヘキ戸籍抄本但シ妻以外ノ扶助料權者ニ在リテハ戸籍謄本

二 遺族タル夫又ハ成年ノ子若ハ孫カ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキコトヲ條件トシテ扶助料ヲ給セララルトキハ不具廢疾ヲ證スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキコトヲ證スル居住地ノ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書

前項ノ書類ハ毎年七月末日迄ニ之ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ差出スヘシ但シ恩給ノ裁定ヲ受ケタル年ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條ノ三 前條ニ規定スル書類ヲ差出ササル受給者ニ對シテハ之ヲ差出スヘキ月ヨリ一期隔リタル後ノ支給期以後ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルヘシ

第六章 恩給證書ノ返還及再交付

第三十四條 年金タル恩給ヲ受ケル者死亡シ又ハ恩給ヲ受ケルノ權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ恩給ヲ受ケヘキ順位者ナキトキハ恩給證書ヲ占有スル者ハ連ニ宮内大臣官房秘書課長ニ之ヲ返還スヘシ

前項ノ場合ニ於テ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ恩給證書ヲ返還シ得ザルトキハ連ニ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ届出ツヘシ

第三十五條 恩給證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ宮内大臣ニ再交付ヲ申請スルコトヲ得

第三十六條 恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ハ其ノ效力ヲ失フ
亡失ヲ事由トシテ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタル後從前ノ恩

●更正手續

大正十二年十月一日
宮内省令第十五號

宮内省恩給令第七十條乃至第七十五條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給ノ更正手續左ノ通定ス

更正手續

第一條 宮内省恩給令第七十條又ハ第七十一條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年九月三十日以前ノ裁定ニ係ルモノニ付テハ受給權者ノ請求ヲ俟マス之ヲ更正シ其ノ更正年額ヲ表示シタル新證書ヲ發行ス

第二條 宮内省恩給令第七十條又ハ第七十一條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給、扶助料等ニシテ大正十二年十月一日以後裁定スヘキモノニ付テハ更正年額及從前ノ年額ヲ表示シタル證書ヲ發行ス

第三條 第一條ノ規定ニ依リ新證書ハ受給權者ノ請求ヲ俟マス宮内大臣官房秘書課ニ於テ之ヲ調製シ受給權者ニ交付ス

第四條 第一條ノ新證書ノ交付ヲ受ケタル受給權者ハ從前ノ證書ヲ添附シ宮内大臣官房秘書課ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ證書ヲ添附スルコトヲ得ザルトキハ證據書類ヲ添ヘ其ノ事由ヲ届出ツヘシ

第五條 宮内省恩給令七十二條又ハ第七十三條ノ規定ニ依リ新ニ恩給又ハ扶助料ヲ請求スル者ハ宮内省恩給規則第一條及第二條又ハ第六條及第七條ノ規定ニ依リ其ノ請求書ヲ差出スヘシ

第六條 從前ノ規定ニ依リ給スル恩給又ハ扶助料ヲ宮内省恩給令第七十條

給證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ連ニ宮内大臣官房秘書課長ニ之ヲ返還スヘシ

第三十七條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ恩給證書及戸籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ宮内大臣官房秘書課長ニ届出ツヘシ前項ノ場合ニ於テ宮内大臣官房秘書課長ハ恩給證書ニ改氏名ノ事實ヲ記載シタル上之ヲ權利者ニ返付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ宮内大臣官房秘書課長ハ之ヲ内閣頭及帝室會計審査局長官ニ通知スヘシ

第七章 具申及裁決

第三十八條 宮内省恩給令第十四條ノ具申ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十九條 具申書ニハ左ノ事項ヲ記載シ具申者記名捺印シ證據書類其ノ他必要ナル書類ヲ添付スヘシ

一 具申者ノ氏名、年齢及住所

二 具申ノ趣旨及理由

第四十條 宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ期限ヲ定メ必要ナル書類ヲ差出サシメ又ハ具申者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第四十一條 裁決ハ理由ヲ附シタル裁決書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

乃至第七十三條ノ規定ニ依リ更正増額スル場合ニ於テハ第一條乃至第五條ノ規定ニ依リ先ツ同令第七十條又ハ第七十條及第七十一條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲シ更ニ受給權者ノ請求ヲ俟テ同令第七十二條又ハ第七十三條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲ス

第七條 恩給ノ更正ニ關シ本令ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ宮内省恩給給與規則ヲ準用ス

第八條 宮内省恩給令第七十五條ノ規定ニ依リ恩給又ハ扶助料ノ増額又ハ新ニ恩給ヲ給スヘキ場合ニ付テハ本令ノ規定ヲ準用ス

附則 本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和八年皇室令第二號 (恩給ノ増額等ニ關スル件)

昭和八年九月十九日 皇室令第二號

恩給ノ増額等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (宮内大 臣訓令)

第一條 昭和六年六月以降減俸ノ爲改正シタル俸給ニ關スル規程ニ依リ俸給ヲ給セラレ本令施行後退職若ハ死亡シタル宮内職員又ハ其ノ遺族ニハ俸給ニ關スル規程ニ依リハ受ケヘカリシ俸給ヲ基礎トシ恩給ヲ給ス

前項ノ規定ハ昭和六年六月以降新ニ制定セラレ若ハ制定セラレル俸給ニ關スル規程ニ依リ俸給ヲ給セラレテ退職若ハ死亡シタル宮内職員又ハ其ノ遺族ニ付テハ準用ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ恩給金額ヲ算出スル爲ニ要スル改正前ノ俸給額ニ依リ受ケヘカリシ俸給ハ左ノ各號ニ依ル

一 昭和六年六月減俸ノ爲改正シタル俸給規程施行ノ際現ニ在職シ俸給(加俸ヲ含ム)ヲ減額セラレタル宮内職員其ノ俸給ヲ變動セラルコトナクシテ退職又ハ死亡シタルトキハ減俸直前ノ俸給トス

二 昭和六年六月減俸ノ爲改正シタル俸給規程施行ノ際現ニ在職シタル宮内職員其ノ俸給ヲ變動セラレテ退職又ハ死亡シタル場合及該俸給規程施行後就職シタル宮内職員又ハ死亡シタル場合ニ於テ其ノ俸給額力減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル俸給額ニ該當スルモノナルトキハ其ノ級俸定額ニ對應スル改正前ノ俸給規程ニ定ムル級俸定額トシ之ニ該當セザルモノナルトキハ其ノ俸給額ニ直近スル下位ノ級俸定額力之ニ對應スル改正前ノ俸給規程ニ定ムル級俸定額ニ對シテ有スル割合ヲ以テ其ノ俸給額ヲ除シタル金額トス但シ其ノ俸給額ニ直近スル上位ノ級俸定額ニ對應スル改正前ノ俸給規程ニ定ムル級俸定額ヲ超ユルコトナシ

三、昭和六年六月減俸ノ爲改正シタル俸給規程施行後年功加俸ヲ給セラレ又ハ變動セラレテ退職又ハ死亡シタルトキハ其ノ年功加俸ヲ減俸ノ爲改正シタル俸給規程ニ定ムル最高限ノ改正前ノ俸給規程ニ定ムル最高限ニ對シテ有スル割合ヲ以テ除シタル金額トス

四 昭和六年六月減俸ノ爲改正シタル俸給規程施行ノ際現ニ在職シタル宮内待選職員其ノ俸給ヲ變動セラレテ退職又ハ死亡シタルトキ及該俸給規程施行後就職シタル宮内待選職員退職又ハ死亡シタルトキハ勅任待選責任待選宮内職員ニ在リテハ宮内官官等俸給令中高等官ノ俸給ニ關スル規定、列任待選宮内職員ニ在リテハ同令中列任官ノ俸給ニ關スル規定ニ依リ受ケヘカリシモノト假定シ第二號ノ規定ニ依リ算出シタル金額トス

前項第二號乃至第四號ノ規定ニ依リ計算シタル俸給金額ノ圓位未滿ハ之ヲ切捨ツ

第三條 昭和六年五月三十一日以前ニ休職ト爲リ昭和六年六月以降減俸ノ爲改正シタル俸給ニ關スル規程ニ依リ俸給ヲ給セラレ本令施行ノ日迄ニ退職若ハ死亡シタル宮内職員又ハ其ノ遺族ニハ其ノ恩給額ト俸給ニ關スル規程ニ依リ受ケヘカリシ俸給ヲ基礎トスル恩給額トノ差額ヲ年金トシ恩給ニ在リテハ退職又ハ死亡ノ翌月ヨリ増給シ一時金タル恩給ニ在リテハ追給ス

前項ノ増給及追給ハ本人ノ請求ヲ俟タズシテ之ヲ更正ス

宮内省恩給令

一、**宮内省恩給令** 昭和八年九月十九日 皇室令第九號

昭和八年皇室令第一號附則第七條但書及第十六條並昭和八年皇室令第二號第三條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給ノ更正手續

第一條 昭和八年皇室令第一號附則第七條但書及第十六條ノ規定ニ依リ恩給ヲ請求セムトスル者ハ宮内省恩給給與規則第一條及第二條ノ規定ニ依リ其ノ請求書ヲ差出スヘシ

第二條 昭和八年皇室令第二號第三條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給ニシテ昭和八年九月三十日以前ノ裁定ニ係ルモノニ付テハ其ノ更正年額ヲ表示シタル新證書ヲ發行シ受給權者ニ交付ス

教育職員新恩給法附則

前項ノ新證書ノ交付ヲ受ケタル受給権者ハ従前ノ證書ヲ返還スヘシ
第三條 恩給ノ更正ニ關シ本令中別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ宮内省恩給
給與規則ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三 年金及恩給支給

●郵便官署ヲシテ年金及恩給ノ支給事務ヲ取扱ハシムルノ件

明治四十三年三月十六日
勅令第二十五號

大正十四年第一二二號

郵便官署ヲシテ年金、恩給等ノ支給事務ヲ取扱ハシムルノ件ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム(勅令、大正、外務、内)

國庫ノ支拂ニ屬スル年金及恩給ノ支給ニ關スル事務ハ逓信省、朝鮮總督府、
臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ所管ニ屬スル郵便官署ヲシテ之ヲ
取扱ハシム

前項給與金ノ支給手續ニ關シテハ逓信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第一項給與金ノ支拂ニ關シテハ歳入金歳出金歳出入歳出外現金ノ交互振替
及繰替受拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●年金恩給支給規則

大正十二年十一月十日
逓信省令第九十二號

大正三年第五號

年金恩給支給規則左ノ通改正ス

年金恩給支給規則

第一章 總則

第一條 國庫ノ支拂ニ屬スル左ノ給與金ノ支給手續ニ關シテハ本規則ノ定
ムル所ニ依ル

一、明治二十七年勅令第七十三號金勳章年金令ニ依ル給與金

二、大正十二年法律第四十八號恩給法ニ依ル給與金

三、特ニ賜與ニ係ル年金、恩給ノ給與金

第二條 前條ノ給與金ハ特別ノ場合ヲ除ク外受給者ノ指定シタル郵便局

宮内省恩給令

ニ於テ之ヲ支給ス

第三條 繼續給與金ノ支給期日ハ當該支給期月ノ廿一日ヨリ二十日迄トス
但シ恩給ヲ受ケルノ權利消滅シタル場合又ハ年金ノ支給ヲ廢止セラレタ
ル場合ニ於ケル給與金ニ付テハ支給期月及期日ニ拘ハラズ之ヲ支給ス
一時限ノ給與金ノ支給ニ付テハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

第四條 受給者居所ヲ變更シタルトキハ其ノ届書ニ給與ニ關スル證書ノ種
類、記號番號ヲ附記シ支給郵便局ニ差出スヘシ

第五條 受給者轉居又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ支給郵便局ヲ變更セムトスル
トキハ給與ニ關スル證書ノ種類、記號番號及新舊支給郵便局名ヲ記載シ
タル變更請求書ヲ作成シ新支給郵便局又ハ舊支給郵便局ニ差出スヘシ
郵便局ニ於テ支給郵便局變更ノ手續ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ受給者ニ
通知ス

第六條 代人ニ於テ本規則ニ依リ各種ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ノ
委任狀ヲ差出シ代人タルコトヲ證明シ且記名調印ヲ要スル書類ニハ代人
タルノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

前項ノ委任狀ハ本人ニ於テ當該書類ニ委任文ヲ記載シ記名調印シ之ヲ作
成スルコトヲ得

第七條 繼續支給セラレヘキ給與ニ關スル證書ヲ受領シタル者ハ支給ヲ受
ケムトスル郵便局ニ就キ其ノ交付スル用紙ニ依リ印鑑届ヲ作成シ之ヲ差
出スヘシ但シ年金タル恩給ヲ受ケル者ハ其ノ恩給請求書ニ記載シタル支
給郵便局ニ之ヲ差出スコトヲ要ス

受給者印章ヲ改メタルトキハ適宜ノ用紙ニ依リ改印届ヲ作成シ支給郵便

第二章 繼續支給

第七條 繼續支給セラレヘキ給與ニ關スル證書ヲ受領シタル者ハ支給ヲ受
ケムトスル郵便局ニ就キ其ノ交付スル用紙ニ依リ印鑑届ヲ作成シ之ヲ差
出スヘシ但シ年金タル恩給ヲ受ケル者ハ其ノ恩給請求書ニ記載シタル支
給郵便局ニ之ヲ差出スコトヲ要ス

局ニ差出スヘシ
 第八條 受給者給與金ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ年金證書、恩給證書其ノ他給與ニ關スル證書ヲ支給郵便局ニ呈示シ權利者タルコトヲ證明シタル郵便局ノ交付スル用紙ニ依リ作成シタル給與金受領證書ヲ現金ト引換ニ差出スヘシ
 前項給與金受領證書ノ用紙ハ郵便局ノ交付スル用紙ト同一様式ノモノニ限リ之ヲ私製シ使用スルコトヲ得
 第九條 受給者支給期月ヲ經過シタル後ニ於テ給與金ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ給與ニ關スル證書ノ種類及記號番號、給與金高並支給郵便局名等ヲ記載シタル支給請求書ヲ貯金局ニ差出スヘシ
 受給者前項ノ請求ニ對シ貯金局ヨリ支給ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條第一項ノ例ニ依リ現金受領ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十條 受給者ハ給與ニ關スル證書ヲ毀メ貯金局ニ寄託シ其ノ給與金ヲ支給期毎ニ自己ノ郵便貯金ヲ除クニ振替預入ノ請求ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ給與金ハ其ノ支給期毎ニ貯金局ニ於テ之ヲ受給者ノ郵便貯金ニ組入ノ手續ヲ爲ス
 第十一條 受給者振替預入ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ振替預入ヲ受ケムトスル郵便貯金通帳ノ記號番號、給與ニ關スル證書ノ種類及記號番號並請求ノ要旨ヲ記載シタル請求書ニ給與ニ關スル證書ヲ添ヘ之ヲ支給郵便局ニ差出スヘシ
 第十二條 貯金局ニ於テ前條ノ請求ニ依リ給與ニ關スル證書ノ寄託ヲ受ケタルトキハ其ノ保管證書ヲ當該受給者ニ交付ス
 第十三條 前條ニ依リ保管證書ノ交付ヲ受ケタル受給者ハ給與金ノ支給期

毎ニ郵便貯金通帳ヲ支給郵便局ニ差出シ之ニ振替預入金ノ記入ヲ受ケルコトヲ得
 第十四條 受給者第十條ニ依リ振替預入ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル届書ニ保管證書ヲ添ヘ之ヲ貯金局ニ差出スヘシ
 貯金局ニ於テ前項ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ保管スル給與ニ關スル證書ハ之ヲ受給者ニ還付ス
 第十五條 受給者保管證書ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ、之ヲ廢損シタルトキハ保管證書ヲ添ヘ貯金局ニ其ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得
 保管證書ノ再交付ヲ爲シタルトキハ從前ノ保管證書ハ其ノ效力ヲ失フ
 第三節 一時支給
 第十六條 一時限ノ給與金ヲ受ケル者ニハ貯金局ヨリ支給郵便局ヲ經由シテ支給通知書ヲ送付ス
 第十七條 受給者前條ノ支給通知書ニ依リ給與金ヲ受領セムトスルトキハ裁定官廳ノ裁定通知書ヲ支給郵便局ニ呈示シテ權利者タルコトヲ證明シタル上支給通知書ノ受領證ノ部ニ記名調印シ現金ト引換ニ之ヲ差出スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ支給郵便局ハ必要ニ依リ受給者ニ對シ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ作成シタル印證證明書ノ提出ヲ求めタルコトアルヘシ
 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊 法 令

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法

(明治廿三年十月三日 法律第九十號)

(改正 明治三二年八九號、四〇年四七號、四四年六四號、大正七年二一號、一〇年二〇號)

- 第一條 市町村立小學校ノ正教員ハ此法律ノ規定ニ從ヒ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有ス
- 第二條 在職滿十五年以上ノ者左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ終身退隱料ヲ給ス
- 一 年 齡六十歲ヲ超ヘ退職ヲ命シタルトキ
 - 二 傷 痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ
 - 三 廢職廢校ニ依リ退職シ又ハ學校編制ノ變更ニ依リ退職ヲ命シタルトキ
- 第三條 左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ前條ノ年限ニ滿タサルモ終身退隱料ヲ給シ尙其最下金額十分ノ七マテノ増加退隱料ヲ給ス
- 一 職務ニ依リ傷痍ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ
 - 二 職務ニ依リ健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ顧ミルコト能ハスシテ勤務ニ從事シ爲ニ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ

失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ

第四條 退職料ノ年額ハ退職現時ノ俸給ト在職年數トニ從ヒ別表(註)ニ依リ之ヲ定ム但在職四十年以上ノ者ニ給スヘキ退職料ハ四十年ノ額トス

前項ニ依リ退職料年額ヲ定ムルハ十五年以上官公立小學校ニ勤續シタル者ニ退職料ヲ支給スル場合ニ限ル其他ノ場合ニ於テハ官吏恩給法第五條ヲ準用ス

兼職ニ依リテ受クル加俸ハ退職料年額ヲ算定スルニ當リ之ヲ除算スヘシ

第四條ノ二 退職料ヲ受クル者公立小學校職員、公立圖書館職員、小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園ノ保母、在外指定小學校職員又ハ教育事務ニ従事スル文官ト爲リタル後滿一年以上ニシテ退職又ハ退官シタルトキハ前後ノ在職在官年數ヲ通算シ後職又ハ後官ニ對スル退職料ト前ノ退職料トヲ比較シ其額多キ方ヲ給ス

前項ノ場合ニ於テ本法ニ依ル退職料額カ府縣立師範學校長俸給並公立小學校職員退職料及遺族扶助料法明治二九年法律第十三號又ハ在外指定小學校職員退職料及遺族扶助料法ニ依ル退職料ハ本法ニ依リ之ヲ支給スルモノトス

第四條ノ三 官吏恩給法第六條、第十條、第十二條第一項及第十三條第二項ハ退職料ニ之ヲ準用ス

退職料等ノ支給上在職年數ノ算定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 退職料ヲ受クル者左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ其間退職料ノ支給ヲ停止ス但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ差額ニ限リ支給ヲ停止ス

一 退職料ノ支給ニ付在官在職年數ヲ通算シ得ル官職ニ就キ受クル給料ト退職料トヲ合シタル金額退職現時ノ給料額ヲ超過スルトキ

二 五箇年以上受領ヲ怠リタルトキ

三 公權ヲ停止セラレタルトキ

第六條 年輪未タ六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ退職料ヲ受クル資格ヲ失フモノトス

第七條 市町村立小學校ノ准教員ハ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ第三條ニ該當スル者ニ限リ退職現時ノ給料四分ノ一ノ退職料ヲ終身給與ス

第八條 在職滿一年以上ニシテ退職シタル市町村立小學校正教員ニハ退職現時ノ給料半箇月分ヲ以テ一箇年ニ當テ其年數ニ應スル金員ヲ一時給與ス但シ休職滿期ニ依リ退職シタル者ハ其本職最終ノ給料額ニ依リ之ヲ給與ス

市町村立小學校正教員ニシテ教育事務ニ従事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シタル者退官又ハ退職シタルトキハ小學校教員ノ在職年數ニ應シ前項ノ給與金ヲ給ス

第二條若クハ第三條ニ依リ退職料ヲ受クル者、他ノ法律ニ依リ退職料若クハ恩給ヲ受クル者、自己ノ便宜ニ依リ退職官シタル者又ハ免職ニ處セラレ、懲戒處分若クハ刑事裁判ニ依リ免職セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ前二項ノ限ニ在ラス

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者市町村立小學校正教員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ再任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第九條 退隱料ノ支給及第八條ノ給與ハ府縣知事之ヲ裁定ス

官吏恩給法第十六條及第十八條ハ退隱料ニ適用ス

第十條 市町村立小學校正教員左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ其遺族ハ此法律ノ規定ニ從ヒ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

一 在職十五年以上ノ者在職中死去シタルトキ

二 在職十五年未滿ノ者職務ノタメ死去シタルトキ

三 退隱料ヲ受クル者死去シタルトキ

第十一條 官吏遺族扶助法第四條乃至第十條第十二條乃至第十六條ハ此法律ニ規定スル扶助料ニ適用ス

官吏遺族扶助法第十一條ハ此法律ニ規定スル扶助料ヲ受クヘキ寡婦孤兒又ハ父母祖父母ナクシテ死去シタル者ノ戸籍内ニアル二十歳未滿又ハ廢疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリテ之ヲ給養スル者ナキ場合ニ適用ス

第十二條 在職十五年未滿ノ市町村立小學校正教員在職中職務ノ故ニアラスシテ死去シタルトキハ其ノ遺族ニ一時扶助金ヲ給ス

前項ノ扶助金ハ退職給與金ノ額ト同額トス

第十三條 扶助料及扶助金ノ支給並第十一條第二項ノ給與ハ市町村長ノ申牒ニ依リ府縣知事之ヲ裁定ス

第十四條 府縣ハ小學校教員恩給基金ヲ備フヘキモノトス

市町村ハ其市町村立小學校ニ在職スル正教員ノ給料額百分ノ一ニ當ル金員ヲ毎年其府縣ニ納ムヘキモノトス兼職ニ係ル加俸ニ對シテハ本條ノ納金ヲ要セス

本條第二項ノ納金ハ府縣小學校教員恩給基金トナスヘシ

恩給基金ハ其利子ヲ以テ退隱料扶助料扶助金第八條及第十一條第二項ノ給金ニ充ツルノ外之ヲ支辨スルコトヲ得サルモノトス

本條第二項ニ依リ各府縣ニ於テ收入シタル納金額二分ノ一ニ當ル金員ヲ收入年度ノ翌々年度毎ニ國庫ヨリ府縣ニ給與スルモノトス

退隱料扶助料扶助金第八條第十一條第二項ノ給與ハ恩給基金ノ利子及國庫ノ給與金其他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨シ不足アルトキハ府縣費ヲ以テ之ヲ補充スヘキモノトス

恩給基金ノ管理並退隱料扶助料扶助金第八條第十一條第二項ノ給與ノ支給等ニ關スル費用ハ總テ府縣ノ負擔トス

第十五條 此法律中第一條乃至第十三條ハ明治二十六年ヨリ第十四條ハ明治二十五年度ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 府縣制郡制又ハ市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テ此法律ノ條規ニ對シ特例ヲ設クルコトヲ必要トスルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(別表)略ス

附則 (明治四十年五月三日法律第四十七號附則)

本法施行前退隠料ヲ受ケタルモノニシテ本法施行後再市町村立小學校教員ト爲リ在職三年以上ニ至ラスシテ退職シタル者ニハ仍従前ノ規定ヲ適用ス

附則 (大正十年三月三十日法律第二十號附則)

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但改正別表ハ大正九年八月一日以後大正十年三月三十一日迄ニ退隠料又ハ扶助料ヲ受クヘキ事田ノ生シタル者ニ付之ヲ適用ス

本法施行ノ際現ニ市町村立小學校教員退隠料及遺族扶助料法第五條第一號ノ規定ニ依リ退隠料ノ支給ヲ停止セラレ者ニシテ退隠料ノ支給ニ付在官在職年數ヲ通算スルコトヲ得ル官職以外ノ公務ニ在ルモノ 關シテハ其在職中ニ限リ大正十一年三月三十一日迄仍従前ノ例ニ依ル

大正九年七月三十一日現在ニ於テ市町村立小學校教員退隠料及遺族扶助料法ニ依ル退隠料又ハ扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ノ退隠料又ハ扶助料ノ年額 基礎タル俸給額カ大正九年勅令第二百七十八號ニ依リ算出シ百三十圓以上ナルトキハ其年額ハ大正九年七月一日以後ノ分ヨリ本法ニ依ル

市町村立小學校教員退隠料等ノ支給上ニ關スル在職年數算定ノ件

(明治二十五年二月九日勅令第十八號)

(改正 明治三十二年一九七號)

第一條 市町村立小學校教員退隠料等ノ支給上ニ關スル正教員ノ在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終リトス

第二條 左ニ掲クル年數及月數ハ正教員在職年數ニ算入スヘシ

一 市町村立小學校正教員休職中ノ年數及月數

二 明治十四年六月以後市町村立小學校訓導ノ職ニ在リタル年數及月數

第三條 左ニ掲クル年數及月數ハ正教員在職年數ヨリ除算スヘシ

一 (削除)

二 自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者再就職シタルトキハ其前在職ノ年數及月數

三 (削除)

四 恩給若クハ退隠料ヲ受クヘキ職ニ在ル者ニシテ市町村立小學校正教員ヲ兼ヌルトキハ其兼職中ノ年數及月數

小學校令不施行地方ニ於テ市町村立小學校教員退

隠料及遺族扶助料法施行上正教員准教員ノ區別

(明治二十四年十一月十七日文部省令第二十四號)

(明治二十三年十月勅令第二百十五號) 小學校令ヲ施行セサル地方又ハ同令中教員ニ關スル條規ヲ施行セサル地方ニ於テ明治二十三年十月法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法施行上正教員准教員ノ別ハ市町村立小學校教員中訓導ヲ以テ正教員トシ授業生ヲ以テ准教員トスヘシ但本令ニ依リ難キモノアルトキハ北海道廳長官府縣知事ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケテ特別ノ處分ヲナスコトヲ得

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法

(明治二十三年十月三日法律第九十一號)

(改正 明治三十二年九〇號、四十一年五五號、四十四年六二號、大正十年一八號)

第一條 府縣立師範學校長ノ俸給ハ國庫ノ負擔トス

第二條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舍監及書記ハ此法律ノ規定ニ從ヒ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第三條 在職滿十五年以上ノ者左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ終身退隱料ヲ給ス

一 年齢六十歳ヲ超ヘ退職ヲ命シタルトキ

二 傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ

三 廢職廢校ニ依リ退職シ又ハ學校編制ノ變更ニ依リ退職ヲ命シタルトキ

第四條 左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ前條ノ年限ニ滿タサルモ終身退隱料ヲ給シ尙其最下金額十分ノ七マテノ増加退隱料ヲ給ス

一 職務ニ依リ傷疾ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ

二 職務ニ依リ健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ願ミルコト能ハスシテ勤務ニ從事シ爲ニ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ命シタルトキ

第五條 退隱料ノ年額ハ退職現時ノ俸給ト在職年數トニ依リ之ヲ定ム

勤績滿十五年以上ニシテ退職シタル者ノ退隱料年額ハ勤績滿十五年ニ對シテハ俸給年額ノ百分ノ二十五トシ次ニ滿十五年以上ノ勤績年數中十五年ヲ控除シタルモノニ對シ一年毎ニ百分ノ一ヲ加ヘ次ニ其他ノ在職年數ニ對シ一年毎ニ百五十分ノ一ヲ加ヘ滿四十年ニ至リテ止ム

前項ノ場合ヲ除クノ外在職滿十五年以上ニシテ退職シタル者ノ退隱料年額ハ在職滿十五年ニ對シテハ俸給年額ノ百分ノ二十五トシ爾後在職一年毎ニ二百四十分ノ一ヲ加ヘ滿四十年ニ至リテ止ム

前二項ノ場合ニ於テ在職四十年以上ノ者ニ給スヘキ退隱料ハ四十年ノ額トシ又前條ニ依リ給スヘキ退隱料ハ前項ニ依リ算出シタル十五年ノ額トス

官吏恩給法第五條第四項第五項第六條第十條第十一條及第十三條第二項ハ退隱料ニ之ヲ準用ス
退隱料等ノ支給上ニ關スル在職年數ノ算定ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 (削除)

第七條 退隱料ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ若クハ日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ退隱料ヲ剝奪ス

退隱料ヲ受クル者左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ其間退隱料ノ支給ヲ停止ス但第一號ノ場合ニ於テハ其差額ニ限り支給ヲ停止ス

一 退隱料ノ支給ニ付在職年數ヲ通算スルコトヲ得ル官職ニ就キ受クル給料ト退隱料トヲ合シタル金額退職現時ノ給料額ヲ超過スルトキ

二 公權ヲ停止セラレタルトキ

第八條 年齢未タ六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ退隱料ヲ受クル資格ヲ失フモノトス

第九條 府縣立師範學校及公立中學校ノ准教員ハ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ第四條ニ該當スル者ニ限り退職現時ノ俸給四分ノ一ノ退隱料ヲ終身給與ス

第十條 在職滿一年以上ニシテ退職シタル府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舍監及書記ニハ退職現時ノ俸給半箇月分ヲ以テ在職年數ノ一箇年ニ當テ其年數ニ應スル金員ヲ一

時給與ス但非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シタル者ハ本職最終ノ俸給額ニ依リ之ヲ給與ス

公立學校職員ニシテ教育事務ニ従事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シタル者退官又ハ退職シタルトキハ公立學校職員ノ在職年數ニ應シ前項ノ給與金ヲ給ス

第三條若クハ第四條ニ依リ退隱料ヲ受クル者、他ノ法律ニ依リ退隱料若クハ恩給ヲ受クル者、自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ懲戒處分ニ依リ免職免官ニ處セラレ若クハ刑事裁判ニ依リ失職失官ニ該當シタル者ハ前二項ノ限ニ在ラス

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者公立學校職員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ其再任ノ月ヨリ起算ス

本條ノ給與及之ニ關スル費用ハ轉任者退職者ノ轉任退職ノ際勤務セシ公立學校所屬府縣郡市町村ノ負擔トス

第十一條 退隱料ノ支給ハ本屬長官ノ證明ニ依リ内閣恩給局ノ審査ヲ經テ内閣總理大臣之ヲ裁定ス
官吏恩給法第十六條及第十八條ハ退隱料ニ適用ス

第十二條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舍監及書記左ノ事項ノ一ニ當ルトキハ其遺族ハ此法律ノ規定ニ從ヒ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

- 一 在職十五年以上ノ者在職中死亡シタルトキ
- 二 在職十五年未滿ノ者職務ノ爲死去シタルトキ

三 退隠料ヲ受クル者死去シタルトキ

第十三條 官吏遺族扶助法第四條乃至第十條第十二條乃至第十六條ハ此法律ニ規定スル扶助料ニ適用ス
官吏遺族扶助法第十一條ハ此法律ニ規定スル扶助料ヲ受クヘキ寡婦孤兒又ハ父母祖父母ナクシテ死去シタル者ノ戸籍内ニ在ル二十歳未満又ハ癩疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリテ之ヲ給養スル者ナキ場合ニ適用ス

第十四條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舎監及書記ニシテ在職十五年未満ノ者在職中職務ノ故ニアラスシテ死去シタルトキハ其遺族ニ一時扶助金ヲ給ス
前項ノ扶助金ニ就キテハ官吏遺族扶助法第十七條第二項ヲ適用ス

第十五條 扶助料及扶助金ノ支給並第十三條第二項ノ給與ハ本部長官ノ申牒ニ依リ内閣總理大臣之ヲ裁定ス

第十六條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舎監及書記ハ其俸給百分ノ一ヲ毎年國庫ニ納ムヘシ

府縣郡市町村ハ其府縣立師範學校及公立中學校長正教員小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保姆舎監及書記ノ俸給百分ノ一ニ當ル金員ヲ毎年國庫ニ納ムヘシ

兼職ニ係ル加俸ニ對シテハ本條ノ納金ヲ要セス

第十七條 退隠料扶助料扶助金及第十三條第二項ノ給與並其支給ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

退隠料扶助料扶助金等ノ支給ニ關スル規則ハ内閣總理大臣之ヲ定ム

第十八條、第十九條 (削除)

第二十條 此法律第一條ハ明治二十五年ヨリ第二條乃至第十九條ハ明治二十六年ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條 府縣制郡制又ハ市町村制ヲ施行スル地方ニ於テ此法律ノ條規ニ對シ特例ヲ設クルコトヲ必要トスルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (明治四十一年四月十四日法律第五十五號附則)

本法ハ明治四十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前退隠料ヲ受ケタル者ニシテ本法施行後再公立學校職員トナリ在職滿三年以上ニ至ラスシテ退職シタル者ノ退隠料額算定方ハ仍從前ノ例ニ依ル

附則 (大正十年三月三十日法律第十八號附則)

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隠料及遺族扶助料法第七條第二項第一號ノ規定ニ依リ退隠料ノ支給ヲ停止セラル、モノニシテ退隠料ノ支給ニ付在官在職年數ヲ通算スルコトヲ得ル官職以外ノ公務ニ在ル者ニ關シテハ其在職中ニ限り大正十一年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ル

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ於ケル學校職員ノ資格及在職年數算定ノ件

(明治三十二年五月十七日勅令第九十六號)

第一條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ於テ府縣立師範學校及公立中學校ノ正教員トアルハ教諭助教諭訓導トシ准教員トアルハ其他ノ教員トス

第二條 府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舎監及書記ノ在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終リトス

明治十四年六月以前ヨリ在職ノ者ハ同年同月ヨリ起算ス

府縣立師範學校長非職又ハ休職中ノ年數及月數並府縣立師範學校長補在職中ノ年數及月數ハ在職年數ニ算入スヘシ
公立中學校長並府縣立師範學校及公立中學校ノ正教員舎監書記休職中ノ年數及月數亦同シ

第三條 左ニ掲クル年數及月數ハ在職年數ヨリ除算スヘシ

一 自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者再就職シタルトキハ其ノ前在職ノ年數及月數

二 恩給若クハ退隱料ヲ受クヘキ職ニアル者ニシテ府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舎監書記ヲ兼ヌル

トキハ其前兼職中ノ年數及月數

三 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十九條ニ依ル退隱料ヲ受クル者ハ其退隱料ヲ受クヘキ事由ノ生シタル前ノ在職年數及月數

府縣郡市町村制不施行地方ニ於テ學校職員退隱料及遺族扶助料

ニ關スル法律施行ノ件 (明治二十四年十二月三十日勅令第二百四十八號)

(改正 大正一〇年一〇七號)

第一條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ北海道ニ於テハ北海道廳長官之ヲ行ヒ市町村長ノ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ島司郡區長戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フヘシ

第二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法及市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ規定スル府縣ノ負擔ハ府縣制又ハ地方稅ノ制ヲ施行セサル地方ニ於テハ地方經濟ニ屬スル費用ノ負擔トシ市町村ノ負擔ハ市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ區町村公費ノ負擔トス

第三條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十六條第二項ノ納金ハ國庫ノ支辨ニ屬スル地方費ヲ以テ維持スル公立學校ノ學校長正教員ノ俸給ニ對シテハ之ヲ納ムルコトヲ要セス

第四條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ規定スル府縣ノ負擔ハ府縣内ニ在ル島嶼ト本地ト經濟ヲ異ニス

ルトキハ府縣知事ニ於テ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣文部大臣ノ認可ヲ得テ其島嶼ノ分擔額ヲ定ムヘシ
前項ノ規定ニ依リ難キ特別ノ事情アルトキハ府縣知事ニ於テ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣文部大臣ノ認可ヲ得テ該島
嶼ノ爲ニ別ニ小學校教員恩給基金ヲ備ヘ總テ其負擔ヲ本地ト分別スルコトヲ得

公立學校職員退隱料ニ關スル法律 (明治二十九年三月二十四日)

法律第十三號

(改正 明治三十二年九一號、三十九年三〇號、四〇年一號、大正九年二號、一〇年一九號)

第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ公立實業補習學校ノ教員及小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ
有スル公立幼稚園ノ保母ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十條ヲ除キ公立ノ高等女學校大學高等學校專
門學校實業學校實業補習學校ヲ除ク及其他ノ公立學校ノ學校長教員幹事學生監舍監助手及書記並公立圖書館ノ館長
司書及書記ニ適用ス

第二條 明治二十三年法律第九十號第二條及同年法律第九十一號第三條ハ非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シ及校務ノ伸
縮ニ依リ退職ヲ命シタル場合ニモ適用ス

退隱料ハ本職最終ノ俸給ニ依リ之ヲ算定ス

第三條 明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此ノ法律ニ依リ退隱料ヲ受クヘキ學校長圖書館長正教員司
書保母幹事學生監舍監助手及書記ノ在職年月數ハ各公立學校及圖書館ノ間ニ於テハ之ヲ通算ス

第四條 府縣立師範學校長タリシ者他ノ文官ト爲リ若ハ他ノ文官タリシ者府縣立師範學校長ト爲リタルトキハ其在官
年月數ハ明治二十三年法律第九十一號及官吏恩給法ニ於テハ各其ノ規定スル所ニ依リ其ノ在官年數若ハ在職年數中
ニ通算スヘキモノトス

第四條ノ二 學校長圖書館長正教員司書保母幹事學生監舍監助手又ハ書記タリシ者教官其ノ他教育事務ニ従事スル文
官トナリタルトキ又ハ教官其ノ他教育事務ニ従事スル文官タリシ者學校長圖書館長正教員司書保母幹事學生監舍監
助手又ハ書記ト爲リタルトキハ各其ノ在官在職年數ヲ通算シ明治二十三年法律第九十號及同年法律第九十一號ノ退
隱料扶助料扶助金ヲ受クルコトヲ得

學校長圖書館長正教員司書保母幹事學生監舍監助手又ハ書記ニシテ文官トナリタルモノ教官其ノ他教育事務ニ従事
スル文官以外ノ文官トシテ在官中死亡シ又ハ退官シタルトキハ教官其ノ他教育事務ニ従事スル文官トシテノ在職最
終ノ俸給額ニ基キ明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此法律ニ依リ退隱料扶助料扶助金ヲ給ス但シ官
吏恩給法第十三條第一項ニ規定スル事由ニ依リ退官シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ學校長圖書館長正教員司書保母幹事學生監舍監助手又ハ書記ニシテ他ノ待遇文官ト爲リタル者ニ付之
ヲ準用ス

通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條ノ三 同一人ニシテ同一事由ノ爲ニ公立學校職員退隱料及官吏恩給又ハ軍人恩給若ハ同一ノ事由ノ爲ニ公立學

校職員遺族扶助料及官吏遺族扶助金又ハ軍人恩給法ニ依レル扶助料ヲ併セ受クヘキ者アルトキハ本人ノ所擇ニ任セ其ノ一ヲ給ス

附則

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

附則 (明治四十年二月二十日法律第一號附則)

本法ハ明治四十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

公立圖書館職員ノ在職年數ハ退隱料、退職給與金、扶助料及扶助金ノ支給ニ關シテハ明治三十二年十一月以後就職ノ月ヨリ之ヲ起算ス

附則 (大正九年七月二十七日法律第二號附則)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ公立大學ノ幹事又ハ學生監ニシテ本法施行前退職又ハ死去シタル者、教育事務ニ従事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シ退官、退職又ハ死去シタル者及其ノ遺族ニ付本法施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス

附則 (大正十年三月三十日法律第十九號附則)

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年法律第十三號ノ施行ニ關スル件 (明治三十二年五月十七日勅令第二百一號)

(改正 明治三十二年四二三號、四一年一三號、四三年四五七號)
(大正六年一一號、一〇年六三號、一一年二六號)

第一條 明治二十九年法律第十三號ニ於ケル正教員准教員ノ別左ノ如シ

一 公立實業補習學校ニ於テハ教諭助教諭又教諭助教諭ノ資格アル學校長ヲ以テ正教員トシ其ノ他ノ教員ヲ以テ准教員トス

二 公立ノ高等女學校專門學校實業學校(實業補習學校ヲ除ク)

其ノ他ノ公立學校ニ於テハ教授助教諭助教諭指導ヲ以テ正教員トシ其ノ他ノ教員ヲ以テ准教員トス

第二條 明治二十九年法律第十三號ニ於テ通算スルコトヲ得ヘキ文官ノ種類左ノ和シ

一 官立ノ學校又圖書館職員

二 文部省官吏

三 教育事務従事ノ北海道廳府縣郡區島廳、朝鮮總督府朝鮮總督府道府郡、臺灣總督府、臺灣總督府州廳郡市、關東廳、樺太廳、南洋廳ノ官吏

四 臺灣公立學校ノ職員ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受クル者

教育事務従事ノ總督府又ハ關東都督府ノ官吏ハ前項ノ規定ノ適用ニツイテハ各之ヲ朝鮮總督府又ハ關東廳ノ官吏ト見做ス

第三條 前條ニ掲クル文官ノ在官年數ヲ公立學校職員ノ在職年數ト通算スル場合ニ於テ算入又ハ除算スヘキ年月數ハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ノ例ニ依ル

第四條 明治二十四年勅令第二百四十八號明治二十五年勅令第五號同年勅令第十八號同年勅令第三十二號及明治三十二年勅令第九十六號ハ明治二十九年法律第十三號ノ施行ニ關シ特ニ規定スルモノヲ除クノ外之ヲ準用ス

附則

第五條 明治二十九年勅令第九號ハ廢止ス

附則 (大正十年三月三十一日勅令第六十三號附則)

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ臺灣總督府州郡市ノ官吏ニ關スル改正規定ハ大正九年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

府縣立師範學校及公立中學校並市町村立小學校職員ノ退隱料

遺族扶助料ニ關スル行政訴訟ノ件 (明治二十五年四月四日勅令第三十二號)

(改正 明治三十二年一九八號、大正十年一〇八號)

府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舍監書記並市町村立小學校正教員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關シ行政上ノ處分ニ依リ權利ヲ障害セラレタリトスル者ハ一箇年以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ左ノ事件ニ關シテハ内閣總理大臣若シハ府縣知事ノ裁定ハ終身確定ノモノトス

- 一 傷痍疾病ノ原因及輕重
- 二 職務ニ堪ユルト否ラサルト

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任

以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律 (明治四十五年三月三日法律第十一號)

(改正 大正一〇年二二號)

第一條 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者及其ノ遺族ハ本法ニ依リ退隱料及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ハ第一條、第二條、第九條、第二十條及第二十一條ヲ除クノ外前條ノ學校職員及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス但シ同法中内閣總理大臣ノ職務ハ朝鮮總督、本屬長官ノ職務ハ道知事之ヲ行ヒ同法第十條及第十六條中府縣郡市町村トフルハ俸給ヲ支辨スル團體ニ該當ス

第三條 明治二十九年法律第十三號第二條及第四條ノ三ノ規定ハ之ヲ第一條ノ學校職員ニ準用ス

第四條 第一條ノ學校職員ノ在官年月數ト文官判任以上ノ教官、教育事務ニ従事スル文官、文官判任以上ノ待遇ヲ受クル學校及圖書館ノ職員並小學校本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園長及保姆ノ在官又ハ在職ノ年月數トハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、明治三十三年法律第七十七號、明治四十一年法律第三十五號及本法ニ依ル退隱料、扶助料及扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

前項ノ規定ニ依リ通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 明治四十年法律第四十八號ハ之ヲ第一條ノ學校職員ニ準用ス

前條ノ規定ニ依リ文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ従事スル文官ノ在官年月數ヲ第一條ノ學校職員ノ在職年月數ニ通算スル場合ニ於テハ其ノ朝鮮ニ在勤シタル年月數ハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ朝鮮ニ於ケル在勤年月數ト看做ス

附則

本法ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ國庫納金ニ關スル規定ヲ除クノ外本法施行前退官シタル者又ハ本法施行前死亡シタル者ノ遺族ニモ之ヲ適用ス

朝鮮ニ於ケル在外指定學校職員ノ明治四十年四月二十三日以後ノ在職ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ在官ト看做ス

明治四十五年法律第十一號施行ニ關スル件

(明治四十五年三月三十日勅令第七十號)

第一條 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ在官年數ハ任官ノ月ヨリ起算シ退官ノ月ヲ以テ終トス

第二條 前條ノ學校、職員ノ休職中ノ年月數ハ之ヲ任官年數ニ算入ス

第三條 左ニ掲クル年月數ハ之ヲ在官年月數ヨリ除算ス

一 自己ノ便宜ニ依リ退官シタル者又ハ懲戒處分若クハ刑法ノ宣告ニ依リ其ノ官ヲ失ヒタル者ノ退官又ハ失官前ノ在官年月數

二 恩給又ハ退隱料ヲ受クヘキ官職ニ在ル者ニシテ第一條ノ學校職員ヲ兼ヌルトキハ其ノ兼官ノ年月數

第四條 第一條ノ學校職員ノ在官年月數ト通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及其ノ通算ニ關シテハ明治三十二年勅令第二百一號第二條及第三條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣ニ在勤スル地方税支辨ノ俸給ヲ受クル文官判任以上ノ學校

職員退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律 (明治三十三年三月三十一日)

(法律第七十七號)

(改正 大正一〇年二一號)

第一條 臺灣ニ在勤スル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者及其ノ遺族ハ本法ニ依リ退隱料及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 明治二十三年法律第九十一號及之ニ基キテ發シタル勅令ハ前條ノ學校職員及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス但シ同法中内閣總理大臣ノ職務ハ臺灣總督本屬長官ノ職務ハ州知事又ハ廳長之ヲ行ヒ同法第十條及第十六條中府縣郡市町村ノ負擔トナルヘキ經費ハ當該學校職員ノ俸給ヲ支辨スル團體ノ負擔トス

第三條 第一條ノ學校職員ノ臺灣ニ於ケル在職年數ハ臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受クル者ニ準シテ之ヲ計算ス

第一條ノ學校職員臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リタル場合ニ關シテハ臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受クル者ニ準シテ退隱料ヲ給ス

第一條ノ學校職員前項ニ該當シ之カ爲死亡シタル者ノ遺族ハ臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受クル者ノ遺族ニ準シ扶助料ヲ給ス

第四條 明治二十九年法律第十三號及之ニ基キテ發生シタル勅令ハ學校職員ニ關シテ之ヲ準用ス

文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ従事スル文官ノ在官年月數ヲ第一條ノ學校職員ノ在職年月數ニ通算スル場合ニ於テハ其ノ臺灣ニ在勤シタル年月數ハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ臺灣ニ在勤シタル年月數ト看做ス

第五條 臺灣人ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ受ケサル文官判任以上ノ學校職員及其ノ遺族ハ第二條及第四條ノ規定ニ依リ退隱料及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (大正十年三月三十日法律第二十一號附則)

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

公立學校職員退隱料等ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施行

(明治三十三年十一月二十八日)

(勅令第四百四號)

明治二十九年法律第十三號ヲ臺灣ニ施行ス

樺太廳立小學校教員、樺太公立小學校教員退隱料及遺族

扶助料ニ關スル法律 (明治四十一年三月三十一日)

(法律第三十號)

(改正 大正一〇年二三號)

第一條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第一條乃至第十三條及明治二十九年法律第十三號第二條ノ規定ハ

樺太廳立小學校教員樺太公立小學校教員及其遺族ニ關シ之ヲ準用ス但シ府縣知事ノ職務ハ樺太廳長官之ヲ行フ

第二條 本法ニ依ル給與ハ國庫ノ支辨トス

第三條 樺太廳立小學校正教員及樺太公立小學校正教員ハ其ノ給料額ノ百分ノ一ヲ國庫ニ納ムヘシ

第四條 市町村立小學校正教員、樺太廳立小學校正教員及樺太公立小學校正教員ノ在職年月數ハ本法及市町村立小學

校教員退隱料及遺族扶助料法ニ於テ相互之ヲ通算ス

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、明治三十三年法律第七

十七號及在外指定學校、職員退隱料及遺族扶助料法ニ依ル在職在官年月數ニ付テモ亦前項ニ同シ

前項ニ掲ケタル法律ニ依ル小學校正教員、樺太廳立小學校正教員及樺太公立小學校正教員相互間ニ於ケル轉勤ハ之

ヲ勤績ト看做ス

第五條 明治三十三年法律第七十五號第一條ノ規定ハ樺太廳立小學校正教員及樺太公立小學校正教員ノ退隱料及遺族

扶助料ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (大正十年三月三十日法律第二十三號附則)

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ大正九年八月二十八日以後大正十年三月三十一日迄ニ轉職、退職又ハ死亡シタル樺太公立小學校教員及其ノ遺族ニ付亦之ヲ適用ス

本法施行ノ際現ニ樺太廳立小學校又ハ樺太公立小學校ノ教員ノ職ニ在ル者ノ大正九年勅令第三百四十三號ニ依リ樺太公立小學校ニ指定セラレタル小學校ニ小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有シテ在職シタル期間ハ其ノ二分ノ一ヲ樺太公立小學校ノ在職期間ト看做ス但シ學校職員ノ退隱料ヲ受クル者ノ當該在職期間ハ此ノ限ニ在ラス

樺太廳立及樺太公立小學校教員退隱料及遺族扶助料支給

ニ關スル件 (明治四十一年四月一日)

(勅令第七十一號)

(改正 大正一〇年二七一號)

第一條 明治二十五年勅令第十八號ハ樺太廳立小學校正教員及樺太公立小學校正教員ニ關シ之ヲ準用ス

第二條 左ニ掲クル年月數ハ樺太廳立小學校正教員ノ在職年數ニ算入スヘシ

一 小學校令ノ規定ニ依リ普通免許狀又ハ小學校正教員府縣免許狀ヲ有スル者ニシテ明治四十一年法律第三十五號施行前樺太廳小學校教員ノ職ニ在リタルトキハ其ノ在職ノ年月數

二 前號ニ掲クル免許狀ヲ有スル者ニシテ明治四十一年法律第三十五號施行前樺太民政署ニ於テ教育ノ事務ニ從事シタルトキハ其ノ在職ノ年月數

第三條 市町村立小學校教員恩給審査規定ハ樺太廳立小學校教員及樺太公立小學校教員ノ退隱料及遺族扶助料ノ審査ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法 (明治三十八年三月十三日)

(改正 明治四〇年二號、四一年五六號、四四年六三號)

第一條 本法ニ於テ在外指定ト稱スルハ在外國本邦人ノ爲ニ設置シタル學校ニシテ外務大臣及文部大臣ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ハ第一條、第八條、第十條第二項、第四項、第

十六條、第十七條第一項、第二十條、第二十一條ヲ除クノ外在外指定學校ノ職員及其ノ遺族ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ領事官之ヲ行フ

第三條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、

明治二十九年法律第十三號、明治三十三年法律第七十七號又ハ本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者在外指定學校ノ職員トナリ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ俸給ヲ受クルトキハ其ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

第四條 在外指定學校ノ職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退隱料ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一 年齡六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ依リ退職シタルトキ

二 服務上ノ義務ニ違背シ若ハ服務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリタル爲其ノ職ヲ解カレタルトキ

三 教員免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

五 信用若ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルトキ

六 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第五條 本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者及前條各號ノ一ニ該當スル者ニハ退職給與金ヲ給セス

第六條 明治二十九年法律第十三號ハ第一條、第三條、第四條及第五條ヲ除クノ外在外指定學校ノ職員ニ關シ之ヲ準

用ス

在外指定學校ノ職員ノ在職年月數ト公立學校ノ學校長、正教員、舎監、書記、公立圖書館ノ館長、司書、書記、及小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル師範學校附屬幼稚園又ハ公立幼稚園ノ保母ノ在職年月數トハ退隱料、扶助料、扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

第七條 本法ニ依リ支給スヘキ退隱料、退職給與金、扶助料又扶助金並其ノ支給ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第八條 特別ノ地域ニ在リテハ勅令ヲ以テ本法中主務大臣及領事館ノ管掌ニ屬スル事項ヲ行フヘキ者ヲ定ムルコトヲ得

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依ル學校職員ノ資格

及在職年數算定方等ニ關スル件 (明治三十八年十一月七日勅令第二百二十九號)

(改正 大正一〇年六四號)

第一條 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ於テ職員ト稱スルハ學校長、教員、舎監及書記トス

在外指定學校中小學校ノ學科ヲ授クル學校又ハ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ訓導ヲ正教員、准訓導ヲ准教員トシ共

ノ他ノ學校ニ在リテハ教諭、助教諭ヲ正教員、其ノ他ノ教員ヲ准教員トス

第二條 在外指定學校職員ノ在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終トス

第三條 左ニ掲クル年數及月數ハ在職年數ヨリ除算スヘシ

一 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法第四條各號ノ一ニ該當シタル者再就職シタルトキハ其ノ前在職ノ年數及月數

二 恩給又ハ退隱料ヲ受クヘキ職ニ在ル者ニシテ在外指定學校職員ヲ兼ヌルトキハ其ノ兼職中ノ年數及月數

第四條 在外指定學校ノ廢止又ハ指定取消ノ際其ノ學校ノ職員タル者即日他ノ在外指定學校又ハ公立學校ノ職員ニ採用セラレタルトキハ勤績者ト看做ス

第五條 明治二十五年勅令第三十二號ハ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

俸給表 (大文字ハ舊俸給令ニ依額ヲ示ス)

△高等文官 (勅任)

(年俸、年功加俸 六〇〇圓以内) 七〇〇圓以内)

官名	俸給
大臣	一級 八、八〇〇圓
次長	一級 六、五〇〇圓
參事	一級 五、四〇〇圓
局長	一級 五、二〇〇圓
勅任督學官	一級 五、二〇〇圓
帝國大學總長	一級 七、〇〇〇圓
官立大學總長	一級 六、〇〇〇圓
國民精神文化研究所員 (所長)	一級 五、三〇〇圓
勅任技師	一級 六、〇〇〇圓
臺灣總督府諸學校長	一級 五、二〇〇圓
文部省直轄諸學校長	一級 五、二〇〇圓
國民精神文化研究所員 (勅任)	一級 五、二〇〇圓
朝鮮總督府專門學校長	一級 五、二〇〇圓

官名	俸給
秘書官	一級 六、〇〇〇圓
文書官	一級 五、五〇〇圓
文書官	一級 五、〇〇〇圓
文書官	一級 四、五〇〇圓
文書官	一級 四、〇〇〇圓
文書官	一級 三、五〇〇圓
文書官	一級 三、〇〇〇圓
文書官	一級 二、五〇〇圓
文書官	一級 二、〇〇〇圓
文書官	一級 一、五〇〇圓
文書官	一級 一、〇〇〇圓
文書官	一級 〇、五〇〇圓
文書官	一級 〇、〇〇〇圓

△高等文官 (奏任)

(年俸、年功加俸 六〇〇圓以内) 七〇〇圓以内)

官名	俸給
秘書官	一級 六、〇〇〇圓
文書官	一級 五、五〇〇圓
文書官	一級 五、〇〇〇圓
文書官	一級 四、五〇〇圓
文書官	一級 四、〇〇〇圓
文書官	一級 三、五〇〇圓
文書官	一級 三、〇〇〇圓
文書官	一級 二、五〇〇圓
文書官	一級 二、〇〇〇圓
文書官	一級 一、五〇〇圓
文書官	一級 一、〇〇〇圓
文書官	一級 〇、五〇〇圓
文書官	一級 〇、〇〇〇圓

△判任文官(月俸)

月	級	俸
一六〇	一級	一六〇
一五〇	二級	一五〇
一三五	三級	一三五
一二五	四級	一二五
一〇〇	五級	一〇〇
八五	六級	八五
七五	七級	七五
六五	八級	六五
五五	九級	五五
五〇	十級	五〇
四五	十一級	四五
四〇	十二級	四〇

(特別俸 一八〇圓以内)

△公立大學職員

(一) 高等官待遇

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級
大學總長	一級	七,〇〇〇	六,〇〇〇	五,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇
大學長	二級	六,〇〇〇	五,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院局長	三級	五,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	四級	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
助教授	五級	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
幹事	六級	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
學生主任	七級	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(年俸、年功加俸 六〇〇圓以内)

(二) 判任官待遇(月俸)

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
助教授	一級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	二級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	三級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	四級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	五級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	六級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	七級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	八級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	九級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十一級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十二級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十三級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十四級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇

(特別俸 一八〇圓以内)

△公立學校職員

(一) 高等官待遇

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
大學校長	一級	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
大學長	二級	三,〇〇〇	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	三級	二,〇〇〇	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
助教授	四級	一,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
幹事	五級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
學生主任	六級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	七級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	八級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	九級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十一級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
附屬醫院藥局長	十二級	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(年俸加俸 六〇〇圓以内)

イ、專門學校、實業專門學校、大學豫科、高等學校ノ職員

ロ、高等科ヲ置ク高等女學校ノ職員

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
校長	一級	三,九〇〇	三,八〇〇	三,七〇〇	三,六〇〇	三,五〇〇	三,四〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇	二,七〇〇
教授	二級	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇	二,七〇〇	二,六〇〇	二,五〇〇	二,四〇〇	二,三〇〇	二,二〇〇	二,一〇〇	二,〇〇〇	一,九〇〇	一,八〇〇
教諭	三級	二,〇〇〇	一,九〇〇	一,八〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇

ハ、高等學校尋常科、同豫科、師範學校、中學校、高等女學校(高等科ヲ置カサルモノ)
 實業學校(實業專門學)、青年學校、盲學校、聾啞學校、青年學校教員養成所ノ職員

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
校長	一級	三,八〇〇	三,七〇〇	三,六〇〇	三,五〇〇	三,四〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇	二,七〇〇	二,六〇〇
教授	二級	二,八〇〇	二,七〇〇	二,六〇〇	二,五〇〇	二,四〇〇	二,三〇〇	二,二〇〇	二,一〇〇	二,〇〇〇	一,九〇〇	一,八〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇
教諭	三級	一,八〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇

(一) 判任官待遇

(月俸、加俸 四〇〇圓以内) 四五〇圓以内

職名	級俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
高等專門學校 助教授	一級	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇	二,七〇〇	二,六〇〇	二,五〇〇	二,四〇〇	二,三〇〇	二,二〇〇	二,一〇〇	二,〇〇〇	一,九〇〇	一,八〇〇
高等專門學校 主事補	二級	二,〇〇〇	一,九〇〇	一,八〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇
高等專門學校 生	三級	一,〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇
高等專門學校 事務補	四級	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇
高等專門學校 校長	五級	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
高等專門學校 教諭	六級	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
高等專門學校 教授	七級	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
高等專門學校 教員	八級	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
高等專門學校 書記	九級	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

待遇別	級俸	俸	俸	俸
一級	3,800	3,700	3,600	3,500
二級	3,600	3,500	3,400	3,300
三級	3,400	3,300	3,200	3,100
四級	3,200	3,100	3,000	2,900
五級	3,000	2,900	2,800	2,700
六級	2,800	2,700	2,600	2,500
七級	2,600	2,500	2,400	2,300
八級	2,400	2,300	2,200	2,100
九級	2,200	2,100	2,000	1,900
十級	2,000	1,900	1,800	1,700
十一級	1,800	1,700	1,600	1,500
十二級	1,600	1,500	1,400	1,300
十三級	1,400	1,300	1,200	1,100

△公立圖書館職員

書記	保姆	舎監	助教諭	訓練
1,300	1,250		1,200	1,150
1,100	1,050		1,000	950
1,000	950		900	850
900	850		800	750
800	750		700	650
700	650		600	550
600	550		500	450
500	450		400	350
400	350		300	250
300	250		200	150

年功加俸
 奏任官待遇ヲ受クル者ハ
 判任官待遇ヲ受クル者ハ
 六〇〇〇圓以内
 七〇〇〇圓以内
 四〇〇〇圓以内

△市町村立小學校職員

特別俸 二一五圓以内
二四〇圓以内

職名	級俸	
	本 科	正 科
准 教 員	一八〇	二一〇
正 教 員	二一〇	二二五
專 科	二一〇	二二五
本 科	二一〇	二二五
一級	二一〇	二二五
二級	二一〇	二二五
三級	二一〇	二二五
四級	二一〇	二二五
五級	二一〇	二二五
六級	二一〇	二二五
七級	二一〇	二二五
八級	二一〇	二二五
九級	二一〇	二二五
十級	二一〇	二二五
十一級	二一〇	二二五
十二級	二一〇	二二五
十三級	二一〇	二二五
十四級	二一〇	二二五

俸給(月俸)月累計表

年	一ヶ月分	二ヶ月分	三ヶ月分	四ヶ月分	五ヶ月分	六ヶ月分	七ヶ月分	八ヶ月分	九ヶ月分	一〇ヶ月分	一ヶ月分	年 額
八〇	八〇	一六〇	二四〇	三二〇	四〇〇	四八〇	五六〇	六四〇	七二〇	八〇〇	八〇	九六〇
九〇	九〇	一八〇	二七〇	三六〇	四五〇	五四〇	六三〇	七二〇	八一〇	九〇〇	九〇	一〇八〇
一〇〇	一〇〇	二〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	六〇〇	七〇〇	八〇〇	九〇〇	一〇〇〇	一〇〇	一二〇〇
一一〇	一一〇	二二〇	三三〇	四四〇	五五〇	六六〇	七七〇	八八〇	九九〇	一〇〇〇	一一〇	一三二〇
一二〇	一二〇	二四〇	三六〇	四八〇	六〇〇	七二〇	八四〇	九六〇	一〇八〇	一二〇〇	一二〇	一四四〇
一三〇	一三〇	二六〇	三八〇	五〇〇	六二〇	七四〇	八六〇	九八〇	一一〇〇	一二〇〇	一三〇	一五六〇
一四〇	一四〇	二八〇	四〇〇	五二〇	六四〇	七六〇	八八〇	一〇〇〇	一一二〇	一二四〇	一四〇	一七八〇
一五〇	一五〇	三〇〇	四二〇	五四〇	六六〇	七八〇	九〇〇	一〇二〇	一一四〇	一二六〇	一五〇	一八〇〇
一六〇	一六〇	三二〇	四四〇	五六〇	六八〇	八〇〇	九二〇	一〇四〇	一一六〇	一二八〇	一六〇	一九二〇
一七〇	一七〇	三四〇	四六〇	五八〇	七〇〇	八二〇	九四〇	一〇六〇	一一八〇	一二〇〇	一七〇	二〇四〇
一八〇	一八〇	三六〇	四八〇	六〇〇	七二〇	八四〇	九六〇	一〇八〇	一二〇〇	一三二〇	一八〇	二一六〇
一九〇	一九〇	三八〇	五〇〇	六二〇	七四〇	八六〇	九八〇	一一〇〇	一二二〇	一三四〇	一九〇	二二八〇
二〇〇	二〇〇	四〇〇	五二〇	六四〇	七六〇	八八〇	一〇〇〇	一一二〇	一二四〇	一三六〇	二〇〇	二四〇〇

俸給表

俸給(年俸)月累計表

年	月	年	月
1,000,000	八三,三三三	1,100,000	九一,六六六
1,200,000	一八三,三三三	1,300,000	一〇八,三三三
1,400,000	二八三,三三三	1,500,000	一三三,三三三
1,600,000	三三三,三三三	1,600,000	一三三,三三三
1,800,000	四三三,三三三	1,800,000	一五〇,〇〇〇
2,000,000	五三三,三三三	2,000,000	一六六,六六六
二ヶ月分	一六六,六六六	二ヶ月分	一六六,六六六
三ヶ月分	二四九,九九九	三ヶ月分	二四九,九九九
四ヶ月分	三三三,三三三	四ヶ月分	三三三,三三三
五ヶ月分	四一六,六六六	五ヶ月分	四一六,六六六
六ヶ月分	四九九,九九九	六ヶ月分	四九九,九九九
七ヶ月分	五八三,三三三	七ヶ月分	五八三,三三三
八ヶ月分	六六六,六六六	八ヶ月分	六六六,六六六
九ヶ月分	七四九,九九九	九ヶ月分	七四九,九九九
一〇ヶ月分	八三三,三三三	一〇ヶ月分	八三三,三三三
一一ヶ月分	九一六,六六六	一一ヶ月分	九一六,六六六

俸給(年俸)月累計表

年	月	年	月
2,200,000	一八三,三三三	2,200,000	二〇〇,〇〇〇
2,400,000	二〇〇,〇〇〇	2,400,000	二〇〇,〇〇〇
2,500,000	二〇八,三三三	2,500,000	二〇八,三三三
2,600,000	二一六,六六六	2,600,000	二一六,六六六
2,700,000	二二五,〇〇〇	2,700,000	二二五,〇〇〇
2,800,000	二三三,三三三	2,800,000	二三三,三三三
2,900,000	二三八,三三三	2,900,000	二三八,三三三
3,000,000	二八三,三三三	3,000,000	二八三,三三三
二ヶ月分	三六六,六六六	二ヶ月分	三六六,六六六
三ヶ月分	四九九,九九九	三ヶ月分	四九九,九九九
四ヶ月分	五八三,三三三	四ヶ月分	五八三,三三三
五ヶ月分	六六六,六六六	五ヶ月分	六六六,六六六
六ヶ月分	七四九,九九九	六ヶ月分	七四九,九九九
七ヶ月分	八三三,三三三	七ヶ月分	八三三,三三三
八ヶ月分	九一六,六六六	八ヶ月分	九一六,六六六
九ヶ月分	九九九,九九九	九ヶ月分	九九九,九九九
一〇ヶ月分	一,〇八三,三三三	一〇ヶ月分	一,〇八三,三三三
一一ヶ月分	一,一六六,六六六	一一ヶ月分	一,一六六,六六六

俸給表

俸給(年俸)月累計表

年 額	月 額	二ヶ月分	三ヶ月分	四ヶ月分	五ヶ月分	六ヶ月分	七ヶ月分	八ヶ月分	九ヶ月分	一〇ヶ月分	一一ヶ月分
三,三〇〇,〇〇〇	三二六,六六六	六五三,三三三	九七九,九九八	一,三〇六,六六六	一,六三三,三三三	一,九六〇,〇〇〇	二,二八六,六六六	二,六一三,三三三	二,九四〇,〇〇〇	三,二六六,六六六	三,五九三,三三三
四,三〇〇,〇〇〇	三四一,六六六	六八三,三三三	一,〇二〇,〇〇〇	一,三五六,六六六	一,六九〇,〇〇〇	二,〇二三,三三三	二,三五六,六六六	二,六九〇,〇〇〇	三,〇二三,三三三	三,三五六,六六六	三,六九〇,〇〇〇
四,五〇〇,〇〇〇	三七五,〇〇〇	七五〇,〇〇〇	一,一二五,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,八七五,〇〇〇	二,二五〇,〇〇〇	二,六二五,〇〇〇	二,九九〇,〇〇〇	三,三六五,〇〇〇	三,七四〇,〇〇〇	四,一一五,〇〇〇
四,八〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	一,二〇〇,〇〇〇	一,六〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	二,八〇〇,〇〇〇	三,二〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	四,四〇〇,〇〇〇
五,二〇〇,〇〇〇	四三三,三三三	八六六,六六六	一,二九九,九九九	一,七三三,三三三	二,一六六,六六六	二,五九九,九九九	三,〇三三,三三三	三,四六六,六六六	三,九〇〇,〇〇〇	四,三三三,三三三	四,七六六,六六六
五,五〇〇,〇〇〇	四三八,三三三	九六六,六六六	一,三三四,九九九	一,七六六,六六六	二,一九九,九九九	二,六三三,三三三	三,〇六六,六六六	三,五〇〇,〇〇〇	三,九三三,三三三	四,三六六,六六六	四,八〇〇,〇〇〇
五,七〇〇,〇〇〇	四七五,〇〇〇	九五〇,〇〇〇	一,三七五,〇〇〇	一,七九九,九九九	二,二三三,三三三	二,六六六,六六六	三,一〇〇,〇〇〇	三,五三三,三三三	三,九六六,六六六	四,四〇〇,〇〇〇	四,八三三,三三三
六,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇	二,六〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,四〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	四,二〇〇,〇〇〇	四,六〇〇,〇〇〇

昭和七年法律第一三號及
同法施行令(勅令第二〇四號)ニ依ル補間計算

内閣恩給局通牒ニ依ル

目次

昭和七年法律第一三號及同法施行令(勅令第二〇四號)ニ依ル補間計算ノ方法
昭和七年法律第一三號及同法施行令(勅令第二〇四號)ニ依ル補間計算還元表
第一 各大學職務俸ノ補間計算還元表

- 一 (新)一八〇〇〇乃至六〇〇〇(旧)ノ補間計算ニ依ル職務俸新舊對照表
- 二 (新)九〇〇乃至三〇〇〇(旧)ノ補間計算ニ依ル職務俸新舊對照表
- 三 (新)一五〇〇(旧)以內ニ對スル職務俸新舊對照表
- 四 (新)一八〇〇(旧)
- 五 (新)二四〇〇(旧)
- 六 (新)二五〇〇(旧)
- 七 (新)二五〇〇(旧)
- 八 (新)五三〇〇(旧)

補間計算

五〇五

一四 一三 一一 一〇 八 六 五 三 三 三 一頁

教育職員新給法解説

第二 公立學校職員年功加俸及師範學校長勤績加俸ノ補間計算還元表

一 學校長、所長、教員、助教、倉庫

(1)	(2)	(3)	(4)
<p>(A) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸</p> <p>(B) 一〇年以上一五年ノ者ノ加俸</p> <p>(C) 一五年以上ノ者ノ加俸</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸</p> <p>(B) 一〇年以上一五年ノ者ノ加俸</p> <p>(C) 一五年以上ノ者ノ加俸</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸</p> <p>(B) 一〇年以上一五年ノ者ノ加俸</p> <p>(C) 一五年以上ノ者ノ加俸</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸</p> <p>(B) 一〇年以上一五年ノ者ノ加俸</p> <p>(C) 一五年以上ノ者ノ加俸</p>
一五	一五	一五	一五
一六	一六	一六	一六
一七	一七	一七	一七
一八	一八	一八	一八
一九	一九	一九	一九
二〇	二〇	二〇	二〇

第三 公立學校職員年功加俸及師範學校長勤績加俸一五%又ハ三〇%増ノ上位加俸延長

率ニ依ル補間計算還元表

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
<p>(A) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(六〇圓乃至七二圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (六九圓乃至八二八圓)及三〇%増(七八圓乃至九三六圓)ノ(新八四圓乃至一〇八圓)ノ延長率ニ依ル還元</p> <p>(C) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績一年以上一五年未満ノ者ノ加俸(八四圓乃至一〇八圓)ノ一五%増</p> <p>(D) (九六圓乃至一二四圓)及三〇%増(一〇九二圓乃至一四〇四圓)ノ(新一二〇圓乃至一六八圓)ノ延長率ニ依ル還元</p> <p>(E) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(九六圓乃至一二二圓)ノ一五%増</p> <p>(F) (一〇四圓乃至一三八圓)及三〇%増(一二四八圓乃至一五六圓)ノ(新一四四圓乃至一八〇圓)ノ延長率ニ依ル還元</p> <p>(G) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸(一四四圓乃至一六八圓)ノ一五%増</p> <p>(H) (一六五六圓乃至一九三二圓)及三〇%増(一八七二圓乃至二二四〇圓)ノ(新一九二圓乃至二七六圓)ノ延長率ニ依ル還元</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(三六圓乃至六〇圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (四一圓乃至六九圓)及三〇%増(四九八圓乃至七八圓)ノ(新七二圓乃至八四圓)ノ延長率ニ依ル還元</p> <p>(C) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸(七二圓乃至八四圓)ノ一五%増</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(九六圓乃至一二二圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (一〇四圓乃至一三八圓)及三〇%増(一二四八圓乃至一五六圓)ノ(新一四四圓乃至一八〇圓)ノ延長率ニ依ル還元</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸(一四四圓乃至一六八圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (一六五六圓乃至一九三二圓)及三〇%増(一八七二圓乃至二二四〇圓)ノ(新一九二圓乃至二七六圓)ノ延長率ニ依ル還元</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(三六圓乃至六〇圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (四一圓乃至六九圓)及三〇%増(四九八圓乃至七八圓)ノ(新七二圓乃至八四圓)ノ延長率ニ依ル還元</p> <p>(C) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸(七二圓乃至八四圓)ノ一五%増</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸(九六圓乃至一二二圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (一〇四圓乃至一三八圓)及三〇%増(一二四八圓乃至一五六圓)ノ(新一四四圓乃至一八〇圓)ノ延長率ニ依ル還元</p>	<p>(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤績一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸(一四四圓乃至一六八圓)ノ一五%増</p> <p>(B) (一六五六圓乃至一九三二圓)及三〇%増(一八七二圓乃至二二四〇圓)ノ(新一九二圓乃至二七六圓)ノ延長率ニ依ル還元</p>
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二
二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六

補間計算

- 増(八二八〇圓乃至九六六〇圓)及三〇%増(九三六〇圓乃至一〇九二〇圓) (新・九六六〇圓乃至一四四〇圓)ノ延長率ニ依ル還元
- 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸、七二圓乃至九六圓ノ一五%増(八二八〇圓乃至一〇四〇圓)及三〇%増(九三六〇圓乃至一二四八〇圓) (新・一二〇圓乃至一四四〇圓)ノ延長率ニ依ル還元
- 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸、二二〇圓乃至一四四〇圓ノ一五%増(二三八〇圓乃至一六五六〇圓)及三〇%増(二五六〇圓乃至一八七二〇圓) (新・一六八〇圓乃至二二八〇圓)ノ延長率ニ依ル還元

二六

二七

二八

二九

二九

三〇

三〇

三四

- 第四 市町村立小學校教員年功加俸ノ補間計算還元表
 - 一、本科正教員
 - 二、専科正教員及専教員
- 第五 市町村立小學校教員年功加俸一五%(又ハ三〇%)増ノ上位加俸補間計算還元率ニ依ル還元表
 - 一、本科正教員年功加俸一五%(又ハ三〇%)増假定期
 - 二、専科正教員及専教員年功加俸一五%(又ハ三〇%)増假定期

昭和七年法律第一三號及同法施行令第二〇四號ニ依ル補間計算ノ方法

最高限及最低限ヲ規定スル俸給規程ニ於テ、減俸後ノ改正新俸給規程ニ定ムル最高額 a 及最低額 b ノ改正前額 a' 及最低額 b' ニ對スル夫々ノ割合ハ、 $\frac{a}{a'}$ 及 $\frac{b}{b'}$ デアアルガ、 a ト b トノ中間ノ額ハ、 a ト b トノ中間ノドノ額ニ相當セシメタナラバ最モ公平デアアルカ、之ヲ算出スル方法ヲ補間計算ト云ヒ、其ノ算出率ヲ補間計算ニ依ル割合ト云フノデアアル。

然ラバ其ノ割合ハ如何ニシテ算出スルカ、之ハ改正新規程ニ依ル額ヲ改正前額ノ規程ニ依ル額ニ換算スル場合(即チ第一條第二項 $\frac{a}{a'} + \frac{b}{b'}$)ニ依リ、

$$\left(\frac{a}{a'} - \frac{b}{b'}\right) + (a - b)$$

即チ新舊最高額ノ割合ト新舊最低額ノ割合トノ差ヲ新最高額ト新最低額トノ差ヲ除シタモノノ之ヲ簡單化スルト

$$(a' - a)b \div a'b'(a - b)$$

トナル。

仍テ之ヲアデ表ハシ

新最低額ノ舊最低額ニ對スル割合ヲ β

新最低額ト改正規程ニ依ル退職又ハ死亡當時ノ俸給額トノ差ヲ δ

退職又ハ死亡當時ノ俸給額ニ依リ當該ノ場合ノ具體的ノ補間計算ヲナスベキ割合ヲ α トスレバ

$$\alpha = \beta + \gamma + \delta$$

トナル。

補間計算

(但シガノ絶対値が負數トナルトキハβカラ之ヲ減スレバヨイ)
 從テ新規程ニ依ル俸給ヲトシ舊規程ノ額ニ換算サレタ金額ヲサトスレバ

$$U = V + R$$

 トナリ求ムル所ノ換算額ヲ算出シ得ルノデアアル。
 又同様ニシテ改正前舊ノ規程ニ依ル退職當時ノ俸給額(一)ヲ改正新規程ニ依ル額(二)ニ換算スル場合
 (即第三條第一項(ハ))ニハ

$$R = U - V$$

 ニ依テ求メラレムノデアアル。

昭和七年法律第一三號及
 同法施行令(勅令第二〇四號)ニ依ル補間計算還元表

第一 各大學職務俸ノ補間計算還元表

(一) (薪一八〇〇圓乃至六〇〇〇圓)ノ補間計算ニ依ル職務俸新舊對照表

各帝國大學(京城 臺北帝大ヲ含ム)

新	舊	新	舊	新	舊	新	舊
五〇〇〇	〇八三三三	五〇〇〇	〇八三三三	五〇〇〇	〇八三三三	五〇〇〇	〇八三三三
五二〇〇	〇八三三三	五二〇〇	〇八三三三	五二〇〇	〇八三三三	五二〇〇	〇八三三三
五四〇〇	〇八三三三	五四〇〇	〇八三三三	五四〇〇	〇八三三三	五四〇〇	〇八三三三
五六〇〇	〇八三三三	五六〇〇	〇八三三三	五六〇〇	〇八三三三	五六〇〇	〇八三三三
五八〇〇	〇八三三三	五八〇〇	〇八三三三	五八〇〇	〇八三三三	五八〇〇	〇八三三三
六〇〇〇	〇八三三三	六〇〇〇	〇八三三三	六〇〇〇	〇八三三三	六〇〇〇	〇八三三三
六二〇〇	〇八三三三	六二〇〇	〇八三三三	六二〇〇	〇八三三三	六二〇〇	〇八三三三
六四〇〇	〇八三三三	六四〇〇	〇八三三三	六四〇〇	〇八三三三	六四〇〇	〇八三三三
六六〇〇	〇八三三三	六六〇〇	〇八三三三	六六〇〇	〇八三三三	六六〇〇	〇八三三三
六八〇〇	〇八三三三	六八〇〇	〇八三三三	六八〇〇	〇八三三三	六八〇〇	〇八三三三
七〇〇〇	〇八三三三	七〇〇〇	〇八三三三	七〇〇〇	〇八三三三	七〇〇〇	〇八三三三
七二〇〇	〇八三三三	七二〇〇	〇八三三三	七二〇〇	〇八三三三	七二〇〇	〇八三三三
七四〇〇	〇八三三三	七四〇〇	〇八三三三	七四〇〇	〇八三三三	七四〇〇	〇八三三三
七六〇〇	〇八三三三	七六〇〇	〇八三三三	七六〇〇	〇八三三三	七六〇〇	〇八三三三
七八〇〇	〇八三三三	七八〇〇	〇八三三三	七八〇〇	〇八三三三	七八〇〇	〇八三三三
八〇〇〇	〇八三三三	八〇〇〇	〇八三三三	八〇〇〇	〇八三三三	八〇〇〇	〇八三三三
八二〇〇	〇八三三三	八二〇〇	〇八三三三	八二〇〇	〇八三三三	八二〇〇	〇八三三三
八四〇〇	〇八三三三	八四〇〇	〇八三三三	八四〇〇	〇八三三三	八四〇〇	〇八三三三
八六〇〇	〇八三三三	八六〇〇	〇八三三三	八六〇〇	〇八三三三	八六〇〇	〇八三三三
八八〇〇	〇八三三三	八八〇〇	〇八三三三	八八〇〇	〇八三三三	八八〇〇	〇八三三三
九〇〇〇	〇八三三三	九〇〇〇	〇八三三三	九〇〇〇	〇八三三三	九〇〇〇	〇八三三三

新	率	新	率	新	率	新	率	新	率	新	率	新	率	新	率
六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三	六〇〇	〇・八七三三
六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三	六二〇	〇・八七三三
六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三	六四〇	〇・八七三三
六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三	六六〇	〇・八七三三
六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三	六八〇	〇・八七三三
七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三	七〇〇	〇・八七三三
七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三	七二〇	〇・八七三三
七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三	七四〇	〇・八七三三
七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三	七六〇	〇・八七三三
七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三	七八〇	〇・八七三三
八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三	八〇〇	〇・八七三三
八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三	八二〇	〇・八七三三
八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三	八四〇	〇・八七三三
八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三	八六〇	〇・八七三三
八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三	八八〇	〇・八七三三
九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三	九〇〇	〇・八七三三

備考

- 一、本表ハ各大學新職務俸一〇割刻ミノ新舊對照ヲ示ス
- 二、各中間ニ於ケル新職務俸一割刻ミノ新舊對照ニ對シテハ其ノ直近下位ノ率ニ次ノ端數率ヲ加ヘテ計算スベシ

端數	一	二	三	四	五	六	七	八	九
率	0.00010	0.00020	0.00030	0.00040	0.00050	0.00060	0.00070	0.00080	0.00090

(三) 新(舊)二〇〇圓(新)一九五〇圓)以內ニ對スル職務俸新舊對照表

各帝國大學(京城、臺北帝大ヲ含ム) 官公立大學

新	舊	新	舊	新	舊	新	舊	新	舊	新	舊	新	舊	新	舊
1400	1100	1400	1100	1400	1100	1400	1100	1400	1100	1400	1100	1400	1100	1400	1100
1300	1000	1300	1000	1300	1000	1300	1000	1300	1000	1300	1000	1300	1000	1300	1000
1200	900	1200	900	1200	900	1200	900	1200	900	1200	900	1200	900	1200	900
1100	800	1100	800	1100	800	1100	800	1100	800	1100	800	1100	800	1100	800
1000	700	1000	700	1000	700	1000	700	1000	700	1000	700	1000	700	1000	700
900	600	900	600	900	600	900	600	900	600	900	600	900	600	900	600
800	500	800	500	800	500	800	500	800	500	800	500	800	500	800	500
700	400	700	400	700	400	700	400	700	400	700	400	700	400	700	400
600	300	600	300	600	300	600	300	600	300	600	300	600	300	600	300
500	200	500	200	500	200	500	200	500	200	500	200	500	200	500	200
400	100	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100	400	100
300	0	300	0	300	0	300	0	300	0	300	0	300	0	300	0

補助計算

五一五

(B) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤続一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸

新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊
△	〇八七五〇〇	九六	△	〇八八〇〇〇	一〇一	△	〇八八五〇〇	一〇六	△	〇八九〇〇〇	一一一	△	〇八九五〇〇	一一六
△	〇八七六〇〇	九七	△	〇八八一〇〇	一〇二	△	〇八八六〇〇	一〇七	△	〇八九一〇〇	一一二	△	〇八九六〇〇	一一七
△	〇八七七〇〇	九八	△	〇八八二〇〇	一〇三	△	〇八八七〇〇	一〇八	△	〇八九二〇〇	一一三	△	〇八九七〇〇	一一八
△	〇八七八〇〇	九九	△	〇八八三〇〇	一〇四	△	〇八八八〇〇	一〇九	△	〇八九三〇〇	一一四	△	〇八九八〇〇	一二三
△	〇八七九〇〇	一〇〇	△	〇八八四〇〇	一〇五	△	〇八八九〇〇	一一〇	△	〇九〇四〇〇	一二四	△	〇九〇九〇〇	一二九

(C) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤続一五年以上ノ者ノ加俸

新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊
△	〇九〇〇〇〇	一三三	△	〇九〇五〇〇	一三八	△	〇九一〇〇〇	一四三	△	〇九一五〇〇	一四八	△	〇九二〇〇〇	一五三
△	〇九〇一〇〇	一三四	△	〇九〇六〇〇	一三九	△	〇九一一〇〇	一四四	△	〇九一六〇〇	一四九	△	〇九二一〇〇	一五八
△	〇九〇二〇〇	一三五	△	〇九〇七〇〇	一四〇	△	〇九一二〇〇	一四五	△	〇九一七〇〇	一五〇	△	〇九二二〇〇	一六〇
△	〇九〇三〇〇	一三六	△	〇九〇八〇〇	一四一	△	〇九一三〇〇	一四六	△	〇九一八〇〇	一五五	△	〇九二三〇〇	一六五
△	〇九〇四〇〇	一三七	△	〇九〇九〇〇	一四二	△	〇九一四〇〇	一四七	△	〇九一九〇〇	一五六	△	〇九二四〇〇	一七〇

(口)

(A) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸

新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊
△	〇八八八八八	一〇八	△	〇八九三三三	一一三	△	〇八九七七八	一二三	△	〇九〇二二二	一二八	△	〇九〇七一一	一三八
△	〇八八九七三	一〇九	△	〇八九四一八	一二四	△	〇八九八六三	一二四	△	〇九〇三〇七	一二九	△	〇九〇七九九	一三九
△	〇九〇〇五七	一一〇	△	〇八九五〇三	一二五	△	〇八九九四八	一二五	△	〇九〇四〇二	一三〇	△	〇九〇八八四	一四〇
△	〇九〇一四二	一一〇	△	〇八九五八八	一二六	△	〇九〇〇三三	一二六	△	〇九〇五〇七	一三〇	△	〇九〇九六九	一四〇
△	〇九〇二二七	一一一	△	〇八九六七三	一二七	△	〇九〇一二八	一二七	△	〇九〇六〇二	一三一	△	〇九一〇五四	一五〇

(B) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸

新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊	新	還元率	舊
△	〇九三三三三	一五七	△	〇九三七八八	一六二	△	〇九四三三三	一七二	△	〇九四七八八	一八二	△	〇九五三三三	一九二
△	〇九三四一八	一五八	△	〇九三九七三	一六三	△	〇九四九一八	一七三	△	〇九五〇七三	一八三	△	〇九五五七八	一九三
△	〇九三四〇三	一五九	△	〇九四〇五八	一六四	△	〇九五〇〇三	一七四	△	〇九五一五八	一八四	△	〇九五六六三	一九四
△	〇九三四八八	一六〇	△	〇九四一四三	一六五	△	〇九五〇八八	一七五	△	〇九五二四三	一八五	△	〇九五七四八	一九五
△	〇九三五七三	一六一	△	〇九四二二八	一六六	△	〇九五一七三	一七六	△	〇九五三二八	一八六	△	〇九五八三三	一九六

(C) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続一五年以上ノ者ノ加俸

第三 公立學校職員年功加俸及師範學校長勤績加俸一五%又ハ三〇%増ノ上位加俸延長率ニ依ル補間計算還元表

一 學校長、所長、教諭、助教諭、舎監

(1) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤績五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸六〇圓乃至七二圓ノ一五%増六九四乃至八二八〇圓及三〇%増七八圓乃至九三六〇圓ノ(新八四圓乃至一二〇八圓)ノ延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増			三〇%増		
	假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額
六九〇〇	八〇〇〇	〇・八五三六	八〇	七二〇〇	〇・八六七五	八〇
七〇二五	八二〇〇	〇・八六〇七	八二	七三三〇	〇・八七二〇	九一
七一五〇	八四〇〇	〇・八六七八	八三	七四六〇	〇・八七六〇	九二
七二七五	八六〇〇	〇・八七五〇	八四	七五九〇	〇・八八〇〇	九三
七四〇〇	八八〇〇	〇・八八三三	八五	七七二〇	〇・八八四〇	九四
七五二五	九〇〇〇	〇・八九一六	八六	七八五〇	〇・八八八〇	九五
七六五〇	九二〇〇	〇・八九〇〇	八七	七九八〇	〇・八九二〇	九六
七七七五	九四〇〇	〇・八九〇〇	八八	八一〇〇	〇・八九三〇	九七
七九〇〇	九六〇〇	〇・八九〇〇	八九	八二二〇	〇・八九四〇	九八
八〇二五	九八〇〇	〇・八九〇〇	九〇	八三四〇	〇・八九五〇	九九
八一五〇	一〇〇〇〇	〇・八九〇〇	九一	八四六〇	〇・八九六〇	一〇〇
八二七五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	九二	八五八〇	〇・八九七〇	一〇一
八四〇〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	九三	八七〇〇	〇・八九八〇	一〇二
八五二五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	九四	八八二〇	〇・八九九〇	一〇三
八六五〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	九五	八九四〇	〇・九〇〇〇	一〇四
八七七五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	九六	九〇六〇	〇・九〇一〇	一〇五
八九〇〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	九七	九一八〇	〇・九〇二〇	一〇六
九〇二五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	九八	九三〇〇	〇・九〇三〇	一〇七
九一五〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	九九	九四二〇	〇・九〇四〇	一〇八
九二七五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一〇〇	九五四〇	〇・九〇五〇	一〇九
九四〇〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一〇一	九六六〇	〇・九〇六〇	一〇二
九五二五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一〇二	九七八〇	〇・九〇七〇	一〇三
九六五〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一〇三	九九〇〇	〇・九〇八〇	一〇四
九七七五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一〇四	一〇〇二〇	〇・九〇九〇	一〇五
九九〇〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一〇五	一〇一四〇	〇・九一〇〇	一〇六
一〇〇二五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一〇六	一〇二六〇	〇・九一一〇	一〇七
一〇一五〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一〇七	一〇三八〇	〇・九一二〇	一〇八
一〇二七五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一〇八	一〇五〇〇	〇・九一三〇	一〇九
一〇四〇〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一〇九	一〇六二〇	〇・九一四〇	一一〇
一〇五二五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一一〇	一〇七四〇	〇・九一五〇	一一一
一〇六五〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一一一	一〇八六〇	〇・九一六〇	一一二
一〇七七五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一一二	一〇九八〇	〇・九一七〇	一一三
一〇九〇〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一一三	一一一〇〇	〇・九一八〇	一一四
一〇〇二五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一一四	一一二二〇	〇・九一九〇	一一五
一〇一五〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一一五	一一三四〇	〇・九二〇〇	一一六
一〇二七五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一一六	一一四六〇	〇・九二一〇	一一七
一〇四〇〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一一七	一一五八〇	〇・九二二〇	一一八
一〇五二五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一一八	一一七〇〇	〇・九二三〇	一一九
一〇六五〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一一九	一一八二〇	〇・九二四〇	一二〇
一〇七七五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一二〇	一一九四〇	〇・九二五〇	一二一
一〇九〇〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一二一	一二〇六〇	〇・九二六〇	一二二
一〇〇二五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一二二	一二一八〇	〇・九二七〇	一二三
一〇一五〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一二三	一二三〇〇	〇・九二八〇	一二四
一〇二七五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一二四	一二四二〇	〇・九二九〇	一二五
一〇四〇〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一二五	一二五四〇	〇・九三〇〇	一二六
一〇五二五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一二六	一二六六〇	〇・九三一〇	一二七
一〇六五〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一二七	一二七八〇	〇・九三二〇	一二八
一〇七七五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一二八	一二九〇〇	〇・九三三〇	一二九
一〇九〇〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一二九	一三〇二〇	〇・九三四〇	一三〇
一〇〇二五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一三〇	一三一四〇	〇・九三五〇	一三一
一〇一五〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一三一	一三二六〇	〇・九三六〇	一三二
一〇二七五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一三二	一三三八〇	〇・九三七〇	一三三
一〇四〇〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一三三	一三五〇〇	〇・九三八〇	一三四
一〇五二五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一三四	一三六二〇	〇・九三九〇	一三五
一〇六五〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一三五	一三七四〇	〇・九四〇〇	一三六
一〇七七五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一三六	一三八六〇	〇・九四一〇	一三七
一〇九〇〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一三七	一三九八〇	〇・九四二〇	一三八
一〇〇二五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一三八	一四一〇〇	〇・九四三〇	一三九
一〇一五〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一三九	一四二二〇	〇・九四四〇	一四〇
一〇二七五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一四〇	一四三四〇	〇・九四五〇	一四一
一〇四〇〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一四一	一四四六〇	〇・九四六〇	一四二
一〇五二五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一四二	一四五八〇	〇・九四七〇	一四三
一〇六五〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一四三	一四七〇〇	〇・九四八〇	一四四
一〇七七五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一四四	一四八二〇	〇・九四九〇	一四五
一〇九〇〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一四五	一四九四〇	〇・九五〇〇	一四六
一〇〇二五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一四六	一五〇六〇	〇・九五〇〇	一四七
一〇一五〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一四七	一五一八〇	〇・九五〇〇	一四八
一〇二七五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一四八	一五三〇〇	〇・九五〇〇	一四九
一〇四〇〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一四九	一五四二〇	〇・九五〇〇	一五〇
一〇五二五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一五〇	一五六四〇	〇・九五〇〇	一五一
一〇六五〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一五一	一五七六〇	〇・九五〇〇	一五二
一〇七七五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一五二	一五八八〇	〇・九五〇〇	一五三
一〇九〇〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一五三	一六〇〇〇	〇・九五〇〇	一五四
一〇〇二五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一五四	一六一二〇	〇・九五〇〇	一五五
一〇一五〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一五五	一六二四〇	〇・九五〇〇	一五六
一〇二七五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一五六	一六三六〇	〇・九五〇〇	一五七
一〇四〇〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一五七	一六四八〇	〇・九五〇〇	一五八
一〇五二五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一五八	一六六〇〇	〇・九五〇〇	一五九
一〇六五〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一五九	一六七二〇	〇・九五〇〇	一六〇
一〇七七五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一六〇	一六八四〇	〇・九五〇〇	一六一
一〇九〇〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一六一	一六九六〇	〇・九五〇〇	一六二
一〇〇二五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一六二	一七〇八〇	〇・九五〇〇	一六三
一〇一五〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一六三	一七二〇〇	〇・九五〇〇	一六四
一〇二七五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一六四	一七三二〇	〇・九五〇〇	一六五
一〇四〇〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一六五	一七四四〇	〇・九五〇〇	一六六
一〇五二五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一六六	一七五六〇	〇・九五〇〇	一六七
一〇六五〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一六七	一七六八〇	〇・九五〇〇	一六八
一〇七七五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一六八	一七八〇〇	〇・九五〇〇	一六九
一〇九〇〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一六九	一七九二〇	〇・九五〇〇	一七〇
一〇〇二五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一七〇	一八〇四〇	〇・九五〇〇	一七一
一〇一五〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一七一	一八一六〇	〇・九五〇〇	一七二
一〇二七五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一七二	一八二八〇	〇・九五〇〇	一七三
一〇四〇〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一七三	一八四〇〇	〇・九五〇〇	一七四
一〇五二五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一七四	一八五二〇	〇・九五〇〇	一七五
一〇六五〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一七五	一八六四〇	〇・九五〇〇	一七六
一〇七七五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一七六	一八七六〇	〇・九五〇〇	一七七
一〇九〇〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一七七	一八八八〇	〇・九五〇〇	一七八
一〇〇二五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一七八	一九〇〇〇	〇・九五〇〇	一七九
一〇一五〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一七九	一九一二〇	〇・九五〇〇	一八〇
一〇二七五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一八〇	一九二四〇	〇・九五〇〇	一八一
一〇四〇〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一八一	一九三六〇	〇・九五〇〇	一八二
一〇五二五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一八二	一九四八〇	〇・九五〇〇	一八三
一〇六五〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一八三	一九六〇〇	〇・九五〇〇	一八四
一〇七七五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一八四	一九七二〇	〇・九五〇〇	一八五
一〇九〇〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一八五	一九八四〇	〇・九五〇〇	一八六
一〇〇二五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一八六	一九九六〇	〇・九五〇〇	一八七
一〇一五〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一八七	二〇〇八〇	〇・九五〇〇	一八八
一〇二七五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一八八	二〇二〇〇	〇・九五〇〇	一八九
一〇四〇〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一八九	二〇三二〇	〇・九五〇〇	一九〇
一〇五二五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一九〇	二〇四四〇	〇・九五〇〇	一九一
一〇六五〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	一九一	二〇五六〇	〇・九五〇〇	一九二
一〇七七五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	一九二	二〇六八〇	〇・九五〇〇	一九三
一〇九〇〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	一九三	二〇八〇〇	〇・九五〇〇	一九四
一〇〇二五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	一九四	二〇九二〇	〇・九五〇〇	一九五
一〇一五〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	一九五	二一〇四〇	〇・九五〇〇	一九六
一〇二七五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	一九六	二一一六〇	〇・九五〇〇	一九七
一〇四〇〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	一九七	二一二八〇	〇・九五〇〇	一九八
一〇五二五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	一九八	二一四〇〇	〇・九五〇〇	一九九
一〇六五〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	一九九	二一五二〇	〇・九五〇〇	二〇〇
一〇七七五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	二〇〇	二一六四〇	〇・九五〇〇	二〇一
一〇九〇〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	二〇一	二一七六〇	〇・九五〇〇	二〇二
一〇〇二五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	二〇二	二一八八〇	〇・九五〇〇	二〇三
一〇一五〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	二〇三	二二〇〇〇	〇・九五〇〇	二〇四
一〇二七五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	二〇四	二二一二〇	〇・九五〇〇	二〇五
一〇四〇〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	二〇五	二二三四〇	〇・九五〇〇	二〇六
一〇五二五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	二〇六	二二四六〇	〇・九五〇〇	二〇七
一〇六五〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	二〇七	二二五八〇	〇・九五〇〇	二〇八
一〇七七五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	二〇八	二二七〇〇	〇・九五〇〇	二〇九
一〇九〇〇	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	二〇九	二二八二〇	〇・九五〇〇	二一〇
一〇〇二五	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	二一〇	二二九四〇	〇・九五〇〇	二一一
一〇一五〇	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	二一一	二三〇六〇	〇・九五〇〇	二一二
一〇二七五	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	二一二	二三一八〇	〇・九五〇〇	二一三
一〇四〇〇	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	二一三	二三三〇〇	〇・九五〇〇	二一四
一〇五二五	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	二一四	二三四二〇	〇・九五〇〇	二一五
一〇六五〇	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	二一五	二三五四〇	〇・九五〇〇	二一六
一〇七七五	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	二一六	二三六六〇	〇・九五〇〇	二一七
一〇九〇〇	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	二一七	二三七八〇	〇・九五〇〇	二一八
一〇〇二五	一〇六〇〇	〇・八九〇〇	二一八	二三九〇〇	〇・九五〇〇	二一九
一〇一五〇	一〇七〇〇	〇・八九〇〇	二一九	二四〇二〇	〇・九五〇〇	二二〇
一〇二七五	一〇八〇〇	〇・八九〇〇	二二〇	二四一四〇	〇・九五〇〇	二二一
一〇四〇〇	一〇九〇〇	〇・八九〇〇	二二一	二四二六〇	〇・九五〇〇	二二二
一〇五二五	一〇一〇〇	〇・八九〇〇	二二二	二四三八〇	〇・九五〇〇	二二三
一〇六五〇	一〇二〇〇	〇・八九〇〇	二二三	二四五〇〇	〇・九五〇〇	二二四
一〇七七五	一〇三〇〇	〇・八九〇〇	二二四	二四六二〇	〇・九五〇〇	二二五
一〇九〇〇	一〇四〇〇	〇・八九〇〇	二二五	二四七四〇	〇・九五〇〇	二二六
一〇〇二五	一〇五〇〇	〇・八九〇〇	二			

(ハ) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続五年以上一〇年未満ノ者ヲ加俸九六圓乃至一二〇圓ノ一五%増一〇四〇圓乃至一三八圓及三〇%増一二四八〇圓乃至一五六〇圓ノ(新)一四四圓乃至一六八圓ノ(舊)一五六圓乃至一八〇圓ノ延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増			三〇%増			基本額	一五%増			三〇%増		
	假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額		假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額
100	110.00	0.9091	110	130.00	0.8463	130	100	115.00	0.9130	115	135.00	0.8889	135
101	111.05	0.9091	111	131.05	0.8463	131	101	116.05	0.9130	116	136.05	0.8889	136
102	112.10	0.9091	112	132.10	0.8463	132	102	117.10	0.9130	117	137.10	0.8889	137
103	113.15	0.9091	113	133.15	0.8463	133	103	118.15	0.9130	118	138.15	0.8889	138
104	114.20	0.9091	114	134.20	0.8463	134	104	119.20	0.9130	119	139.20	0.8889	139
105	115.25	0.9091	115	135.25	0.8463	135	105	120.25	0.9130	120	140.25	0.8889	140
106	116.30	0.9091	116	136.30	0.8463	136	106	121.30	0.9130	121	141.30	0.8889	141
107	117.35	0.9091	117	137.35	0.8463	137	107	122.35	0.9130	122	142.35	0.8889	142
108	118.40	0.9091	118	138.40	0.8463	138	108	123.40	0.9130	123	143.40	0.8889	143
109	119.45	0.9091	119	139.45	0.8463	139	109	124.45	0.9130	124	144.45	0.8889	144
110	120.50	0.9091	120	140.50	0.8463	140	110	125.50	0.9130	125	145.50	0.8889	145
111	121.55	0.9091	121	141.55	0.8463	141	111	126.55	0.9130	126	146.55	0.8889	146
112	122.60	0.9091	122	142.60	0.8463	142	112	127.60	0.9130	127	147.60	0.8889	147
113	123.65	0.9091	123	143.65	0.8463	143	113	128.65	0.9130	128	148.65	0.8889	148
114	124.70	0.9091	124	144.70	0.8463	144	114	129.70	0.9130	129	149.70	0.8889	149
115	125.75	0.9091	125	145.75	0.8463	145	115	130.75	0.9130	130	150.75	0.8889	150
116	126.80	0.9091	126	146.80	0.8463	146	116	131.80	0.9130	131	151.80	0.8889	151
117	127.85	0.9091	127	147.85	0.8463	147	117	132.85	0.9130	132	152.85	0.8889	152
118	128.90	0.9091	128	148.90	0.8463	148	118	133.90	0.9130	133	153.90	0.8889	153
119	129.95	0.9091	129	149.95	0.8463	149	119	134.95	0.9130	134	154.95	0.8889	154
120	131.00	0.9091	130	151.00	0.8463	150	120	136.00	0.9130	135	156.00	0.8889	155

(ニ) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸一四四圓乃至一六八圓ノ一五%増一六五六〇圓乃至一九三二〇圓及三〇%増一八七二〇圓乃至二一四八〇圓ノ(新)一九二圓乃至二五二圓ノ(舊)二一六圓乃至二七六圓ノ延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増			三〇%増			基本額	一五%増			三〇%増		
	假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額		假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額
100	110.00	0.9091	110	130.00	0.8463	130	100	115.00	0.9130	115	135.00	0.8889	135
101	111.05	0.9091	111	131.05	0.8463	131	101	116.05	0.9130	116	136.05	0.8889	136
102	112.10	0.9091	112	132.10	0.8463	132	102	117.10	0.9130	117	137.10	0.8889	137
103	113.15	0.9091	113	133.15	0.8463	133	103	118.15	0.9130	118	138.15	0.8889	138
104	114.20	0.9091	114	134.20	0.8463	134	104	119.20	0.9130	119	139.20	0.8889	139
105	115.25	0.9091	115	135.25	0.8463	135	105	120.25	0.9130	120	140.25	0.8889	140
106	116.30	0.9091	116	136.30	0.8463	136	106	121.30	0.9130	121	141.30	0.8889	141
107	117.35	0.9091	117	137.35	0.8463	137	107	122.35	0.9130	122	142.35	0.8889	142
108	118.40	0.9091	118	138.40	0.8463	138	108	123.40	0.9130	123	143.40	0.8889	143
109	119.45	0.9091	119	139.45	0.8463	139	109	124.45	0.9130	124	144.45	0.8889	144
110	120.50	0.9091	120	140.50	0.8463	140	110	125.50	0.9130	125	145.50	0.8889	145
111	121.55	0.9091	121	141.55	0.8463	141	111	126.55	0.9130	126	146.55	0.8889	146
112	122.60	0.9091	122	142.60	0.8463	142	112	127.60	0.9130	127	147.60	0.8889	147
113	123.65	0.9091	123	143.65	0.8463	143	113	128.65	0.9130	128	148.65	0.8889	148
114	124.70	0.9091	124	144.70	0.8463	144	114	129.70	0.9130	129	149.70	0.8889	149
115	125.75	0.9091	125	145.75	0.8463	145	115	130.75	0.9130	130	150.75	0.8889	150
116	126.80	0.9091	126	146.80	0.8463	146	116	131.80	0.9130	131	151.80	0.8889	151
117	127.85	0.9091	127	147.85	0.8463	147	117	132.85	0.9130	132	152.85	0.8889	152
118	128.90	0.9091	128	148.90	0.8463	148	118	133.90	0.9130	133	153.90	0.8889	153
119	129.95	0.9091	129	149.95	0.8463	149	119	134.95	0.9130	134	154.95	0.8889	154
120	131.00	0.9091	130	151.00	0.8463	150	120	136.00	0.9130	135	156.00	0.8889	155

二 訓導、保健

(*) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤続五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸三六圓乃至

六〇圓ノ一五%増四一四〇圓乃至六九圓及三〇%増四九八〇圓乃至七八

四ノ(新七二圓乃至八四圓)ノ延長率ニ依ル還元

〔假定額ト還元額同額〕(變化ナシ)

(~) 俸給月額八〇圓未満ニシテ勤続一〇年以上一五年未満ノ者ノ加俸七二圓乃至

至八四圓ノ一五%増八二八〇圓乃至九六六〇圓及三〇%増九三六〇圓乃至

一〇九二〇圓ノ(新九六圓乃至一三二圓)ノ延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増			三〇%増		
	假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額
八二八〇	八二八〇	九〇	九〇	八二八〇	一〇五	一〇五
八三九五	八三九五	九〇	九〇	八三九五	一〇五	一〇五
八五〇〇	八五〇〇	九〇	九〇	八五〇〇	一〇五	一〇五
八六四五	八六四五	九〇	九〇	八六四五	一〇五	一〇五
八八〇〇	八八〇〇	九〇	九〇	八八〇〇	一〇五	一〇五
八九四五	八九四五	九〇	九〇	八九四五	一〇五	一〇五
九一〇〇	九一〇〇	九〇	九〇	九一〇〇	一〇五	一〇五
九二四五	九二四五	九〇	九〇	九二四五	一〇五	一〇五
九四〇〇	九四〇〇	九〇	九〇	九四〇〇	一〇五	一〇五
九五四五	九五四五	九〇	九〇	九五四五	一〇五	一〇五
九七〇〇	九七〇〇	九〇	九〇	九七〇〇	一〇五	一〇五
九八四五	九八四五	九〇	九〇	九八四五	一〇五	一〇五
一〇〇〇	一〇〇〇	九〇	九〇	一〇〇〇	一〇五	一〇五
一〇一五	一〇一五	九〇	九〇	一〇一五	一〇五	一〇五
一〇三〇	一〇三〇	九〇	九〇	一〇三〇	一〇五	一〇五
一〇四五	一〇四五	九〇	九〇	一〇四五	一〇五	一〇五
一〇六〇	一〇六〇	九〇	九〇	一〇六〇	一〇五	一〇五
一〇七五	一〇七五	九〇	九〇	一〇七五	一〇五	一〇五
一〇九〇	一〇九〇	九〇	九〇	一〇九〇	一〇五	一〇五
一一〇五	一一〇五	九〇	九〇	一一〇五	一〇五	一〇五
一一二〇	一一二〇	九〇	九〇	一一二〇	一〇五	一〇五
一一三五	一一三五	九〇	九〇	一一三五	一〇五	一〇五
一一五〇	一一五〇	九〇	九〇	一一五〇	一〇五	一〇五
一一六五	一一六五	九〇	九〇	一一六五	一〇五	一〇五
一一八〇	一一八〇	九〇	九〇	一一八〇	一〇五	一〇五
一二〇〇	一二〇〇	九〇	九〇	一二〇〇	一〇五	一〇五
一二二〇	一二二〇	九〇	九〇	一二二〇	一〇五	一〇五
一二四〇	一二四〇	九〇	九〇	一二四〇	一〇五	一〇五
一二六〇	一二六〇	九〇	九〇	一二六〇	一〇五	一〇五
一二八〇	一二八〇	九〇	九〇	一二八〇	一〇五	一〇五
一三〇〇	一三〇〇	九〇	九〇	一三〇〇	一〇五	一〇五
一三二〇	一三二〇	九〇	九〇	一三二〇	一〇五	一〇五
一三四〇	一三四〇	九〇	九〇	一三四〇	一〇五	一〇五
一三六〇	一三六〇	九〇	九〇	一三六〇	一〇五	一〇五

俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続五年以上一〇年未満ノ者ノ加俸七二圓乃至九六圓ノ一五%増八二八〇圓乃至一〇九二〇圓及三〇%増九三六〇圓乃至一二四八〇圓ノ(新九六圓乃至一三二圓)ノ延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増			三〇%増		
	假定額	還元率	還元額	假定額	還元率	還元額
八二八〇	八二八〇	九〇	九〇	八二八〇	一〇五	一〇五
八三九五	八三九五	九〇	九〇	八三九五	一〇五	一〇五
八五〇〇	八五〇〇	九〇	九〇	八五〇〇	一〇五	一〇五
八六四五	八六四五	九〇	九〇	八六四五	一〇五	一〇五
八八〇〇	八八〇〇	九〇	九〇	八八〇〇	一〇五	一〇五
八九四五	八九四五	九〇	九〇	八九四五	一〇五	一〇五
九一〇〇	九一〇〇	九〇	九〇	九一〇〇	一〇五	一〇五
九二四五	九二四五	九〇	九〇	九二四五	一〇五	一〇五
九四〇〇	九四〇〇	九〇	九〇	九四〇〇	一〇五	一〇五
九五四五	九五四五	九〇	九〇	九五四五	一〇五	一〇五
九七〇〇	九七〇〇	九〇	九〇	九七〇〇	一〇五	一〇五
九八四五	九八四五	九〇	九〇	九八四五	一〇五	一〇五
一〇〇〇	一〇〇〇	九〇	九〇	一〇〇〇	一〇五	一〇五
一〇一五	一〇一五	九〇	九〇	一〇一五	一〇五	一〇五
一〇三〇	一〇三〇	九〇	九〇	一〇三〇	一〇五	一〇五
一〇四五	一〇四五	九〇	九〇	一〇四五	一〇五	一〇五
一〇六〇	一〇六〇	九〇	九〇	一〇六〇	一〇五	一〇五
一〇七五	一〇七五	九〇	九〇	一〇七五	一〇五	一〇五
一〇九〇	一〇九〇	九〇	九〇	一〇九〇	一〇五	一〇五
一一〇五	一一〇五	九〇	九〇	一一〇五	一〇五	一〇五
一一二〇	一一二〇	九〇	九〇	一一二〇	一〇五	一〇五
一一三五	一一三五	九〇	九〇	一一三五	一〇五	一〇五
一一五〇	一一五〇	九〇	九〇	一一五〇	一〇五	一〇五
一一六五	一一六五	九〇	九〇	一一六五	一〇五	一〇五
一一八〇	一一八〇	九〇	九〇	一一八〇	一〇五	一〇五
一二〇〇	一二〇〇	九〇	九〇	一二〇〇	一〇五	一〇五
一二二〇	一二二〇	九〇	九〇	一二二〇	一〇五	一〇五
一二四〇	一二四〇	九〇	九〇	一二四〇	一〇五	一〇五
一二六〇	一二六〇	九〇	九〇	一二六〇	一〇五	一〇五
一二八〇	一二八〇	九〇	九〇	一二八〇	一〇五	一〇五
一三〇〇	一三〇〇	九〇	九〇	一三〇〇	一〇五	一〇五
一三二〇	一三二〇	九〇	九〇	一三二〇	一〇五	一〇五
一三四〇	一三四〇	九〇	九〇	一三四〇	一〇五	一〇五
一三六〇	一三六〇	九〇	九〇	一三六〇	一〇五	一〇五

教育職員新恩給法解説

(チ) 俸給月額八〇圓以上ニシテ勤続一〇年以上一五年未滿ノ者ノ加俸「一〇圓
乃至一四圓ノ一五増」一三八圓乃至一六五六〇圓及三〇%増「一五六圓乃至一八七二〇圓」ノ
延長率ニ依ル還元

基本額	一五%増		三〇%増		基本額	一五%増		三〇%増	
	假定額	還元率	還元額	還元率		假定額	還元率	還元額	還元率
一五〇〇〇	一五九〇〇	〇八六三三	一六〇〇〇	〇八六九〇	一五〇〇〇	一五九〇〇	〇八六三三	一六〇〇〇	〇八六九〇
一三〇〇〇	一三九〇〇	〇八六六九	一四〇〇〇	〇八七二六	一三〇〇〇	一三九〇〇	〇八六六九	一四〇〇〇	〇八七二六
一一〇〇〇	一一九〇〇	〇八七〇五	一二〇〇〇	〇八七六二	一一〇〇〇	一一九〇〇	〇八七〇五	一二〇〇〇	〇八七六二
九〇〇〇	九〇九〇〇	〇八七四一	九一〇〇〇	〇八七八八	九〇〇〇	九〇九〇〇	〇八七四一	九一〇〇〇	〇八七八八
七〇〇〇	七〇九〇〇	〇八七七七	七一〇〇〇	〇八八一四	七〇〇〇	七〇九〇〇	〇八七七七	七一〇〇〇	〇八八一四
五〇〇〇	五〇九〇〇	〇八八一三	五一〇〇〇	〇八八五〇	五〇〇〇	五〇九〇〇	〇八八一三	五一〇〇〇	〇八八五〇
三〇〇〇	三〇九〇〇	〇八八五〇	三一〇〇〇	〇八八八七	三〇〇〇	三〇九〇〇	〇八八五〇	三一〇〇〇	〇八八八七
一〇〇〇	一〇九〇〇	〇八九〇〇	一一〇〇〇	〇八九三七	一〇〇〇	一〇九〇〇	〇八九〇〇	一一〇〇〇	〇八九三七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

第四市町村立小學校教員年功加俸ノ補間計算還元表

一 本科正教員

新	率	新	率	新	率	新	率	新	率	新	率
一八	一〇〇〇〇	一八	〇九七七八	一八	〇九六六七	一八	〇八七五〇	一八	〇八七五〇	一八	〇八七五〇
一九	〇九八六一	一九	〇九四四四	一九	〇九〇七八	一九	〇八七五〇	一九	〇八七五〇	一九	〇八七五〇
二〇	〇九七三三	二〇	〇九〇五五	二〇	〇八七五〇	二〇	〇八七五〇	二〇	〇八七五〇	二〇	〇八七五〇
二一	〇九六四五	二一	〇八七五〇	二一	〇八七五〇	二一	〇八七五〇	二一	〇八七五〇	二一	〇八七五〇
二二	〇九五八三	二二	〇八七五〇	二二	〇八七五〇	二二	〇八七五〇	二二	〇八七五〇	二二	〇八七五〇

備考 ※印ノアル行ハ舊額ヲ新額ニ換算スル場合ニノミ用フベシ

二 専科正教員及準教員

新	率	新	率	新	率	新	率	新	率	新	率
一	一〇〇〇〇	一	〇九七五〇	一	〇八八三五	一	〇八八三五	一	〇八八三五	一	〇八八三五
二	〇九四四四	二	〇八八八九	二	〇八八八九	二	〇八八八九	二	〇八八八九	二	〇八八八九

備考 ※印ノアル行ハ舊額ヲ新額ニ換算スル場合ニノミ用フベシ

補間計算

教育職員新給法解説

第五 市町村立小學校教員年功加俸一五%又ハ三〇%増ノ上位加俸補間計算

還元率ニ依ル還元表

一 本科正教員年功加俸一五%又ハ三〇%増假定額

基本額 還元率	一	二	三	四	五	六	七	八
一八	一八〇〇〇	一九〇〇〇	二〇〇〇〇	二一〇〇〇	二二〇〇〇	二三〇〇〇	二四〇〇〇	二五〇〇〇
一九	〇九六六一	〇九七三三	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三
二〇	〇九七三三	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇
二一	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六
二二	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三
二三	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇
二四	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六
二五	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二
二六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八
二七	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四
二八	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇
二九	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六
三〇	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六	一〇七一一二

補間計算

基本額 還元率	九	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九
一八	一八〇〇〇	一九〇〇〇	二〇〇〇〇	二一〇〇〇	二二〇〇〇	二三〇〇〇	二四〇〇〇	二五〇〇〇	二六〇〇〇	二七〇〇〇	二八〇〇〇
一九	〇九六六一	〇九七三三	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三
二〇	〇九七三三	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇
二一	〇九八五〇	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六
二二	〇九九六六	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二
二三	一〇〇八三	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八
二四	一〇二〇〇	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四
二五	一〇三一六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇
二六	一〇四三三	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六
二七	一〇五五〇	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六	一〇七一一二
二八	一〇六六六	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六	一〇七一一二	一〇八一二八
二九	一〇七八三	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六	一〇七一一二	一〇八一二八	一〇九二四四
三〇	一〇九〇〇	一〇一〇一六	一〇二〇三二	一〇三〇四八	一〇四〇六四	一〇五〇八〇	一〇六〇九六	一〇七一一二	一〇八一二八	一〇九二四四	一〇一〇三〇



256
.
133

